資 料

全国大学森林科学関連学科卒業論文、修士論文テーマ集*

井上 真理子**・山津 理香**・前田 輝子**・矢島 真恵**

I. はじめに

社会のあちこちで情報化が進んでおり、森林科学でも情報の相互交換が考えられています。その中で、毎年各大学で作成される卒業論文、修士論文は有用な情報であり、これを活用する事は研究の発展につながると思います。

しかし現在のところ、卒論や修論の公表の機会が少なく、また各大学でどういった研究が行われているかもわかりません。さらに学科改組が行われたため、従来の林学科が複数の学科間に分散したり講座の名称が変更になっているので、研究の動向をつかみにくくなっています。

そこで今回、有志で全国の大学の森林科学関連学科の卒業論文と修士論文のテーマ集を作成しました。

II. 卒業論文、修士論文テーマ集について

- ・収録年度：平成元年度（1989）から6年度（1994）まで6年分
- ・件数：21大学3,088件
- ・整理順序：①大学別（北から）、②研究室ごと、③年度順

データを載せた大学の研究室（講座）は表-1の通りです。論文の所在を明らかにするため、研究室（従来の講座、分野）単位でまとめました。研究室（講座）は、多くの大学が大講座制へ移行した現在においても慣例で研究の単位として機能しているようですので、検索上便利かと思います。ただし、研究室（講座）の名称が大きく変わっていきわがりにくいため、表-1では林学会の分野を参考に8分類で示しました。分類は研究室名や研究内容から行いましたが、異なっている場合が

あるかもしれません。

卒業論文、修士論文のデータは表-2の通りです。ただし、年度、氏名、テーマ等誤植があることとしますのでご了承ください（情報源が卒論発表会のプログラムの場合はその後のテーマ変更や発表中止、また印刷不明瞭によるミス入力など）（ミスがありましたらご連絡ください）。

掲載されている論文の閲覧、引用については直接各大学へ問い合わせください。多くの大学は大学内での閲覧が可能です。

III. おわりに

データベース化をするにあたり、情報提供の著作権など未解決の問題が多いことを感じました。

表-1 データを掲載した森林科学関連研究室一覧

大学名	経営	林政	造林	利用	防災	風致	その他	林産
北海道	●	●	●		●			○
岩手	○	○	○	○	○			○
山形	●●	●	●		●			●
筑波	●	●	●			●		
宇都宮	▲	▲	▲	▲	▲			▲
東京	●	○	○	○	○	○	○	○
東京農工	●	●	●	●	●	●		●●●○
東京農業	●							
新潟	○	○	○	○	○			○
信州	○	○	○	○	○	○	○	○
静岡			●	●	●			
名古屋	●							
岐阜	●		●▲		●			●▲
三重	●	●	●	●	●			●●
京都	●	●	●	●	●	●	●	○
京都府立	○		○	○	○			●
鳥取	●	●○	●	●	●		●●	●
島根	○		●					
広島			●					
愛媛	●	●●	●	●	●			●●
高知	●	●	●	●	●			●●
九州	●	●	●		●			●●
宮崎	●	●	○	●				●●
鹿児島								
琉球								

注：従来からの慣例による研究室を、林学会での分野を参考に分類して示した。記号の数は、研究室数を現す。
 ● データあり ○ データなし ▲ 欠損年度あり
 — 同一研究室間を結ぶ

* Mariko Inoue, Rika Yamatsu, Teruko Maeda and Sanae Yajima: The title directory of graduation theses and master's theses from 1989 to 1994, colleges of forest science in Japan

** 東京農工大学農学部 Fac. of Agric., Tokyo Univ. of Agric. and Technol., Fuchu, Tokyo 183

Jpn. J. For. Plann. 26 '96

学会等のご支援を期待したいと思います。データ ます。
を提供していただいた関係者の方々に感謝いたし

表-2 卒業論文・修士論文テーマ一覧

北大1

年度分類	氏名	テーマ
北海道大学農学部森林科学科 施業計画学講座（経営）		
1989 卒	富田顕数	相対幹曲線式を用いた細り表作成に関する研究 -ミズナラのシイタケ原木林施業への応用
1989 卒	関口高士	森林施業への開空度の応用についての考察
1989 卒	渡辺浩毅	長伐期施業によるカラマツ良質大径材生産の現状・問題点について
1989 卒	宇久真司	シイタケ原木林施業に関する基礎的研究 -シイタケ原木の形質の観点から
1989 修	矢部恒晶	エゾシカの生育地管理に関する基礎的研究
1990 卒 秋山純広 北海道の森林鉄道史に関する研究		
1990 卒	大廣真子	ブナ林の施業に関する基礎的研究 -保育伐のあり方についての考察
1990 卒	稲葉芳和	冬期におけるエゾモモンガの生息環境と森林 -北大中川地方演習林シンノシケ地区の事例
1990 卒	寺田宏	ブルドーザによる「かき起こし」作業の現状とその課題
1990 修	後藤達彦	都市近郊林の保全管理に関する研究 -札幌市を事例にして
1991 卒 土屋禎治 森林の総合的利用に関する考察		
1991 卒	米康充	年輪情報による森林の攪乱の時期と規模の推定
1991 卒	上野俊弘	北海道カラマツ林業の長伐期化の現状と課題
1991 卒	木下仁	北海道内における高性能機械導入の現状と課題 -システム導入の作業を事例として
1991 卒	松村秀雄	北海道における混牧林施業の現状と今後の可能性
1991 卒	榎本郷	冠形と幹形の関係 -ウダイカンバを対象とした考察
1991 修	美濃輪靖	森林-人間系に介在する主観的情報の有効的活用に関する研究
1992 卒 幕内裕二 森林資源の有効利用に関する研究 -道産広葉樹中小径材利用の現状と課題		
1992 卒	角建二郎	北海道における住宅建築の動向と木材利用
1992 卒	岡田恭一	伐採量算定方法の推移と現状 -北海道における一般民有林を対象として
1992 卒	尾張敏彰	高性能林業機械の導入が森林に及ぼす影響 -集材路の土壌硬度について
1993 卒	外崎岳司	野幌自然休養林の森林施業
1993 卒	原田誠	ビデオカメラの測樹器への応用について
1993 卒	清野年	エゾマツの資源状況と造林樹種としての可能性
1993 修	土屋禎治	道有林の経営展開の構造に関する研究 -道有林北見経営区を事例として
1993 修	米康充	北海道北部天然林における再生群落の分布様式
1994 修 尾張敏章 北海道における素材生産作業システム高性能機械化の進展に関して -機械化に関する事業体の意志決定要因と進展シミュレーション		
1994 修	Tobias Zorn	Protection Forest Systems in Japan and Germany - History, Legal Aspects, Present State and its Disputed Points
森林科学科 造林学講座		
1989 卒	外岡雄一	松枯れの殺虫剤空中散布に関する考察
1989 卒	酒井武	苫小牧演習林における風害跡広葉樹二次林の推移
1989 卒	山田健四	かき起こし後のササ再生の初期過程
1989 卒	馬場昭広	森林の空間構造と鳥類の利用実態
1989 卒	宮川真	森林限界付近でのダケカンバ稚幼樹の生育パターン
1989 卒	久保田康裕	大雪山系東部における亜高山帯針葉樹林の構造と動態
1989 修	佐藤俊彦	北海道北部海岸林におけるトドマツの個体群維持様式
1989 修	日浦勉	北限地帯におけるブナ林の動態
1990 卒 今井直樹 ハンノキ林の更新における萌芽の役割について		
1990 卒	嶋田理	常緑針葉樹3種の稚幼樹期における樹体形成様式と被圧対応パターン
1990 卒	石坂浩史	ウラジロナカマドの生態 -山岳森林限界に生育する樹木の生育様式
1990 卒	関根進	倒木上のマイクロハビタットの更新樹種との関係
1990 卒	徳田佐和子	チシマアザミ優占群落下におけるヤチダモ稚幼樹の成長
1990 卒	倉本恵生	開花から成熟までのミズナラ堅果の成長と生残
1990 修	小山浩正	当年実生の発生パターンとその消長 -特にシラカンバを中心にした種の対応様式についての考察
1990 修	Dulce Maria Zelaya B.	蛇紋岩地帯の樹木数種のミネラル成分
1991 卒 木俣葉子 溪畔の土場跡地、かき起こし地における樹木の更新状況		
1991 卒	宮本敏澄	リター分解に関わる菌類について
1991 卒	片山尚明	風衝地におけるトドマツ・エゾマツの成長について

表-2 卒業論文・修士論文テーマ一覧(続き)

北大2

年度分類	氏名	テーマ
1991 卒	俣野利一郎	カツラ稚幼樹の樹体形成様式 - 溪畔林構成樹種の特性
1991 卒	来田和人	落葉広葉樹4種の枝条形成について - 分節単位に着目した解析
1991 卒	宮谷勇	北海道駒ヶ岳の森林の回復 - 特にカラマツの侵入について
1991 修	酒井武	落葉広葉樹林におけるアサダの生態的地位
1992 卒	池田千枝	隣接する落葉広葉樹林とアカエゾマツ林におけるササラダニの分布
1992 卒	八木橋勉	被食型動物散布種子の発芽に対する被食の影響
1992 卒	田中あずみ	ツルアジサイの生態 - 3つの生育段階とパイプモデルの考察
1992 卒	坂山志穂	ポプラ・ハルニレ・シラカンパの樹冠形状
1992 卒	内海洋太	道南地方のヒノキアスナロ林の稚樹の伏条
1992 卒	真坂一彦	山岳森林限界と針広混交林のダケカンパにおける枝条形成様式の比較
1992 修	徳田佐和子	花序サイズが結実率に与える影響
1992 修	渡辺一郎	針広混交林における稚樹の生育に及ぼす倒木の影響
1992 修	倉本恵生	ミズナラの雌花生産と堅果生産の年次変化およびその要因の解析
1993 卒	浜口真希	北海道における造林事業の展開と今後の方向について
1993 卒	渡辺訓男	天塩地方演習林のクマイザサ・チシマザサ混生群落におけるササ類の生態
1993 卒	水野健生	かき起こし地に成立した若齢カンパ林の林分動態
1993 卒	澤井理	小流域に分布するカツラの遺伝子交流について
1993 修	来田和人	葉の展開と維管束系の分化・発達ボタンが当年生枝条の伸長成長に及ぼす影響
1993 修	宮本敏澄	リター分解菌の分布を決定する要因
1994 卒	立原泰直	隣接するアカエゾマツ、ミズナラ樹冠下のトビムシ相
1994 卒	西川功	北海道大学苫小牧地方演習林における風害跡試験地の林分の推移
1994 卒	熊谷雄介	発達段階の異なる林分での木本性ツル植物の種構成の比較
1994 卒	山口信一	洞爺湖中島におけるエゾシカと植生の関係
1994 卒	太田順子	ナラタケ菌の接種に対する樹木の反応
1994 卒	伊藤雅之	光環境の変化に起因する稚樹の樹形変化 - 北海道のカエデ属2種の事例
1994 修	八木橋勉	鳥類による被食が液果の種子発芽に及ぼす影響
1994 修	内海洋太	ヒノキアスナロ稚樹群の伏条更新と枝の主軸化
1994 修	真坂一彦	亜高山帯におけるダケカンパの群落構造、および年輪幅と気象の関係
森林科学科 砂防学講座		
1989 卒	福岡博史	イトムカ煙害地における植生復元に関する研究
1989 卒	牧野明久	1989年8月富良野川土石流による溪床変化からみた床固工群の機能
1989 卒	宮緑育夫	樽前山・覚生唐沢源頭部における斜面侵食の実態
1989 卒	田中秀基	石狩川旧川の水辺環境林整備構想に関する研究
1989 卒	佐藤茂樹	えりも海岸林における暴風柵と風の動態
1989 卒	広野一道	山岳道路の吹付工施工法面における植生侵入の実態
1989 卒	西脇豊	真駒内川に於ける近自然河川景観に関する一考察
1989 修	今野由美	海岸林の効果と人工海岸林の維持管理に関する研究
1989 修	テリヨノ・スダルマジ	地質の違いによる流出特性の比較研究 - 清川流域(泥岩地域)と幌内川流域(火山性地域)の事例
1990 卒	宮崎知与	樽前山麓砂礫流域における湧水と流出過程
1990 卒	野呂智之	駒ヶ岳・押出沢の流路変動と横断面形状に関する考察
1990 卒	巖倉啓子	河川環境の整備方法に関する研究
1990 卒	汐崎文	大夕張ダム貯水位変動域における植生成立過程
1990 修	菊池俊一	樹木指標による山麓緩傾斜変動域の推移に関する研究
1990 修	南里智之	積雪寒冷地の小流域における冬期渇水時の流出特性
1990 修	西山泰弘	富良野川における溪床変化の周期的特性
1991 卒	池田直人	海岸急傾斜地における優占樹種の根元曲りと根張り空間
1991 卒	林幸宏	都市河川における水辺空間の利用・活用に関する考察
1991 卒	越路雄祐	送毛川流域における細粒土砂流出と分布に関する考察
1991 卒	伊藤晶子	間寒別川流域における保全事業の実態と流域管理の方向性
1991 卒	五味高志	間寒別川流域ヌポロマポロ川における土砂移動と流路変動
1991 卒	大滝航	幌内川河畔林の落下昆虫について
1991 卒	山田浩行	ゴルフ場における森林景観の評価に関する研究
1991 卒	井上幹生	山地小河川における河道の改変に伴う物理的環境の変化が魚類の生息に及ぼす影響
1991 修	宮緑育夫	積雪寒冷地の火山体表面はどのように破碎されるのか
1991 修	福岡博史	札幌市の都市河川における樹木侵入実態の把握 - 多自然型川づくりに向けて
1992 卒	斎藤正美	一豪雨に伴う崩壊土砂の流出について - 沙流川支流パラダイ川の事例

年度分類	氏名	テーマ
1992 卒	遠藤聡子	束植え個体間の根がらみと癒合
1992 卒	山崎岳	沙流川支流パラダイ川における1992年8月豪雨に伴う流木生産・流出の実態
1992 卒	阿部俊夫	緩勾配蛇行河川における倒流木による淵・カバーの形成
1992 卒	井上涼子	流域環境整備における流出抑制施設の役割について
1992 卒	桜井彰人	駒ヶ岳火山山麓における植栽樹木の成長と植生侵入の実態
1993 卒	竹下正哲	山腹工施工地における土壌動物相の時系列推移と回復状況
1993 卒	山田晴子	自然教育が小学生の自然環境に対する意識と親しみ方に与える影響
1993 卒	平川泰之	有珠山小有珠川流域における防災対策と植生被覆の推移
1993 卒	徳田大輔	火山山麓扇状地における土石分散工堆砂地の浸透性に関する模型実験
1993 卒	山田拓也	1992年8月洪水により破壊された沙流川ヤナギ河畔林の再生実態
1993 卒	持田二葉	森林が溪流水の水質に及ぼす影響 一問寒別川流域における観測例
1993 卒	長山孝彦	降下火山灰を指標とした山地小流域での斜面安定度について
1993 卒	小塩拓也	有珠山防災対策地における植生回復の実態
1993 卒	池田直人	海岸緑化工試験地における飛来塩分環境と緑化木の生育状況
1993 修	伊藤晶子	土地保全的視点からみた流域構造の歴史的変遷と資源管理
1993 修	井上幹生	小河川における魚類群集の生育環境特性
1993 修	五味高志	氾濫原の河川地形動態と流域的土砂移動の影響
1994 卒	有賀誠	河床部と斜面部の林分構造および立地環境の比較 一十勝川上流域を事例として
1994 卒	石川雄彦	生活環境保全林における音環境について
1994 卒	吉田桂治	クロスデューティングによる利尻島扇状地の土砂氾濫履歴の解析
1994 卒	岸千春	上流域の小河川に滞留する落葉リター量と滞留要因について
1994 卒	布川雅典	河畔林の樹冠被覆による小河川の底生昆虫群集の違い
1994 卒	杉本幸穂	問寒別川流域における河畔林と水温の関係及び河川管理に関する一考察
1994 卒	川鍋礼子	樹冠疎開による道路周辺の林相と微気象の変化について
1994 修	阿部俊夫	倒流木の除去実験による魚類生息環境の変化
1994 修	櫻井彰人	火山性荒廃地における植生回復と土壌変化
1994 修	斎藤正美	沙流川小流域における斜面土層観察による崩壊発生頻度の検討
森林科学科 森林政策学講座(林政)		
1989 卒	山口真保呂	漁家・農家の就労実態と所有山林への意向 一道南上ノ国を事例として
1989 卒	宇野聡夫	民有林林道事業の展開と地域における林道の役割 一北海道の4町村の事例
1989 修	岩田聡	過疎山村の地域振興の実態と「内部的発展」の模索
1990 卒	多田貴久	分収育林の現状に関する一考察
1990 卒	布恭子	公有林の管理・経営の現状・問題点と今後の方向 一岩手県住田町を事例に
1990 卒	飯塚博美	札幌近郊の森林公園におけるレクリエーション利用の実態と利用者の意識 一市民の森林公園利用における白旗山環境林の位置づけ
1990 卒	武田祐介	札幌市周辺におけるゴルフ場造成による林地開発の現状と自治体の対応
1990 卒	古田淳	近代日本の自然保護思潮史に関する考察 一風景と主体の関係を視軸にした自然保護思潮の構造分析
1990 修	北澤新	東南アジアにおける用材生産の現状と日本における南洋材の消費動向
1991 卒	宇山雄一	都市域における森林公園整備のあり方に関する考察 一札幌周辺地域を事例として
1991 卒	塚平賢治	民有林カラマツ林業における間伐補助金の効果 一音更町の森林所有者の意識に着目して
1991 卒	根木耕介	ヒューマン・グリーン・プランによるリゾート開発 一赤井川村の事例
1991 卒	日詰裕中	北海道におけるカラマツ素材流通の現局面 一十勝地方を事例として
1992 卒	近藤純子	古紙のリサイクルの現状と課題
1992 卒	杉本明子	道産広葉樹をめぐる利用動向と施業に関する考察
1992 卒	諏訪実	開発NGOの現状と課題 一政府のNGO助成制度をめぐる
1992 卒	種市利彦	道内中等林業教育の歴史と今後の活性化・改善への提言
1992 卒	斎藤和彦	河川環境の保全・創造における住民参加の意義と課題に関する考察 一都市中小河川を事例にして
1992 卒	石井佳子	北海道の森林組合における1970年以降の事業展開と今後の機能強化
1992 卒	藪田夏芽	近年の河川事業の動向と今後の展開方法についての考察
1993 卒	水津絵利子	土地所有権と自然保護の相克と調整
1993 卒	志村圭	水産資源保全のための森林整備に関する一考察
1993 卒	嶋瀬拓也	北海道における造材作業機械化の現状と課題
1993 卒	大室秀実	木炭の有効利用と将来性
1993 卒	古川倫章	藻岩山国有林の管理と利用に関する一考察
1993 卒	伊藤真	都市と農山村の地域間交流の現状と意義
1993 修	宇山雄一	市町村林業行政の現状と課題 一北海道を事例に

表-2 卒業論文・修士論文テーマ一覧(続き)

北大4・山形大1

年度分類	氏名	テーマ
1994 卒	森由美子	北海道山村の人口動態と地域活性化への取り組み
1994 卒	渡辺健二	FORESTERの役割 - アメリカFORESTER協会の倫理綱領への土地倫理の導入から
1994 卒	都築伸行	国有林民営化以降のニュージーランドにおける木材輸出動向について
1994 卒	増山寿政	流域管理システムと上川北部流域における木材流通加工の現状
1994 卒	酒井千裕	サロベツ原野における利用の変遷と保全の現状
1994 修	石井佳子	森林組合の事業展開と地域における組合の役割に関する研究
山形大学 農学部生物環境学科 地域環境科学講座(地域生態学)		
1989 卒	伊藤英行	ブナノキニ次林の構造と株立ち木について
1989 卒	工藤康夫	雪崩地における植生変化に関する考察
1989 卒	小野義彦	田沢湖町における国有林広葉樹資源と地元製材業
1989 卒	川西博史	ブナ天然林のギャップ更新に関する一考察 - 林冠ギャップの変化を中心として
1989 卒	渡辺力	演習林経営における地理情報システム導入の試み
1989 修	野呂忠幸	ブナノキ幼齢ニ次林の構造と成長に関する研究
1990 卒	山田真一	豪雪・急傾斜地におけるスギ人工林の雪害について - 山形大学演習林第1研究林分26年間の経過
1990 卒	浦浩二	ブナノキニ次林の豊作年における結実状態について
1990 卒	倉田英彦	ブナノキ保残帯における稚樹の生育状況
1990 卒	真崎博之	ブナノキニ次林の間伐方法に関する一考察
1990 卒	酒井雄二	閉鎖したブナノキニ次林における稚樹の成長と消失について
1991 卒	岩田昌人	朝日連峰・在所平ブナ天然林の動態 - 航空写真による林冠ギャップの経年変化の解析
1991 卒	入野彰夫	スギ人工林における樹冠の形態について - 羽黒山田谷村杉を中心に
1991 卒	藤巻光浩	ブナニ次林における間伐前年の林分構造について
1991 卒	田中亨	うっ閉したブナニ次林における稚樹の動向 - 結実翌年の発生と消失を中心にして
1991 卒	田村浩喜	森林および自然教育に関する、山形県教員の意識について
1992 卒	土川政信	豪雪急傾斜地におけるスギ人工林(33年生)の雪害経過 - 第一, 第二研究林分の比較
1992 卒	岩崎京一郎	小国町在所ブナ天然林に於ける天然更新の可能性に関する一考察
1992 卒	藤城彰人	櫛引ブナニ次林における立木の成長経過について
1992 卒	貴戸励次	櫛引ブナニ次林において実施された間伐について
1992 卒	鈴木千由紀	閉鎖したブナニ次林における稚樹の冬芽に関する研究
1992 卒	加々美貴代	櫛引ブナニ次林の結実と種子落下量 - 81年, 90年, 92年の比較
1993 卒	尾形俊成	櫛引ブナニ次林における結実と年輪幅に関する研究
1993 卒	城向勇男	豪雪地スギ再造林地における現林分と旧林分の比較
1993 卒	廣橋典明	小国町ヨモギ平ブナ天然林のギャップ更新に関する研究
1993 卒	小林潤	東北日本海側ブナニ次林の収量-密度図の作成に関する基礎的研究
1993 卒	各川潤	櫛引ブナニ次林における稚樹の形態に関する研究
1994 卒	鈴木雄大	豪雪地スギ人工林における林木の成長と雪害について
1994 卒	須藤克文	谷地幅ブナニ次林における林分構造の解析 - 除伐後25年の推移
1994 卒	清藤紘律	羽黒山アカマツの年輪幅と気候要素の関係について
1994 卒	中島直樹	ブナニ次林における間伐前後の稚樹の形質と発生・消長について
1994 卒	宗形陽幸	三崎山タブ林の林分構造の解明
1994 修	入野彰夫	羽黒山における田谷村杉と若齢林分の密度と樹冠に関する研究
森林資源学講座(森林資源学)		
1989 卒	白川伸輔	白神, 狩場両山地におけるブナ天然林の親木形態と種子形質および稔性について
1989 卒	和野信彦	豪雪地スギ人工林の根元曲がり要因について
1989 卒	菅野光弘	庄内空港建設地周辺における幼齢クロマツ移植木の枯損要因および生育について
1990 卒	安達毅	豪雪地スギ林の地形要因と根元年輪幅の変動について
1990 卒	高橋輝昌	豪雪急傾斜地におけるスギ林の地形要因と土壌栄養について(I) - 地表面有機物層の腐植
1990 卒	川島治	豪雪急傾斜地におけるスギ林の地形要因と土壌栄養について(II) - 地表面有機物層と土壌A層の窒素・炭素量
1990 卒	白井利英	庄内砂丘地における幼齢クロマツ移植木の枯損及び当年成長量について
1990 卒	鈴木健一	飯豊山地におけるブナ天然林の親木形態と殻斗形質について
1990 卒	林真弘	豪雪地幼齢スギ林内の斜面雪圧について - 地形の凹凸による違い
1991 卒	黒田誠一	庄内空港周辺におけるクロマツ防風林帯の造成に関する研究 - 幼齢移植木の成育
1991 卒	穴戸順	上名川演習林におけるブナニ次林の形質相関
1991 卒	細田和男	豪雪急傾斜地におけるスギ壮齢林の立木位置と林地の凹凸について

年度分類	氏名	テーマ
1991 卒	杉田英紀	豪雪地におけるスギ壮齡林の地形要因と土壤栄養について
1991 卒	佐藤成悦	豪雪地における70年生スギ林木の生育経過について
1992 卒	小泉智	速成防風林帯における幼齡クロマツ移植木の風害
1992 卒	中野悟	酒田市宮海地区における砂丘クロマツ林の樹種構成
1992 卒	小林貞成	カモシカ食害に関する山形市宝沢集落の事例
1992 卒	脇田隆伸	豪雪緩斜面における幼齡実生スギの樹形と冠雪荷重
1992 卒	日沼賢尚	豪雪地緩・急斜面における積雪と幼齡実生スギの傾幹
1992 卒	阿部真人	豪雪地におけるスギ人工林の枝張りについて
1992 卒	牛沢理	庄内地方におけるマツノザイセンチュウ病被害
1992 修	岡田正治	豪雪地壮齡スギ人工林の幹折れについて
1992 修	川島治	豪雪地壮齡スギ人工林における局所地形の土壤に及ぼす影響
1993 卒	小林孝臣	豪雪地スギ幼齡林木の枝枯性疾患による被害状況
1993 卒	二階堂太郎	東大鳥川中流域における河畔林の構造
1993 卒	永井千夏	クロマツの結実特性と昆虫による球果の被害
1994 卒	今矢明宏	スギドクガの被害集中を引き起こす樹冠の空間的配置とその防除法の検討
1994 卒	上野直人	アカシデ, サワシバ林分のサイズ構成と空間構造から見た更新過程
1994 卒	菅谷真紀子	豪雪急斜面におけるスギ幼齡木の成長と土壤について
1994 卒	平貴光	豪雪急斜面におけるスギ造林木の根元曲がりの推移と生育について
1994 卒	那須嘉明	タヌキのタメフン行動による種子散布
1994 卒	成澤直人	カバノキ科低木ツノハシバミとヒメヤシャブシの生長特性について
1994 修	細田和男	豪雪地スギ造林木の大きさ・樹形と周囲密度との関係
森林資源学講座(森林文化学)		
1994 卒	穴井剛	熊狩り習俗の研究 - 朝日村大鳥, 大泉地区の事例
1994 卒	後藤泰宏	伝説から見た森林観の地域的な差異 - 岐阜県美濃地方, 飛騨地方の事例
森林資源学講座(森林工学)		
1989 卒	鈴木千秋	雨滴衝撃力が侵食土砂量に及ぼす影響
1989 卒	尾崎智雄	芦沢林道切土法面の崩壊と土質について
1989 卒	青木千春	防浪砂堤周辺部における砂面変動と植生分布の変遷
1989 卒	志藤彰	庄内空港の建設がその周辺部の風況に及ぼす影響について
1989 卒	国分真悟	蛍光着色砂による飛砂の移動距離測定 - 海岸砂地における現地実験
1989 卒	高橋公明	防風垣内の風速分布とクロマツ植栽木の枯死について
1990 卒	後藤伸幸	庄内空港周辺部における風況の解析
1990 卒	青木邦光	防浪砂堤周辺部における砂面変動と植生分布の関係
1990 卒	布施修	雨滴衝撃力と侵食土砂量の関係
1990 卒	井上一馬	風洞実験による砂の含水比と飛砂移動量の関係
1990 卒	三村徳義	上名川演習林林道における排水施設の現況と対策
1991 卒	吉田真人	防浪砂堤周辺部における砂面移動と植生分布 - とくに, ハマニシクとチガヤについて
1991 卒	和多田浩樹	赤川放水路右岸におけるクロマツ林の風況解析について - 防風柵設置前と設置後の風況変化
1991 卒	斎藤浩一	庄内空港周辺部の風況解析 - 森林伐採前と空港完成後の比較
1991 卒	山田秀之	クロマツ林内における雨滴衝撃力と侵食土砂量の関係
1991 卒	山口恭史	蛍光砂を用いた飛砂の拡散現象について
1992 卒	釧内倫夫	庄内空港周辺部における風況解析
1992 卒	勝山泰広	芦沢林道工事に伴う盛土法面の侵食と捨土土砂の流出
1992 卒	佐藤康成	赤川放水路拡幅工事と防風柵設置による風況の変化について
1992 卒	小山要一	飛砂粒子の粒径による拡散現象の変化について
1993 卒	田中勝次	海岸クロマツ林における塩分過効果の定量化
1993 卒	佐藤達也	庄内砂丘の防浪砂堤周辺部における砂面変動 - 風洞実験による砂面変動の予測
1993 卒	神保まつり	赤川放水路裸地砂面における早期緑化法について
1993 卒	伊藤利浩	森林保安林内における道路開設が風況に及ぼす影響
1993 卒	甲斐義隆	'93年6月立ち谷沢川濁沢で発生した大規模地すべり性崩壊について
1993 卒	田中奨	飛砂防止柵の形状と飛砂量・堆砂との関係について - 風洞実験による
1994 卒	蔵太	魚つき林に関する研究 - 庄内魚つき保安林と沿岸生物の関係
1994 卒	齋藤伸典	庄内空港開設に伴って生じた周辺のビニールハウスの被害分析

表-2 卒業論文・修士論文テーマ一覧(続き)

山形大3

年度分類	氏名	テーマ
1994 卒	中西亮	風によって生じる葉の音に関する研究 - 樹種別の葉の音の感じ方
1994 卒	穂波輝樹	'93年6月、濁沢で発生した大規模地すべり性崩壊について(Ⅱ) - 土砂移動状況の把握及び湧水について
1994 卒	本間雄二	マサ土で構成されたスキー場ゲレンデにおける降雨と流出土砂の関係
1994 卒	高橋一功	飛砂防止柵の多層構造による飛砂減少効果に関する研究 - 風洞実験において
1994 卒	吉田聡司	防浪砂堤風上側脚部の開削が砂面変動に及ぼす影響 - 風洞による砂面変動実験
森林資源学講座(林産製造学)		
1989 卒	坂本太郎	スギ傷害材(トビクサレ材)着色高分子化合物の分解物について
1989 卒	藤原直哉	シイタケ・マツオージ細胞融合菌の特徴について
1989 卒	川端孝信	スギ茎頂組織のカルス増殖に及ぼすオーキシンの効果とその再分化について
1990 卒	太田明	スギの組織培養における基礎的研究
1991 卒	柳和彦	スギ針葉カルスの誘導、増殖における各種オーキシンの効果
1991 卒	荻沼正一	オオワライタケ中の発根促進物質
1991 卒	佐藤淳	酸性染料を用い「生立木の層化染色」への試み
1991 卒	土井武幸	未利用樹木のキノコ培地適性の研究
1991 卒	南野修一	ウラベニホテイシメジによるフェルラ酸の分解
1991 卒	吉田哲	簡易製炭窯による木炭の製造とその吸着作用についての基礎的研究
1992 卒	金山央子	スギヒラタケの培養生理
1992 卒	杉浦仁志	木酢液の性質及び植物種子の生長に与える影響
1992 卒	坂東亮輔	立木染色の基礎的研究 - 染料の浸透と染色性
1993 卒	西出和久	チャボスギの矮性要因について
1993 卒	小松晃一	自製木炭による生活排水の浄化について - 洗剤中の界面活性剤(LAS)の除去能力
1993 卒	伊藤美津子	夏期におけるスギ樹幹内の成分分布について
1993 修	金山央子	スギヒラタケの培養生理特性について
1994 卒	寺澤暢	ブナ、スギ樹幹流のpH変化の要因
1994 卒	三島幸洋	スギ樹幹内成分分布と季節変動 - 特に淡色心材個体と黒色心材個体について
1994 卒	三浦敏之	生活排水の現状と林産物の水質浄化能力
1994 卒	樋口弘二	メタセコイヤ及びヌマスギの抽出成分について
1994 卒	斎藤真樹	スギヒラタケ腐朽材に含まれる生理活性物質について
1994 卒	井上栄司	スギ針葉に含まれる生理活性物質について
1994 修	南野修一	リグニン関連ケイ皮酸誘導体の担子菌(YR-1)による生分解
森林資源学講座(森林政策学)		
1989 卒	平出誠	北洋材輸入の動向 - 酒田港の事例
1989 卒	増田由幸	製材業の再編動向 - 酒田市・八幡町の事例
1989 卒	中野英明	住宅建築と地域性 - 山形市の事例
1989 卒	江見信一	協同組合の住宅供給と地域生協の役割 - (株)コープ開発センターの地元産業提携活動
1989 卒	荒木田光生	森林原野下戻しと国有林野不要存置処分 - 山形県東田川郡旧本郷村の事例
1989 修	井上靖彦	農民的林野利用と環境保全 - 山形県小国町足水川流域の事例
1989 修	斎藤万佐夫	地域森林資源と製材業の展開 - 千葉県大多喜町の事例
1990 卒	小沢洋一	学校林の研究 - 岩手県の事例
1990 卒	大武浩美	古紙のリサイクル - 牛乳パック回収運動を基軸にして
1990 卒	中村義幸	製材業の近年の動向 - 山形県鶴岡市の事例
1990 卒	土屋哲	離島の森林と水資源 - 佐渡島外海府地方の事例
1990 卒	見上成宜	リゾート開発の研究 - 蔵王・月山地域リゾート構想の事例
1990 卒	渡部明	地域社会と森林資源 - 赤川水系における歴史的考察
1991 卒	恩田澄江	住宅建築の地域性に関する研究 - 山村集落小名部の事例
1991 卒	細越陸明	水と森林資源 - 赤川水系を中心として
1991 卒	加藤明美	自然保護運動の研究 - 出羽三山の自然を守る会の事例
1991 卒	玉川和子	地球環境問題と森林資源
1991 卒	依田光晴	国有林野事業の変遷と森林の公益性
1991 卒	山本伸二	森林の高度利用 - 山梨県「清里の森」事業の事例
1991 修	林牧人	山村における林野利用と資源管理 - 山形県小国町滝川流域の事例
1992 卒	阿部正己	酒田港における北洋材輸入の動向
1992 卒	梅木克也	「ナショナル・トラスト」- トトロの森の事例
1992 卒	高木和之	改善計画と国有林経営

表-2 卒業論文・修士論文テーマ一覧(続き)

山形大4・筑波大1

年度分類	氏名	テーマ
1992 卒	村上幸一郎	「森林と河川」－公益的機能発揮の実態と展望
1992 修	小澤洋一	学校林に関する実証的研究－岩手県を事例として
1992 修	渡部明	農民による林野の利用と所有に関する研究－庄内地方の事例
1993 卒	櫻井敬典	森林音景論－林学とSound scape design
1993 卒	小口顕	内水面漁業と低湿地利用－長野県諏訪湖の事例
1993 卒	加藤健伸	名木に関する研究－山形県老樹名木写真帳より時空を越えて
1993 卒	中島彦太郎	国際林業協力の現状と課題－その方向性について
1993 卒	小口卓也	県民の森の研究－栃木県の事例
1993 卒	大越聡明	自然休養林の研究－鶴岡営林署高館山自然休養林の事例
1993 卒	川部真也	漁家林家の研究－温海町の事例
1993 修	渡部直人	平地農村における資源利用の研究－赤川流域旧齋村の事例
1994 卒	小平弘孝	高性能林業機械化伐出作業システムの展開－山形県の事例
1994 卒	近藤智也	木材流通と林業の現状－秋田県鷹巣町の事例
1994 卒	高橋伸幸	森林法改正と流域林業－山形県庄内流域の事例
1994 卒	横内修	住宅建築の地域性と大工の就業構造について－山形県大石田町里集落の事例
1994 卒	川原隆哲	林業労働者と労働者協同組合の研究－京都府中丹地域の事例
筑波大学 農林学系 造園学('93まで)		
1989 卒	井川久行	道路沿線の緩衝緑地帯における重金属の挙動
1989 卒	堀内洋	茨城県北西部を中心とした照葉樹林の貴重性から見た環境評価
1989 卒	本田敬子	自然保護の面からみたハケ岳演習林の管理計画案
1989 卒	牧村由紀	アカマツ樹林帯における騒音減衰効果に関する研究
1990 卒	奥田圭一郎	筑波大学キャンパス内における街路樹の生育と土壌要因に関する研究
1990 卒	甲辺和美	公園緑地などの水際の親水性に関する研究
1990 卒	小林純子	長野市飯綱高原の自然保護と調和のある整備に関する研究
1990 卒	中野悦子	メヒルギの生育特性に関する研究
1991 卒	本田望洋	牛久市における1960年代以降の植生の変化
1991 卒	川本昌宏	農村集落における屋敷林の機能について
1991 卒	児島やよい	牛久自然観察の森の利用と自然解説
1991 卒	光辻知己	筑波山におけるブナ林の衰退と更新機構の解明
1992 卒	宇賀神知則	谷津田の環境とカエルに関する研究
1992 卒	坂口直子	シバ類とコノテガシワの照度反応について
1992 卒	佐藤英明	西明寺自然環境保全地域における照葉樹林伐採後の植生とその回復に関する研究
1992 卒	中島誠	筑波地区アカマツ林の落葉量の変化と分解
1993 卒	金広慎二	ハケ岳演習林内における湿原の植生と地下水位との関係
1993 卒	郷孝子	茨城県小松沢牧場のアズマネザサ型草地とシバ型草地の植生
1993 卒	佐藤俊行	農村集落における土地利用が河川の水質に与える影響－八郷町上曽集落周辺地域を事例として
1993 卒	鈴木慎也	栃木県上三川町におけるアカマツ林等を中心とした土地利用の変化
1993 卒	長谷部原	樹木活力度評価に基づいた植栽の基礎研究
育林学		
1989 卒	井川浩道	筑波研究学園都市における公園緑地の鳥相と鳥類誘致条件
1989 卒	栗山喬行	<i>Leucaena leucocephala</i> および <i>Acacia victoriae</i> の共生根菌接種効果
1989 卒	小湊毅	カラマツのアイソザイム遺伝子分析
1989 卒	高橋誠	東北日本ブナ3集団のアロザイム変異
1990 卒	倉本哲嗣	東北地方選出のスギ精英樹およびスギ耐雪性個体のアイソザイム遺伝変異
1990 卒	富樫好範	川上演習林のヒノキの生育に関する一考察
1990 卒	藤原裕二	里美牧場内オートキャンプ場及び牧草地内の植生
1990 卒	湯原佳世	つくばにおける平地林・屋敷林等の地域特性と保全に関する研究
1991 卒	岩下英知	奥鬼怒スーパー林道における法面植生
1991 卒	鈴木猛史	マングローブ樹種の初期成長に及ぼす種々の光環境の影響
1991 卒	田口博代	オシラビソにおける葉緑体DNAの遺伝的変異
1991 卒	森川道子	ハイマツ群落の成長指標要素－群落構造と成長について
1992 卒	吉川奈津子	アロザイムによるカラマツ天然林の遺伝変異に関する研究
1992 卒	黒沢伸行	都市化による茨城県茎崎町の緑地の変化

表-2 卒業論文・修士論文テーマ一覧(続き)

筑波大2・字大1

年度分類	氏名	テーマ
1992 卒	鷲塚則子	ハイマツ群落の現存量・生産量の推定について
1993 卒	大矢信次郎	アカマツ模型林における密度・枝剪除と葉量の関係
1993 卒	大山陽子	早成樹6樹種の幼苗の養分吸収特性
1993 卒	竹本新吾	関東およびその周辺地域のコナラとミズナラのアロザイム変異
1993 卒	藤城一雄	林内光質モデルにおけるメヒルギおよびオヒルギの成長限界照度
1994 卒	石井洋次	井川演習林に於けるクマハギ発生消長の追跡
1994 卒	梅野岳	高密度アカマツ模型林の構造と光透過性
1994 卒	小山内豊	夏季における樹林の微気象調整効果について
1994 卒	加藤真紀	ハイマツ年枝長の年次変化パターンと温度要因との関係
1994 卒	佐羽尾友理	樹林の防音機能
1994 卒	神宮香苗	井川演習林のヒノキ造林地におけるクマハギの被害実態の把握と要因解析の試み
1994 卒	鈴木町枝	コウヤマキにおける核リボソームDNAの種内変異
1994 卒	建元寿寿	スキー競技における硫安散布が与える環境への影響
1994 卒	福田誠治	大岩田湖岸堤におけるアシの活着率と環境要因
1994 卒	宮田絵里	茨城県八郷町における風俗行事樹木に対する中学生の意識に関する研究
1994 卒	山口みどり	カラマツ天然林のアロザイム変異に関する研究
1994 卒	長倉淳子	樹木活力度と土壌要因および樹木活力度における指標性について
林政学		
1989 卒	菊地さとみ	農山村とリゾート開発
1989 卒	藤田英子	森林開発と自然保護の調和 - 知床国立公園を事例として
1989 卒	森田和馬	国産材時代における森林組合林産事業
1990 卒	中込恵美子	林業村の存在形態 - タイ国カラシン県プー・ハン村の事例より
1990 卒	神谷耕司	屋久島地域経済と国有林野事業
1990 卒	宮崎秀明	森林のレクリエーション開発と地域振興に関する研究 - 福島県南会津郡における事例
1991 卒	辻井章江	国有林野経営と請負事業体 - 茨城県大子営林署の事例を通じて
1991 卒	中島秀夫	森林組合事業の展開過程 - 茨城県里美村森林組合を事例として
1991 卒	久武陽子	山村地域の活性化に関する研究 - 茨城県里美村里川地区の事例を通じて
1992 卒	中通実	森林資源の利活用と山村 - 群馬県上野村を事例として
1992 卒	高見一郎	産炭地域振興と地方財政の課題 - 北海道夕張市における企業誘致と観光開発
1992 卒	山香吉信	スポーツによる農村振興
1992 卒	金子直樹	地域資源利用と山村活性化 - 福島県大沼郡三島町の資源利用型活性化事業を事例として
1992 卒	三好知信	タイ国における外延的拡大型農業と森林減少
1992 卒	石神和樹	地域振興におけるリゾートのあり方
1992 卒	谷尚樹	山岳レクリエーションに起因する登山道のひろがりについて - 飛騨山脈立山での研究
1993 卒	弓場雄一	国立公園における環境教育活動と公園利用 - 日光国立公園 奥日光地区と尾瀬地区との比較研究
1993 卒	水谷賢治	内陸地域農村における産業構造の展開 - 長野県上小地域を中心に
1993 卒	村田真一	林業生産における林道の機能に関する一考察 - 埼玉県飯能市東吾野地区を事例として
1993 卒	吉沢一義	都市域における森林緑地の現状と安全・確保に関する考察 - 横浜市緑区を事例として
1993 卒	早岡英介	自然公園の保護と利用のあり方 - 南アルプス林道を事例として
1993 卒	木下美知緒	街路緑化の現状と課題 - 神戸市を例として
1993 卒	河原祥子	アメリカ北西部における環境保護と木材生産
1993 卒	高松実	平地林 - 今後の保全のあり方
1993 卒	大橋保明	木材輸入と南洋材製材産地の衰退 - 東京都新木場地区における製材業を事例として
1993 卒	野崎夏樹	森林組合合併と地域林業 - 栃木県黒羽町を事例として
1993 卒	小林理香	国立公園地域と社寺有林経営 - 日光の社寺有林を事例として
1993 卒	山添昌子	ある中規模林家の戦後の経営展開
宇都宮大学 農学部森林科学科 森林計画学および森林計測学		
1991 卒	石上英晃	森林の水源かん養機能に関する一考察
1991 卒	亀山俊光	矢板市の都市化に伴う樹林地面積の変化について
1991 卒	倉石修	宇都宮市の市街化区域におけるランドサットTMデータのスペクトル特性 - バンド間の相関を中心にして
1991 卒	甲佐秀司	地域振興のあり方について - 島根県匹見、金城町と広島県芸北町を事例として
1991 卒	佐々木民扶	岩手県におけるリゾート開発と地域振興のあり方について
1991 卒	鯨島弘	カラマツ無間伐林分の成長解析 - 筑波大学農林技術センター川上演習林を事例として
1991 卒	山根千恵子	形状比を使った間伐法の有効性についての一考察
1991 卒	鈴木貴雄	宇都宮大学船生演習林長伐期施業試験林における間伐木の利用率 - '91年実施間伐木データを用いて
1991 修	中澤圭一	日本とイギリスでの国有林の景観管理の比較に関する一考察 - 日光国立公園及びイギリスのいくつかの国立公

年度分類	氏名	テーマ
園内の国有林を事例として		
1992 卒	石田良行	樹木の成長と生育空間
1992 卒	岸本剛	鬼怒川における河川敷利用計画に伴う諸問題に関する一考察
1992 卒	酒井亜紀子	県内ゴルフ場の現況と、ゴルフ場内の残置森林の確保と保存
1992 卒	高田昌治	栃木県の民有林における分収育林事業に関する一考察
1992 卒	奈良部正利	栃木市における樹林地面積の変化について
1992 卒	星直伸	森林の水源かん養機能について - 流出解析モデルの検討
1992 卒	村井泰人	山村地域におけるリゾート開発のあり方について - 新潟県湯沢町を事例として
1993 卒	野中純	鬼怒川河川敷における鳥類と環境との関係
1993 卒	花田光太郎	今市市における樹林地面積の変化について
1993 卒	福池晃	栃木県の環境アセスメントの手続きと予測方法
1993 卒	正木信幸	林分および単木の材積成長式におけるパラメータの変化について
1993 卒	遊佐潔	森林の水源かん養機能について - 流出解析モデルの研究
1993 卒	吉田知史	学生の森林観と学部改組 - 国立大学農学部旧林学関連学科17大学のアンケート結果より
1994 卒	仲兼永	リゾート法の実情と環境保護運動についての一考察 - 和歌山県を事例に
1994 卒	小沢一徳	河川敷ゴルフ場に対する必要性及び今後の在り方についての一考察
1994 卒	植木信吉	赤外カラービデオ画像の森林調査への応用
1994 卒	佐藤敏彦	近赤外VTRによる植生区分
1994 卒	出島貴司	日光戦場ヶ原湿原におけるズミの直径成長の解析
1994 修	岸本剛	スーパー林道の検証 - 奥鬼怒スーパー林道を例として
森林生態学, 育林学, 野生動物管理学		
1991 卒	熊谷幸雄	男体山大薙および周辺天然林の植生と植栽木の生育状況について - 1991年の調査
1991 卒	谷口誠	栃木県高原山イヌブナ (<i>Fagus japonica</i> Maxim.) 天然林における種子落下数およびリター落下量について1990, 1991年の調査
1991 卒	千吉良治	栃木県高原山イヌブナ (<i>Fagus japonica</i> Maxim.) 天然林におけるギャップ更新について"
1992 卒	内山武明	栃木県高原山地のイヌブナ天然林長期固定試験地における種組成と群落構造
1992 卒	加藤剛	日光男体山大薙における植物群落の形成とその成立環境
1992 卒	川口知穂	栃木県高原山イヌブナ (<i>Fagus japonica</i> Maxim.) 天然林における堅果落下数およびリター落下量" - 1992年の測定を中心とした解析
1992 卒	酒井敦	宇都宮大学船生演習林のフロラと分布特性
1992 卒	澤田和宏	足尾荒廃地の土壌動物相と立地環境
1992 卒	橋本徹	ニホンカモシカ (<i>Capricornis crispus</i>) とニホンジカ (<i>Cervus nippon</i>) の行動と食性の調査法に関する研究
1992 卒	橋口功	男体山大薙及び大薙周辺の植生と立地環境 - 土壌の粒径区分との関係
1993 卒	阿曾康司	山形県在所平におけるブナ林のギャップ面積の推移と更新
1993 卒	柏倉哲子	足尾ダム堆砂地におけるヤナギ類の成長とニホンジカの採食圧の関係
1993 卒	熊崎康夫	ブナ3年生幼樹の成長におよぼす人工庇陰の影響
1993 卒	佐々木謙	栃木県高原山のイヌブナ天然林長期固定森林動態調査地における樹種の分布特性
1993 卒	里道知佳	那須岳東麓中大倉山東南斜面における林分構造の研究
1993 卒	別井広幸	栃木県高原山イヌブナ天然林における堅果落下数およびリター落下量 (1993)
1993 卒	堀真輔	ケヤキ, ブナにおける枝の成長と巻き込みの過程
1993 卒	望月昇	栃木県高原山のイヌブナ・ブナ天然林における埋土種子集団の構造
1994 卒	上野満	節解析によるブナの枝の分布と巻き込みの痕跡に関する研究
1994 卒	大西正道	栃木県高原山イヌブナ天然林長期固定試験地における微地形と林冠構造
1994 卒	桐谷彩枝	栃木県高原山イヌブナ天然林長期固定試験地における実生の消長と分布特性
1994 卒	黒木直也	ブナ4年生稚樹の成長におよぼす人工庇陰の影響
1994 卒	篠崎武彦	船生演習林ヒノキ幼樹造成地におけるヒノキと雑草群落の成長
1994 卒	千葉潤子	日光杉並例幣使街道におけるスギの衰退と根系保護効果
1994 卒	二瓶幸志	念仏平における縞枯れ現象について
1994 卒	山田浩二	船生演習林4林班の土壌の特徴とその分布
1994 卒	山田由紀子	シカの植生解析のためのフン分析法について
1994 修	川口知穂	亜高山帯林床におけるゴゼンクチバナの生活史
森林防災学		
1991 卒	臼杵伸浩	TM画像による3次元測定のための外部標定要素の算出について
1991 卒	武石秀行	ランドサットTMデータを利用した教師付き分類法における分類精度評価方法の検討
1991 卒	松原弘毅	2時期のランドサットデータを用いた地被分類法の分類成績の改善

表-2 卒業論文・修士論文テーマ一覧(続き)

宇大3

年度分類	氏名	テーマ
1991 卒	宮本達哉	カラーイメージスキャナによる画像入力方法の検討
1992 卒	甲地孝行	人工衛生に搭載されたリニアアレイセンサの外部標定
1992 卒	上家信	二次期のTMデータの差演算を用いた地複分類の検討
1992 卒	西村周子	パーソナルコンピュータによる景観評価のための画像合成システムの開発
1993 卒	大池宏彦	TM画像のサイドラップ領域を利用した3次元座標計算
1993 卒	鉢村勉	dBASEによる災害データ管理システムの試作
1993 卒	富岡弘一郎	イメージスキャナ画像によるステレオマッチングの検討
1994 卒	赤木美千代	パーソナルコンピュータによる景観評価のための画像合成システムにおける遠近法の研究
1994 卒	有馬弘紀	パーソナルコンピュータによる災害情報管理システムの開発
1994 卒	太田武志	パーソナルコンピュータによる等高線自動描画システムの試作
1994 卒	中主あさ	二時期のTMデータの差演算を用いた地被分類の検討
森林利用システム学		
1991 卒	大谷包	6WS.6WD機構ホイールトラクタの傾斜地走行性能
1991 卒	掛布張山	全輪操舵式クローラ車両の模型製作及び性能実験
1991 卒	亀山雄輝	栃木県下民有林における機械化の普及に関する実態分析
1991 卒	斉藤知則	八輪独立懸架式林内走行車のサスペンション効果に関する模型実験
1991 卒	猪内太郎	プロセッサ造材作業における待ち時間解析
1991 卒	竹居宏道	トラクタ全木集材の走行速度と要素作業
1991 卒	中山共水	林業用作業服の保温機能
1992 卒	小平譲	ホイール式車両模型による操舵方式の比較
1992 卒	関谷昌伸	BSU8輪林内作業車の障害物乗り越えに関する模型実験
1992 卒	千葉理絵	福島県森林地域の路網解析
1992 卒	中村壮一	下刈作業時の衣服内気候
1992 卒	野口利明	半脚式歩行機械による下刈作業のシミュレーション
1992 卒	長谷川博	模型車両を用いた無人搬送車両の検討
1992 卒	浜野裕之	八輪独立懸架式林内作業車模型による懸架装置の有効性についての研究
1992 卒	武藤みき子	林内移動式枝払い機の切削性能
1992 卒	吉田壮一	栃木県における流域間接続路線の解析
1992 卒	鈴木厚志	林道の観光利用
1993 卒	枝川康幸	自走式刈払機の開発に関する基礎的研究
1993 卒	太田芳樹	自走式刈払機の切削能力に関する研究
1993 卒	北村純	林内作業車の姿勢制御に関する基礎的研究
1993 卒	児玉理	林内作業車の具備すべき性能について - 地表障害因子からの検討
1993 卒	佐藤紀子	コンピュータによる景観アニメーションに関する研究
1993 卒	樽美誠二	LandsatTMデータの特性に関する基礎的研究
1993 卒	辻健一郎	林道網整備計画のための地理情報システム(GIS)の構築
1993 修	渡邊直幸	連結式多輪車の木材搬出への応用
1994 卒	安蔵祐司	民有林における集運材作業工程推定へのフェジイ推論の導入
1994 卒	久保田尚子	静岡県大井川流域の路網解析
1994 卒	佐藤慎介	仮想現実感を利用した作業機遠隔制御に関する研究
1994 卒	久富寛之	無線制御による無人集材車両に関する基礎的研究
森林資源利用学		
1991 卒	内山順子	チョウセンヒメツゲ分化中木部におけるリグニン堆積過程の顕微分光解析 - モイレ染色を用いて
1991 卒	海野清	マツノカタワタケによるリグニンモデル化合物の分解及び酵素活性
1991 卒	遠藤永光	ヤナギマツタケ及びマイタケプロトプラストからの菌糸再生
1991 卒	大塚和人	ケヤキのカルス及び腋芽によるマイクロプロパゲーション
1991 卒	奥村純子	ヤナギマツタケプロトプラストの細胞融合
1991 卒	海出千絵	アジサイcuttingsにおける不定根の形成過程
1991 卒	清水秀昭	トラノキカルスからの植物体再生
1991 卒	中村健太郎	茎頂培養によるホウノキの大量増殖
1991 修	柏木英之	マンネンタケ(<i>Ganoderma lucidum</i> (Fr.)Karst)腐朽前処理材のクレゾール水系によるオルガノソルバリティ
1991 修	脇田陽一	クヌギカルス(<i>Quercus acutissima</i> Carruth.)からのプロトプラストの単離と培養
1992 卒	井上敏男	トラノキにおけるプロトプラストの単離と培養
1992 卒	遠藤博史	FFTによる造林木の材質の判定

年度分類	氏名	テーマ
1992 卒	加藤喜明	ケヤキのプロトプラストの調整
1992 卒	小斉誠	木質材料の難燃化
1992 卒	権田繁昭	木材への香料の浸透と香気の発散
1992 卒	佐藤素子	マツノカワタケによるリグニンモデル化合物の分解及び酵素活性
1992 卒	田村大介	集成加工による積層効果の検討
1992 卒	野口直毅	スギ実大材における含水率および断面形状の曲げ強度性能に及ぼす影響
1992 卒	平野裕一	二枚張り集成材の曲げ特性
1992 卒	水野正規	着色木材の変退色因子の解明
1992 卒	山本幸	曲げ仕事量による木材の力学的成長の評価
1992 卒	蘇錫輝	木材の酵素加水分解について - アルカリ性酵素酸化前処理
1992 卒	藤井圭介	マダケ薄板の曲げ
1992 修	前田保	コナラ(<i>Quercus serrata</i> Thunb.)不定芽発達過程の組織化学的観察
1993 卒	天野裕司	オゾン酸化による木材の脱リグニン - オゾンの軸方向浸透性
1993 卒	井波明宏	コブシのあて材形成と細胞壁構造
1993 卒	岡本和巳	コナラにおける不定芽の誘導と幼植物体再生
1993 卒	川崎貴満	廃菌床オガクズの利活用 - 残存化学成分について
1993 卒	菅野真樹	マイタケ菌糸の伸長成長に及ぼす木酢液の効果
1993 卒	佐野正教	ヒノキ丸太材における曲げ仕事量
1993 卒	島田光進	光酸化処理による難接着性木材の接着について
1993 卒	鈴木潔	タラノキにおける葉肉プロトプラストの培養と不定芽の形成
1993 卒	播本信司	木材における香気発散と持続性
1993 卒	鷲野剛三	二枚張り集成材の製造とその力学的性質
1993 卒	渡辺明	ヤシャブシにおける種子単離細胞及び葉肉プロトプラストの培養
1993 卒	杉山光永	木質材料の難燃化
1993 修	大塚和人	ケヤキ(<i>Zelkova serrata</i> (Thunb.) Makino)における腋芽及びカルスからの幼植物体再生
1993 修	奥村純子	ヤナギマツタケ及びナメコにおける変異の誘発
1993 修	田代俊彦	丸太材の曲げ弾性係数の評価
1994 卒	伊藤朋子	マイタケ廃菌床を用いたきのこの栽培
1994 卒	遠藤啓二郎	クロアワビタケの菌糸成長 - 木粉培地における樹種適正について
1994 卒	塩田晶子	シラカンバとヤシャブシにおける電気細胞融合
1994 卒	高橋伸英	遠赤外線燻煙処理スギ材の構造と音響特性
1994 卒	茶谷和彦	ヤナギマツタケにおけるプロトプラストの巨大化及び融合条件の検討
1994 卒	網川健作	シラカンバプロトプラストのひも状構造物の誘導
1994 卒	豊田純一郎	養分移動経路の制御による木部形成の変化
1994 卒	中村未	タラノキの葉及び不定胚からのプロトプラストの単離と培養
1994 卒	西野淳	オゾン酸化による木材細胞壁からの脱リグニン - オゾンの放射・接線方向への浸透性
1994 卒	松浦元威	アカヤシオ成木からの苗条原基形成
1994 卒	三宅真吾	ホウノキのあて材形成とリグニン分布
森林政策学		
1991 卒	石岡純一	山形県民の森造成と整備方向 - 管理及び作業組織問題をふまえて
1991 卒	斎藤和博	山村の現状と振興 - 島根県美濃郡匹見町を事例として
1991 卒	佐藤貴之	森林組作業班の現状と課題 - 栃木県宇都宮市森林組合を事例として
1991 卒	杉浦諭史	都市近郊山村の現状と振興について - 愛知県東加茂郡足助町を事例として
1991 卒	杉山敏	首都圏近郊都市における林野利用の変遷と森林所有者の態様に関する考察 - 栃木市を事例として
1991 卒	絵山博彦	合版業界の将来展望に関する考察 - 愛知県下の合版工場を一事例として
1991 卒	宮沢一正	産地直送住宅事業の現状とその意義に関する調査研究 - 岐阜県加子母村を事例として
1991 卒	横倉秀彦	都市近郊中小林家の現状と今後の展望に関する考察 - 栃木市を事例として
1991 修	郭文挙	中国における木材需給に関する一考察
1992 卒	阿久津修	保健休養機能を重視した公有林野整備に関する一考察 - 栃木県民の森を事例として
1992 卒	家中道生	公有林野と地域社会との関わりの一考察 - 栃木県高根県有林を事例として
1992 卒	忍田和樹	専業林家の経営状態と後継者問題に関する考察 - 栃木県粟野町を事例として
1992 卒	工藤祐一	「内発的発展」による山村振興に関する一考察 - 福島県只見木材加工協同組合を事例として
1992 卒	斎藤和代	国有林野事業の合理化と労働者の実態に関する考察 - 東京営林局高萩営林署を事例として
1992 卒	佐藤充	都市近郊林の開発と林業についての一考察 - 福島市を事例として
1992 卒	三上卓	大民間農場における林業経営の展開 - 岩手県小岩井農場を事例として
1992 卒	森田芳樹	地域振興を生かした林業活性化 - 埼玉県比企郡機川村を事例として
1992 卒	山田美隆	流域林業の活性化について - 茨城県八溝多賀森林計画区を事例として
1992 卒	米村知浩	富山県民公園頼成の森に関する一考察
1992 修	金塚竜	首都近郊山村の変貌過程に関する研究 - 埼玉県両神村を事例として

表-2 卒業論文・修士論文テーマ一覧(続き) 宇大5・東大・東京農工大1

年度分類	氏名	テーマ
1993 卒	大須賀秀樹	林業構造改善事業における森林の総合的利用についての一考察 - 栃木県田沼町根古屋森林公園を事例として
1993 卒	大隅一弘	地域緑化政策と森林におけるナショナル・トラストを中心として - 宇都宮市のグリーン・トラストを中心として
1993 卒	須山佳彦	広域合併森林組合の展開 - 日光地区森林組合を事例として
1993 卒	田村明	森林・林業から見た一戸町の振興 - 岩手県一戸町を事例として
1993 卒	多和田正樹	中小林家における農林複合経営の実態と問題点 - 栃木県鹿沼市, 栗野町を事例として
1993 卒	船津直哉	スーパー林道の地域効果に関する一考察 - 南アルプス林道を事例として
1993 卒	矢澤隆	中山間地域における村おこし運動の展開と今後の課題に関する一考察 - 福島県大沼郡三島町を事例として
1993 卒	山中勝	都市近郊公園に関する問題点 - 宇都宮市森林公園を事例として
1994 卒	阿部直人	立木トラスト運動の展開に関する考察 - 栃木県篠井ゴルフ場立木トラスト運動を事例として
1994 卒	亀和幹広	労基法適用下の林業事業体の就労条件と今後の動向に関する考察 - 栃木県下の林業事業体を事例として
1994 卒	近藤知訓	流域林業活性化に関する考察 - 静岡県天竜流域を事例として
1994 卒	斉藤正洋	都市における緑化の意義と今後の課題 - 松戸市「21世紀の森と広場」を事例として
1994 卒	白石幸久	中小林家の林業経営の実態と意向 - 栃木県塩谷郡塩谷町の事例について
1994 卒	高畑健一	茨城県日立港における外材輸入と処理システム
1994 卒	山方晶子	製材業における製材の加工と流通の現状と問題点 - 神奈川県津久井郡地域を事例として
1994 修	工藤祐一	「内発的発展」による地域振興に関する研究 - 福島県只見木材協同組合を事例として
1994 修	呉鉄雄	中国南部林区における林業の経営形態の展開に関する研究
東京大学 森林経理学		
1989 修	鷹尾 元	人工林の単木成長モデルに関する研究-秩父演習林スギ生長試験地資料の解析-
1990 卒	依田 聡	寿命分布に基づく減反率の推定
1990 卒	増田義昭	マルチセンサによる天然林の林型区分
1991 卒	馬越博之	千葉演習林における固定試験地の成長解析
1991 卒	小谷英司	CVA法による赤城山周辺の森林構造変化の抽出
1991 卒	小幡浩司	福島県奥久慈川流域における素材生産量の予測
1992 卒	山村 進	樹下植栽木の形状に関する研究
1992 修	増田義昭	リモートセンシングデータを用いた天然林の林型区分
1993 卒	藤原章雄	森林紹介CAIコースウェア作成のための地理情報システム利用の試み
1993 修	小谷英司	気象衛星NOAAデータを使用した土地被覆区分の試み-タイ・時系列GVIデータの分析
1994 卒	高橋知子	森林経営における収益計算システムの開発-千葉演習林における経営シミュレーション-
東京農工農学部地域生態システム学科 森林環境科学講座(森林計画学, 森林-人間系科学)		
1989 卒	及川洋征	山武林業地における林家の経営動向
1989 卒	大崎智文	ある林分成長モデルから導かれた林分の各成長要素の平均成長式
1989 卒	篠原昌子	奥多摩町森林組合の経営について
1989 卒	丸山淳	個別林家経営における森林組合の存在意義
1989 卒	和田仁志	天然林の択伐施業を対象とした収穫予定表の作成およびそのシステム化について
1990 卒	今関達治	天然林施業計画作成過程における伐採順序の決定手法
1990 卒	笹本弘子	林齢を考慮した材積式の開発
1990 卒	佐藤規之	新しい平均成長式を用いた収穫表の調整
1990 卒	佐藤晶春	樹幹における力学的条件と成長量の縦断的配分の関係
1990 卒	宗里哲次	林木の分布形態と成長との関係
1991 卒	石川武洋	航空写真における直径分布の推定
1991 卒	小林聡	3次元グラフィックスを用いた天然林択伐施業システム収穫予想表の作成
1991 卒	今野次郎	距離計を用いた1回視準式測高器の試作
1991 卒	田村淳	住民の意識を取り入れた森林の機能評価法
1991 卒	野瀬光弘	都市近郊林の保全に関する検討 - 堆肥としての落葉の利用
1991 卒	藤土久美子	林業の啓蒙・PR活動の現状と問題点
1991 卒	益田健太	雪害の発生を考慮した森林計画
1992 卒	阿部正久	社会的要因を取り入れた森林の機能評価法の開発
1992 卒	荒川純彦	年輪成長に関わる気象要素について
1992 卒	井上真理子	人と森林の関わりについて - 日本の近世以前を対象とした分析
1992 卒	大石佳代	地形的特徴に伴う森林の風倒被害の解析
1992 卒	川村竜哉	人工衛星リモートセンシング技術の森林機能評価への応用
1992 卒	木ノ内浩二	システム・ダイナミックスを用いた日本の木材需給予測 - 外材供給力を中心とした検討
1992 卒	木下剛司	プロットレスサンプリングによる立木本数の推定法について
1992 卒	田中邦宏	天然林択伐施業における伐区案作成システムの開発
1992 卒	中村雅志	複層林施業における林分収穫表の調整手法に関する検討
1992 卒	馬場重尚	社会的要求の変化に対応できるゾーニング手法の開発

表-2 卒業論文・修士論文テーマ一覧(続き)

東京農工大2

年度分類	氏名	テーマ
1992 卒	藤井淳哉	林分の成長要素に対するシステム論的成長モデル
1992 卒	張錫蘭	東マレーシア・サバ州の森林管理の現状と問題点
1993 卒	内出美智子	小学校社会科教育における森林・林業の取り扱われ方について
1993 卒	西山宏	樹幹解析手法に関する検討
1993 卒	チョウ・クイーリム	半島マレーシアにおける森林資源管理の現状と問題点
1993 卒	高田宏臣	高等学校林業関係学科の現状と課題 - 林業関係職業従事者養成の場としてみた場合
1994 卒	網代宏和	「森林-人間社会」関係のモデル化
1994 卒	伊藤祐子	緑地における樹木景観の復元手法の開発
1994 卒	上隅ゆふ	大径材生産を目的とした長伐期施業の将来性について
1994 修	田中邦宏	シミュレーションモデルを用いた天然林択伐施業用収穫予測システムの開発
1994 修	井上真理子	日本の社会における森林の位置づけ - 歴史的変遷の分析と社会安定期に関する比較検討
1994 修	木ノ内浩二	システムダイナミックスを用いた日本を中心とする木材需給構造の分析
森林環境学講座(森林生態学, 樹木生理生態学)		
1989 卒	大類清和	小流域での保育にともなう流失養分量の変化
1989 卒	小松沢靖	広葉樹の整理伐後の成長および萌芽に関する研究
1989 卒	十鳥良隆	土壌中におけるヒノキ葉の分解に関する研究
1989 卒	曾山恵理	ミズキの樹液の養分特性に関する研究
1989 卒	森章	スギの蒸散に及ぼす樹冠量の影響に関する研究
1989 卒	小久保望之	スギ・ヒノキ幼齡林流域の土壌養分動態に関する研究
1990 卒	江崎浩二	ヒノキ細根の分解に関する研究
1990 卒	大島裕子	ミズキの無機元素の溶脱と転流に関する研究
1990 卒	小野秀俊	少流域における土壌溶液の無機元素量の動態
1990 卒	菊池譲	公園樹下の水ストレスに関する研究
1990 修	関子光太郎	森林土壌溶液中におけるイオンの動態に関する研究
1991 卒	阿部徹	土壌環境が土壌呼吸量に及ぼす影響
1991 卒	雨宮一博	Ca施用が土壌溶液の無機元素動態に及ぼす影響
1991 卒	小田真二	シオジ林育成のための施業法
1991 卒	粕谷玲子	草木演習林でのスギの雄花着生に関する基礎的研究
1991 卒	小林健吾	森林土壌溶液中イオンの移動特性
1991 卒	坂田春生	ヒノキ林における斜面位置と細根量の垂直分布の関係
1991 卒	道家良江	乾燥前歴が樹木の水ストレスに及ぼす影響
1991 卒	吉永晃一	土壌構造が無機元素の動態に及ぼす影響
1991 修	大類清和	保育施業が森林小流域での水質に及ぼす影響
1991 修	森章	広葉樹, とくにミズキの木部樹液中の養分元素特性
1992 卒	相澤光世	草木演習林内の森林小流域渓流水の溶存物質の動態
1992 卒	井坂貴哉	マテバシイ林の物質循環に関する研究
1992 卒	大里昌直	幼齡林小流域におけるNの無機化量の推定
1992 卒	木元友紀	森林土壌の緩衝機能に関する基礎的研究
1992 卒	斎藤直彦	林内雨中の養分元素の特性
1992 卒	鈴木英太	林分の空間配置が単木の直径成長に及ぼす影響
1992 修	小野秀俊	小流域における土壌水の無機化元素量の動態に関する研究
1992 修	添谷稔	スギ・ヒノキ人工林での水移動に伴う溶存元素の動態
1992 修	高橋輝昌	斜面位置による土壌中の有機態窒素の無機化特性に関する研究
1993 卒	小森谷あかね	二段林における光環境に関する研究
1993 卒	佐藤基以	都市のヒートアイランド化の改善に及ぼす樹木蒸散量の影響
1993 卒	谷本哲朗	Ca施用が酸性土壌の無機元素動態に及ぼす研究
1993 卒	丹野絵里	有用広葉樹の乾燥抵抗性に関する研究
1993 卒	布施大樹	スダジイ林における物質循環に関する研究
1993 卒	宮本美千子	林齢の異なる森林土壌における窒素無機化量の推定
1993 卒	望月信	小流域における土壌溶液中のイオンの移動特性
1993 卒	寺沢美紀子	青梅石灰岩の森林流域における渓流水質の特性
1993 修	阿部徹	森林の土壌呼吸に関する研究
1993 修	藤田丸巳	反応速度論的解析による森林土壌の窒素無機化量の推定
1994 卒	浅海殉也	降雨に伴う林内雨水質の樹種特性
1994 卒	大藤智子	北関東における落葉広葉樹林の物質循環

表-2 卒業論文・修士論文テーマ一覧(続き)

東京農工大3

年度分類	氏名	テーマ
1994 卒	黒田孝一	野外培養法による森林土壌の窒素の無機化量
1994 卒	小山明裕	秩父古生層における小流域特性と水質
1994 卒	鈴木美恵子	森林の斜面位置と土壌の窒素無機化特性
1994 卒	福田誠 幼・壮齡林における水移動と溶存元素	
1994 修	アグス・コラント	Study on Biogeochemical Cycles of Broad-leaves Evergreen Forest in Northern Limit Region
生態系計画学講座(景観生態学) 森林環境科学講座(森林風致学, 保全生物学)		
1989 卒	遠藤浩昭	丘陵地の土壌と透水性について -愛岐丘陵と多摩丘陵での一事例
1989 卒	長田真一郎	多摩丘陵の地層別の透水特性について
1989 卒	熊沢啓吾	秩父山地の石灰岩斜面の土壌と植生について
1989 卒	佐藤嘉一	秩父山地石灰岩斜面における土壌と透水性について
1989 卒	吉田慎治	多摩丘陵0次谷における地下水の流出成分に関する研究
1989 修	内村雅一	丘陵地における谷地田の発達特性に関する研究
1990 卒	石沢康規	多摩丘陵の谷頭部の流出成分特性
1990 卒	川口恭	多摩丘陵一次谷谷底部の表層地下水の変動について
1990 卒	筒井一貴	成層火山の側線形態の特徴
1990 卒	中村俊夫	多摩丘陵における土地利用の変遷について
1990 卒	彦田明代	国分寺崖線・府中・青柳崖線の戦後における緑の変遷
1990 卒	道原裕	南伊豆地方のクスノキ林の土壌と植生に関する基礎的研究
1990 卒	渡辺正義	富士山呉羽丘陵, 射水丘陵における土地利用の変遷について
1991 卒	阿久津敦	南伊豆地方のクスノキ林の空間構造に関する基礎的研究
1991 卒	坂井和洋	鎌倉市の居住地における街路の景観に関する研究
1991 卒	佐藤大輔	誘引性匂い反応によるマツノマダガラカミキリの産卵行動特性
1991 卒	道場守里	多摩丘陵の0次谷末端部における流出成分の水質特性に関する研究 -アニオンおよびSiO ₂ の変動
1991 卒	野尻清隆	海外林業協力の現状と課題 -フィリピン・パンタパンガン林業開発計画を事例として
1991 卒	村上卓也	多摩丘陵の0次谷末端部における流出成分の水質特性に関する研究 -カチオンの変動
1991 卒	福島昇	多摩丘陵における樹木の活力度と土壌の透水特性について
1991 卒	宮城剛	多摩丘陵における自然地と造成地の土壌物理性に関する差異
1992 卒	小菅敏裕	神奈川県における野性動物の生息状況と人為的影響について
1992 卒	金沢元仁	府中市と国分寺市における緑地の変遷
1993 卒	井出大司	コナラ二次林の更新について
1993 卒	大淵雅史	道路法面における生物の生息状況
1993 卒	鈴木篤	樽前山のテフラで形成された千歳大地の0次谷における土層構造とその理学的性
1993 卒	高橋洋子	林学における森林美論の変遷
1993 卒	中村剛二郎	都市公園の水辺における水生生物の生息環境の評価
1993 卒	吉田耕	都市環境における樹木の成長に関する研究 -小石川後樂園を事例として
1994 卒	池谷祐子	生物の生息空間としての日野市七生水路の実態と役割
1994 卒	井坂文子	ルソーの自然観
1994 卒	指宿修	生産緑地の景観の評価について
1994 卒	岩村夏紀	雑木林の埋土種子の発芽特性と皆伐更新の影響
1994 卒	田島千晴	小石川後樂園の植生の推移
1994 卒	戸澤哲也	多摩ニュータウン内の残存孤立林の群落の特性
1994 卒	藤田隆之	都市内の街路樹における鳥類の生息状況
1994 卒	宮脇岳雄	日本庭園における園外景の導入と借景についての研究
1994 卒	望月敬史	上高地におけるニホンカモシカの行動学的生態研究
1994 卒	山辺わか奈	都市景観におけるマイナス要素としてのごみ集積場について
1994 卒	高橋拓也	重茂川流域の森林が沿岸の魚介類に与える影響
1994 卒	室伏幸一	西表島の道路建設による植生への影響
1994 修	石井弘之	武蔵野の雑木林の群落の地域的特性
1994 修	田村淳	関東地方におけるケヤキ優占群落の構造と天然生稚樹の更新過程
1994 修	鄭白岩	農安県前崗郷の集落の空間構成と緑地形成
森林環境学講座(森林水文学, 山林保全学)		
1989 卒	奥山達雄	中生層山地森林斜面の土層の透水性について
1989 卒	添田亮	切取緑化斜面における風化土層の形成過程について
1989 卒	永留伸晃	谷頭0次谷における飽和領域と流域流出量について(Ⅱ)
1989 卒	新谷壮明	流域蒸発散量の長期変動に関する研究
1989 卒	東田健志	山地斜面における不飽和水分変動について

年度分類	氏名	テーマ
1989 卒	山野井健	土石流氾濫シミュレーションモデルに関する研究
1989 修	片桐真	林地斜面土層が持つ透水性の実験的研究
1989 修	古性隆	地すべり地の地下水特性に関する研究
1990 卒	岩崎朋子	雨水流出成分解析における電気伝導度の有効性
1990 卒	門脇裕樹	丘陵地山腹斜面における表層地下水形成機構
1990 卒	小林政広	土壌中の溶質移動に関する研究
1990 卒	佐藤匡也	裸地面における蒸発抑制過程について
1990 卒	篠宮佳樹	森林土壌の透水特性に関する研究 - 基盤地質・深度・斜面位置による透水特性の相連
1990 卒	滝沢英紀	多摩丘陵(新第三紀層)における斜面形と土層厚に関する研究
1990 卒	田村毅	風化花崗岩斜面における斜面安定解析
1990 卒	東本久	森林状態が流出特性に与える影響の評価
1990 卒	沼本晋也	花崗岩斜面における斜面形と土層構造の関係
1990 卒	安田浩介	富士川上流域における斜面崩壊要因の検討 - 土砂災害対策のためのデータベースの作成とそれを用いた崩壊要因の検討
1990 卒	吉田美砂	標高と斜面傾斜・斜面長の関係 - 静岡県南アルプスの例
1990 修	青木規	地中で起こる侵食現象に関する研究
1990 修	小松山雅人	An experimental and numerical analysis on one-dimensional, vertical water flow in a layered regolith. 成層土層中の鉛直一次元雨水浸透解析
1990 修	金谷範導	多孔集水管の適正構造に関する研究
1991 卒	伊藤浩	地下水位上昇における鉛直パイプの役割
1991 卒	篠原三幸	山ひだの個数を決定する要因についての一考察
1991 卒	高橋和言	風化花崗岩の土壌生成に関する土壌物理学的考察
1991 卒	角井真吾	森林斜面下層部における鉛直パイプに関する研究
1991 卒	鳥沢敦	乾砂層の形成過程に関する研究
1991 卒	松井琢郎	遮断蒸発量についてのエネルギー収支からみた一考察
1991 卒	矢部香	河川護岸構造物の分類と景観評価に関する研究
1991 修	新谷壮明	植生回復に伴う山地水文量の変化
1992 卒	阿部司	山地流域の流出通減の特性に関する研究
1992 卒	大野正敏	地すべり地における地下水の流動動態に関する研究 - モデル実験による地下水流動形態の解明
1992 卒	奥芳生	活火山地域における土石流発生機構についての研究
1992 卒	加賀美知子	酸素同位体を用いた流域流出、パイプ流出の成分分離
1992 卒	加藤健一	水循環モデルの大流域への適用
1992 卒	加藤尚子	樹木根系の斜面補強効果に関する理論的研究
1992 卒	小林律子	河川景観における植生の役割に関する研究
1992 卒	小林玲子	地すべり速度の特性に関する研究
1992 卒	中桐秀晴	幹熱収支法を用いたスギ樹液流量の測定
1992 卒	長井希恵	磐梯山南斜面における地下水流量の推定
1992 修	田村毅	一次谷側壁斜面土層内のパイプの実態と流出機構
1992 修	篠宮佳樹	森林土壌の透水性・保水性の形成過程
1992 修	滝沢英紀	スギ樹体内の水分動態に関する研究 - 大気・植物・土壌連続体における樹体の役割
1992 修	門脇裕樹	多摩丘陵一次谷の流出形成および水質形成過程におけるパイプの流出成分の役割
1993 卒	石次弘幸	北松型地すべりの発生機構に関する研究
1993 卒	綱川浩章	小口径排水トンネルの集排水機構に関する研究
1993 卒	速水啓介	樹幹内の水移動機構
1993 卒	正野光範	鉄筋補強土工による斜面補強効果の理論的解析
1993 卒	箕浦章浩	火山灰の土質力学的性質
1993 卒	村上博紀	砂防構造物の床掘りによる斜面不安定化の研究
1993 卒	横山純子	国見地すべり地における地下水流動特性に関する研究
1993 修	木平英一	降雨時の渓流水硝酸濃度形成機構に関する水文学的研究
1993 修	鳥澤敦	茶臼山地すべりの移動特性に関する研究
1993 修	松井琢郎	樹冠遮断蒸発の特性に関する研究
1994 卒	池田浩子	樹木の風倒メカニズムの理論的研究
1994 卒	尾中直道	風化岩地すべり地における地下水の流動特性に関する研究
1994 卒	草間俊一郎	小礫マルチによる蒸発抑制効果に関する研究
1994 卒	佐藤美千子	不老川流域における降雨流出解析
1994 卒	永沢恵一	気候・植生変化に伴う流域蒸発散量の変化
1994 卒	秦光広	急傾斜斜面における崩壊危険度の予測に関する研究
1994 卒	山田聡	葉と辺材の水貯留と樹冠内水ポテンシャル分布を考慮した通水抵抗の算定

表-2 卒業論文・修士論文テーマ一覧(続き)

東京農工大5

年度分類	氏名	テーマ
1994 修	中西康二	スギ林内における雨量と物質濃度の空間分布形成
1994 修	大野正敏	大口径地すべり防止杭の抑制効果に関する研究
1994 修	小林律子	公園内細部空間の構造と利用者の滞留特性に関する研究
1994 修	中桐秀晴	森林における顕熱、潜熱輸送量の推定
森林環境学講座(グローバルフォレストリー, 森林環境工学)		
1989 卒	北川雅義	林床枝条木が車両走行に与える影響について
1989 卒	田代龍司	多孔集水管の最適構造 - 流出土砂の特性
1989 卒	萩原孝明	溪床に散在するレキ・土砂・枝条形態と流出物の対応
1989 卒	林健二	林道切り取り斜面の安定化に関する研究(I) - 表面滑落レキの基礎的性質
1989 卒	藤田あき子	低規格林道の路線線形の特性
1990 卒	木野和美	多孔集水管の流出量特性
1990 卒	中村俊行	林地におけるトラフィカビリティの研究
1990 卒	成田博信	山岳地面積の均等分割とその評価指標の開発
1990 卒	松本健司	粒度調整砂利を用いた路盤形成厚の推定
1990 卒	高木鉄哉	斜面鉛直切り取りの可能性に関する研究
1991 卒	石川祐子	低規格林道における捨土限界の推定
1991 卒	稲葉滋	水源かん養機能と施業とのかかわりの計量評価 - 東京都水源林の場合
1991 卒	北崎徹	根系が車両走行支持力に与える影響
1991 修	林健二	山岳林地の林内到達距離の計測法 - 尾根障害の影響
1992 卒	伊藤忍	林道開設規模が林地温度環境に与える影響
1992 卒	大江志津子	国立公園におけるにおけるインタープリテーション(自然解説活動)
1992 卒	神原正年	国有林における機能類型区分の方法の考察
1992 卒	黒木康司	木材生産林での長期許容伐採量の計算方法 - 数式による計算法とプログラムの開発
1992 卒	鈴木圭	リモートセンシングによる都市温度環境の解析
1992 卒	塚本順子	森林計画と合意形成のあり方 - 国有林での計画立案過程における現状調査
1992 卒	栗原昭男	クラック発生位置の予測と余剰土砂の捨土限界
1992 卒	佐藤朝子	路体表層を形成する細粒土の蒸発特性
1992 卒	杉本聡	林道網の発達に伴う路線様式と循環路形成予測の検討
1992 卒	西山将男	地域環境の保全と市民活動 - 合意形成の受け手としての市民グループの役割
1992 卒	堀内周二	林床支持力モデルによる根系の評価
1992 卒	松木法生	日本の鳥獣保護行政の評価
1992 卒	宮本麻子	木曾天然林の過去の林相図の作成
1992 卒	山本耕司	山岳地形の林道による分割の特性
1992 卒	佐藤留美	身近な森林の価値を考える - 伊豆大島の愛宕山を例として
1993 卒	石松英敏	小縮尺森林地図の作成法
1993 卒	小川伸子	地形を考慮した林道迂回係数の実用的数値の検討
1993 卒	久保田誠司	林道配置の適正化に関する研究
1993 卒	黒木敦史	経済的評価による機能類型区分の手法の開発
1993 卒	戸田堅一郎	風致の維持を配慮した林道配置法の開発
1993 卒	三重野裕通	ノンバーソナルインタープリテーションの現状とそのあり方
1993 卒	渡辺正次郎	山岳地における崖錘位置の発見法の開発
1994 卒	内田剛	林道配置の限界とその特性
1994 卒	高木祐輔	関東ローム層土におけるクラックの発達と方向特性
1994 卒	根岸聖志	狭山丘陵における土地利用図の作成
1994 卒	波多野直彦	府中市における緑地地図の作成 - 低空カラー写真を用いて
1994 卒	藤井徹也	数量化理論を用いた森林地域のグルーピング
1994 卒	松尾由布旗	浮遊砂の流出モデルの特性とその適合性
1994 卒	吉田剛志	森林モザイクの計量評価
1994 修	佐藤朝子	標高値による林道災害予測の可能性の検討
1994 修	宮本麻子	東京都における緑地分布の推移に関する研究
1994 修	稲葉滋	集材方式を考慮した集材補正係数に関する研究
資源物質科学講座(セルロース材料加工学)		
1989 卒	佐藤礼子	保存図書のDEZ処理効果
1989 卒	春永理恵	DEZ処理による紙の劣化抑制
1989 卒	水口克	動的接触角から見た紙の表面吸水性
1989 卒	西村智	コロナ放電処理によって生成する官能基の糖化学的検討

表-2 卒業論文・修士論文テーマ一覧(続き)

東京農工大6

年度分類	氏名	テーマ
1989 卒	大西俊和	劣化生成物から見た紙の劣化
1989 卒	中村洋	化学装飾ESCA法によるコロナ処理セルロースシートの表面の検討
1989 卒	藤木洋	情報用紙古紙を利用した多層構造シートの光学的性質
1990 卒	依田富美子	アビエチン酸を吸着させたセルロースシートのコロナ放電処理による変化
1990 卒	吉本巖	パルプシート表面に存在する抽出成分のコロナ放電処理による変化
1990 卒	金子京子	PPC用紙の寸法安定性と印字特性
1990 卒	篠木光一	酸素アルカリ処理による古紙の脱インキ
1990 卒	西尾昌久	セルロース繊維シート表面の気相化学装飾ESCA法によるキャラクタリゼーション
1990 卒	赤木雅明	紙の劣化分解性
1990 卒	大橋隆	コロナ放電処理によるセルロースシートの多孔構造の変化
1990 卒	豊田芳久	断裁処理古紙の繊維長と再生紙の強度
1990 修	山崎洋一	図書の劣化防止処理
1990 修	西恵治	有機酸蒸解についての基礎的研究
1990 修	大野直孝	パルプ繊維中の抽出成分の遍在について
1991 卒	栄美奈子	パルプ粉末-抽出成分系のESCA強度
1991 卒	永田耕司	紙中における劣化物質のマイグレーション
1991 卒	三角祐明	紙へのトナーの定着性
1991 卒	時田聖也	PPC用紙の搬送性
1991 卒	須貝昌明	劣化紙の補強方法の開発
1991 卒	船戸奈美子	コロナ処理済みのセルロースシートの気相法化学修飾-ESCA法による表面キャラクタリゼーション
1991 卒	村上慶子	OA古紙への乾式処理
1991 修	吉永望	紙の構造と液体吸収性
1991 修	佐藤礼子	経年による紙の劣化とその制御
1991 修	西山智	コロナ放電処理済み紙のESCAによる表面キャラクタリゼーション
1992 卒	古賀千鶴	紙表面におけるトナーの定着性について
1992 卒	塚田茂一郎	PPC用紙の搬送性に影響する因子について
1992 卒	本橋圭二	ルーメン充填法による紙中填料の増加
1992 修	篠木光一	酸素アルカリ処理によるOA古紙の脱インキ
1992 修	赤木雅明	気相中和処理(BPA法)による紙の劣化制御とその反応機構
1992 修	李兵	稲わらパルプ繊維シートの動的めれ、浸透特性
1993 卒	安藤真紀子	難脱インキ古紙のリサイクルについて
1993 卒	後藤環	アンモニア-エチレンオキシド法による図書の保存処理法の開発
1993 卒	佐藤真	バロニアとバクテリアセルロースシートの熱刺激電流
1993 卒	山根敦	紙の引っ張り変形の塑性領域におけるAEの解析
1993 卒	森寛士	紙の厚さ方向の繊維配向のFraunfer回折による計測
1993 卒	田中祐子	パルプ繊維中の抽出成分分布と紙の自己サイジング
1993 卒	道下恭弘	セルロースシートのコロナ放電処理により生成する低分子化合物について
1993 卒	武嘉徳	紙の液体浸透に及ぼすリサイクル処理の影響
1993 修	永田耕司	紙の劣化評価法と補強方法の開発
1994 卒	荻野孝	コロナ処理によりセルロース表面に生成する低分子化合物の同定
1994 卒	河野成宏	リサイクル繊維に及ぼすオゾン処理の影響
1994 卒	中井智子	アンモニア・エチレンオキシド処理による図書の劣化制御
1994 卒	渡部実佳	脂取り紙として使用される金箔圧延用和紙の構造と性質
1994 修	本橋圭二	パルプ繊維と填料粒子の相互作用
資源物質科学講座(木質資源化学)		
1989 卒	梶田真也	Agrobacterium tumefaciens によるポプラへの外来遺伝子導入系の確立
1989 卒	刑部祐里子	カワラタケ Laccase III 遺伝子のクローニング
1989 卒	山門幹子	タバコプロトプラストを用いた外来遺伝子の導入
1989 卒	川崎敦	Pseudomonas 細菌によるリグニン biphenyl 型芳香核開裂酵素遺伝子欠損株の単離と遺伝子ライブラリーの構築
1989 卒	太田行洋	茅葺屋根の耐久性向上
1989 卒	中村亜希子	好アルカリ性細菌によるリグニンモデル化合物の分解
1989 修	政井英司	Pseudomonas paucimobilis SYK-6の有する β -アリールエーテル開裂酵素遺伝子のクローニング
1989 修	西田謙吾	植物ペルオキシターゼの単離とクローニング
1989 修	飯村洋介	カワラタケによるリグニン生分解機構の解析
1990 卒	花城薫	Pseudomonas paucimobilis SYK-6 におけるリグニン側鎖開裂に関与するオキシゲナーゼの解析とその遺伝子の検索

表-2 卒業論文・修士論文テーマ一覧(続き)

東京農工大7

年度分類	氏名	テーマ
1990 卒	溝上康	リグニン生化合物に関与する酵素の精製について - クモトオシ (<i>Criptomeria japonica</i>) のシンナミルアルコールデヒドロゲナーゼ
1990 卒	佐藤睦央	ススキの酸素糖化における前処理の効果
1990 卒	大森千恵子	交雑ヤマナラシの組織培養と <i>Agrobacterium tumefaciens</i> による感染
1990 卒	竹之内健治	カワラタケプロトプラストへの遺伝子導入系の確立
1990 修	刑部敬史	アンチセンスRNA法によるペルオキシターゼの発現制御
1990 修	山田恵子	木質化に関与する酵素の免疫組織化学的研究 - モノクローナル抗体によるペルオキシターゼの局在性の解析
1990 修	田村利香	シンナミルアルコールデヒドロゲナーゼの単離とクローニング
1991 卒	笠井秀憲	樹木のリグニン生合成に関与するPAL遺伝子の単離と解析
1991 卒	窪田祥子	β -エーテル分解系遺伝子群の解析
1991 卒	三浦進	樹木への遺伝子導入と有用樹木の作出
1991 卒	松本康郎	樹木酸性ペルオキシターゼ遺伝子の単離と解析
1991 卒	大坪祐二	樹木のcDNAライブラリーの構築
1991 卒	藤井里絵	塩素化リグニンモデル化合物環境裂解微生物の検索と機能解析
1991 修	梶田真也	グラム陰性細菌 <i>Agrobacterium tumefaciens</i> による交雑ヤマナラシ <i>Populus kitakamiensis</i> への遺伝子導入系の構築及び同植物からの4-Coumarate:CoA Ligase遺伝子の単離
1991 修	三國順子	セルロース資源の再利用とその生物高度利用技術の開発
1991 修	山門幹子	フェニルアラニンアンモニアリアーゼ遺伝子の構造解析
1992 卒	小山浩和	ポプラのペルオキシターゼ遺伝子の解析(確認)
1992 卒	小尾高広	カワラタケの分子育種に関する研究
1992 卒	前川直也	生分解性プラスチックの生分解性とその評価法の確立
1992 卒	大久保剛	オリゴウレタンの生分解性と分解菌の探索
1992 卒	田中泰斗	<i>Acetobacter xylinum</i> における宿主ベクター系の確立とリグニン分解遺伝子の発現
1992 卒	田中良憲	金属導入処理した化学修飾材の腐朽(確認)
1992 卒	南藤和也	アンチセンス法によるリグニン生合成制御の評価法
1992 卒	木村尚代	<i>Pseudomonas paucimobilis</i> SYK-6によるビフェニル化合物分解過程の解析
1992 修	花城薫	リグニン系ビフェニル型化合物分解酵素遺伝子のクローニングとその解析
1992 修	溝上康	リグニン生合成に関与する酵素について(OMT)
1992 修	竹之内健治	カワラタケの宿主ベクター系の構築
1993 卒	岡村慎仁	リグニン生合成に関与するO-メチルトランスフェラーゼの単離及び解析
1993 卒	笠原健秀	微生物によるリグニンビフェニル型化合物分解過程の解析
1993 卒	吉澤たまか	O-メチルトランスフェラーゼ遺伝子の発現制御及びその解析
1993 卒	斎藤京子	樹木の遺伝子組換えによるフェニルアラニンアンモニアリアーゼの制御
1993 卒	小国聖治	交雑ヤマナラシ・キタカミハクヨウにおけるピアラホス耐性遺伝子(bar)の発現及びシンナミルアルコールデヒドロゲナーゼ(CAD)遺伝子の発現解析
1993 卒	上村卓史	波柿と木酢液の木材防腐・防カビ効力
1993 卒	菱川裕香子	ベンジル化による茅のプラスチック化
1993 卒	北村宗子	免疫化学的手法によるフェニルアラニンアンモニアリアーゼの解析
1993 卒	野中裕史	伊勢神宮諸殿舎における劣化の実験
1993 修	窪田祥子	リグニンビフェニル型化合物の分解酵素遺伝子群の解析 - 脱メチル酵素遺伝子の単離と解析
1993 修	洪俊傑	ポリウレタンの生分解性について - 特に市販のポリウレタンフォームと植物成分含有ポリウレタンフォーム
1993 修	三浦進	アンチセンスPRA法によるペルオキシターゼアイソザイムの発現制御
1993 修	松本康郎	樹木ペルオキシターゼ遺伝子(PKprxAl)の解析
1993 修	大坪祐二	樹木PAL遺伝子の解析
1994 卒	甲斐さおり	キタカミハクヨウの培養条件の検討とタバコ・リグニンの化学分析
1994 卒	手嶋克介	樹木酸性ペルオキシターゼ遺伝子のレポーター遺伝子を用いた組織特異的及び細胞特異的発現様式の解析
1994 卒	盛有子	フェニルプロパノイド生合成系の桂皮酸-4-水酸化酵素遺伝子の解析
1994 卒	斉藤久洋	ポリウレタンの生分解性とその分解微生物の検索
1994 卒	東素夫	<i>Pseudomonas paucimobilis</i> SYK-6によるO-脱メチル酵素遺伝子の機能解析
1994 修	小山浩和	樹木酸性ペルオキシターゼ遺伝子の単離と発現様式の解析
1994 修	小尾高広	<i>Pseudomonas</i> 属細菌によるリグニン系ビフェニル化合物分解酵素遺伝子の解析
1994 修	南藤和也	免疫組織化学的手法によるリグニン生合成関連酵素の解析
資源物質科学講座(材料加工学)		
1989 卒	安藤恵介	偏心丸鋸による石材切削
1989 卒	黒崎義人	平削り中に発生するAE信号の波形解析
1989 卒	三枝一貴	スギスライズ単板積層梁における裏割れのせん断破壊への影響
1989 卒	鉄川成信	ケヤキ板材乾燥課程におけるアコースティック・エミッション
1989 卒	宮本長整	スリット充填によるチップソーの金属音抑止

表-2 卒業論文・修士論文テーマ一覧(続き)

東京農工大8・東京農大1

年度分類	氏名	テーマ
1989 卒	宮脇夏子	木材のレーザインサイジング -単一穴からの防虫薬剤の注入-
1989 卒	山根則彦	木材のレーザインサイジング -レーザ発振器の型式と照射条件を変えた場合の穴あけ-
1989 卒	渡邊尚英	1次元イメージセンサを用いたスギの平均年輪幅の計測
1990 卒	高橋宏成	ケヤキの平削りにおける刃先摩耗とA Eの関係
1990 卒	杉本雅彦	ミズナラの板材乾燥におけるアコースティック・エミッションの発生経過
1990 卒	中島洋子	ミズナラ板材の乾燥課程におけるアコースティックエミッション
1990 卒	佐伯明広	1次元イメージセンサによる針葉樹材木口面のスキニングに及ぼす加工法の影響
1990 卒	青木里恵子	広葉樹小径木の縦突き単板の衝撃曲げ吸収エネルギーによる評価
1990 卒	岡崎孝史	鋸身材料に制振合金を用いたチップソーの騒音測定
1990 卒	樺山智子	チップソーのスリットを覆うことによる金属音の抑止について
1990 卒	中本雄子	木材や紙に対するCO ₂ レーザとYAGレーザの加工性能の比較
1990 卒	多田あかり	木材のレーザインサイジング -1.7kWCO ₂ レーザによる木材の穴あけ-
1990 卒	北沢秀太	木材のレーザインサイジング -ベイツガ材の穴あけパターンと部分圧縮強度の関係-
1990 卒	川崎聞太	木材のレーザインサイジング -ベイツガ材の高周波減圧乾燥に及ぼす効果について-
1990 修	井上竹彦	チップソーの空転時に生じる金属音の騒音及び振動学的考察
1990 修	平井昇一	1次元イメージセンサによる平均年輪幅の計測
1991 卒	矢代裕之	木製遮音壁の遮音効果の調査
1991 卒	仁木達也	新たに開発された制振合金(CSK)の異なる直径のチップソーの金属音抑止効果
1991 卒	内堀綾子	丸鋸切削時に発生する木材の粉塵について
1991 卒	島田法常	木材切削における工具損傷時のA E挙動
1991 卒	佐野誠治	ヒノキ材における疑似A Eの伝搬速度
1991 卒	野本烈志	木材のレーザインサイジング -照射条件と穴深さの関係について-
1991 卒	井上和文	木材のレーザインサイジング -円柱材へのレーザインサイジング-
1991 卒	中村彰	木材のレーザインサイジング-2種類のインサイジング方法を用いた防腐・防蟻剤の注入及び屋外ベンチの制作-
1991 修	安藤恵介	木材乾燥に及ぼすレーザインサイジングの影響
1991 修	山根則彦	木材のレーザインサイジング -レーザ光の照射方法による穴形状とインサイジング材への薬液処理-
1992 卒	内島和人	木材のレーザインサイジング -ベイツガ材の穴あけ密度の部分圧縮強度に及ぼす影響-
1992 卒	大村健司	木材のレーザインサイジング -難燃化処理への応用-
1992 卒	佐々剛	木材のレーザインサイジング -CO ₂ レーザ加工装置のパーソナルコンピュータによるシステム化-
1992 卒	近藤晋二	鋸身にSUS 430を用いたチップソーにおける空転時の騒音測定
1992 卒	松山隆二	超仕上げ鉋盤切削における刃物摩耗の基礎的考察
1992 卒	山森明浩	縦突き平削りによる切削履歴と積層材の強度
1992 卒	吉田朝子	ヒノキ材における疑似A Eの減衰特性
1992 修	杉本雅文	ヒノキ材における擬時A Eの伝搬特性
1992 修	高橋宏成	工具の鈍化に伴うA Eの変化と切削条件の関係
1993 卒	中嶋恒	木材のレーザインサイジング -数種の樹種における照射条件と穴深さの関係-
1993 卒	津山睦生	木材のレーザインサイジング -スギ黒心材の人工乾燥に及ぼす影響-
1993 卒	伊東法子	木材のレーザインサイジング -スプルース材のフェノール樹脂注入と処理材の耐腐朽性について-
1993 卒	早川正恵	木材のレーザインサイジング -レーザインサイジングによる木質パネルの透湿性の改善-
1993 卒	北村真紀	ヒノキ正角の疑似A Eの伝搬特性について
1993 卒	相馬智	棒状試験体を用いた広葉樹の疑似A Eの伝搬特性について
1993 卒	西仁	ベルトサンダーから発生する浮遊木材粉塵について
1993 卒	亀川直利	音響インテンシティ法による自動一面鉋盤の音源探査
1993 卒	副枝裕美子	木製遮音壁の試作とその音響性能
1993 修	井上和文	木材のレーザインサイジング -レーザインサイジングがベイツガ材の曲げ強度に及ぼす影響-
1993 修	中村彰	木材のレーザインサイジング -難注材へのフェノール樹脂の注入-
1993 修	張杰	音響インテンシティ法による丸鋸盤の騒音源の探査
1994 卒	大西亨	音響インテンシティ法による手押し鉋盤の音源調査
1994 卒	茶谷彰彦	ヒノキ材におけるA Eの2次元位置標定
1994 卒	内田済	数種の刃先処理帯鋸の磨耗試験
1994 卒	坪井秀樹	ベルトサンダーから発生する浮遊粉塵について <散乱光測定法とろ過捕集-秤量法の比較>
1994 卒	大野俊之	木材のレーザインサイジング -スギ実大材の曲げ強度に及ぼす影響-
1994 卒	高畑直子	木材のレーザインサイジング -スプルース板材へのアセチル化処理とその寸法安定性及び耐朽性-
1994 卒	手塚裕	木材のレーザインサイジング -厚材へのホルマール化処理とその寸法安定性・耐朽性について-
1994 修	大村健司	木材のレーザインサイジング -無機質複合化木材の開発-
東京農業大学農学部林学科 林政学		
1989 卒	石坂泰扶	国有林の現状と役割
1989 卒	大石頭次郎	熱帯林破壊の現状と今後の動向について -フィリピンを中心として

表-2 卒業論文・修士論文テーマ一覧(続き)

東京農大2

年度分類	氏名	テーマ
1989 卒	工藤正暢	入会林の現代的意義
1989 卒	川上幸央	野外教育の現状と課題
1989 卒	河島章二郎	林政上の特殊課題 -Forest Policyの翻訳と考察
1989 卒	近藤嘉成	住宅需要に伴う国産材の動向と問題点
1989 卒	鈴木智仁	環境問題と割り箸について
1989 卒	関岡東生	野外における環境教育
1989 卒	大塔吉浩	都市住民のみどりに対する意識
1989 卒	竹田朋広	佐賀県における観光レクリエーション開発について
1989 卒	田中偉夫	赤倉温泉スキー場をめぐる諸問題
1989 卒	中山誠	先進林業地における森林レクリエーション問題
1989 卒	野沢信也	リゾート開発による山村振興の可能性について
1989 卒	福永祐子	現代社会と緑
1989 卒	牧野滋	森林の総合的利用について
1989 卒	松田清隆	茨城県の森林レクPR活動について
1989 卒	目黒裕	会津フレッシュリゾート計画の地域に及ぼす影響 -背あぶり高原地区
1989 卒	吉田晋平	山村振興とスポーツイベントの開催
1989 卒	渡辺基	自然休養林の現状と課題
1989 卒	横溝守	野外教育の現状と問題
1989 修	鈴木秀彦	森林の総合的な土地利用と山村振興
1990 卒	青木靖	森林レクリエーションとしての沢登りについて
1990 卒	阿比留正司	スキーリゾートの開発における現状と問題点及びその可能性
1990 卒	加藤昌敏	地域開発と森林レクリエーションに関する調査研究
1990 卒	熊谷和保	森林組合の現状と問題点 -天龍村森林組合を中心に
1990 卒	斎藤和久	都市開発と環境問題
1990 卒	高橋秀和	市町村における森林レクリエーション事業について -西瀬戸地域を中心として
1990 卒	田川量一	新潟県十日町市当麻高原地区リゾート開発について
1990 卒	館石哲也	森林公園の現状と課題 -国営武蔵丘陵森林公園を例にして
1990 卒	鶴見康幸	アメリカの森林レクリエーションについて
1990 卒	長野智子	武蔵野の雑木林の現状と機能について
1990 卒	並木利一	都市開発と土地利用問題について
1990 卒	橋本宣子	野外教育の現状と課題
1990 卒	原研二	九州自動車道開通による日田林業地への影響
1990 卒	日浦淳	リゾート開発と森林保全
1990 卒	福田泰久	今日における専業林家の現状と展開方向
1990 卒	丸山篤	都市開発と緑問題
1990 卒	村木香代子	寺社林について
1990 卒	山本信次	都市近郊林の保全と利用について -奥多摩地域を例として
1990 卒	吉元圭介	森林公園の施設設備に関する研究
1990 修	今泉俊一	地域間交流の理念に関する研究 -都市と山村の交流から
1991 卒	稲葉秀子	唐沢林道における環境保全と林道のあり方について
1991 卒	大倉正敏	東南アジアの森林・林業と経済協力問題
1991 卒	大津佳代	「森林産業」への模索
1991 卒	小久保知則	武蔵丘陵森林公園の地域に及ぼす影響について
1991 卒	北里剛	スキー場開発が地域に及ぼす影響
1991 卒	芝池直樹	開発と自然環境
1991 卒	高嶋修	オーストラリア・ニューサウスウェールズ州における森林と林業
1991 卒	田中敦	森林の環境効果
1991 卒	田中英夫	木材産業における木材の流通と加工に関する研究
1991 卒	千田正樹	北海道におけるリゾート開発と地域振興
1991 卒	堤昭人	森林の総合的利用と地域振興について -飯能市を事例として
1991 卒	泊広信	森林のレクリエーション利用について
1991 卒	中島中	武蔵村山市に於ける若者の緑意識
1991 卒	猶原良人	都市と山村の交流
1991 卒	林幸一	今日の林業問題
1991 卒	藤本修士	河川と地域のかかわり合い -姫路市を事例として
1991 卒	深美雅彰	県立公園群馬の森の現状とその利用について
1991 卒	溝井裕幸	東京近郊における都市開発と環境保全について
1991 卒	宮田実	木材の有効利用について
1991 卒	谷田部尊意	地域開発とその弊害について
1991 卒	山崎和彦	山村の活性化
1991 卒	山本勝也	水不足問題と森林の整備について

表-2 卒業論文・修士論文テーマ一覧(続き)

東京農大3

年度分類	氏名	テーマ
1991 卒	渡辺公康	日本人の生活と木の文化 - 登呂遺跡を中心として
1991 修	関岡東生	森林の教育的利用に関する研究 - 特に環境教育の視点から
1992 卒	四十物慶一	都市生活と雑木林
1992 卒	岩井田淳一	自然公園利用者の責任と義務について
1992 卒	大塚満	森林公園の存在意義について
1992 卒	大村洋正	埼玉県立自然公園の景観と利用について
1992 卒	岡部秀文	森林公園の存在意義について
1992 卒	小川隆之	燃料としての木材利用とその現状
1992 卒	加藤英司	森林レクリエーションの利用について
1992 卒	木暮香織	森林の教育的利用
1992 卒	斎藤朋也	都市住民の森に対するイメージ
1992 卒	杉山明子	緑の意識
1992 卒	曾我大介	筆の文化
1992 卒	高木三枝子	我が国における狩猟問題について
1992 卒	高橋敬次郎	日立市の山林について
1992 卒	田中千香子	自然環境教育論の基礎的研究
1992 卒	長澤誠	林業地域の発展方向
1992 卒	中村雄二	衛星都市における緑の効用
1992 卒	西澤賢	現代人における野外教育の必要性
1992 卒	古澤伸哉	現代人における野外教育の必要性
1992 卒	西室康二	国際協力の現状と課題 - 南米パラグアイ共和国における協力活動の現場から
1992 卒	菲澤真美	湯沢地区のリゾート開発について
1992 卒	橋本正伸	都市開発と生活環境
1992 卒	長谷川敦規	椎茸生産の現状と課題 - 群馬県多野郡吉井町の事例より
1992 卒	細村誓一	緑地空間の生活環境としての意義
1992 卒	松田秀吾	山村における地域振興について
1992 卒	吉武秀美	緑の保全における参加の意義
1992 修	山本信次	都市近郊林業における社会的管理に関する研究 - 住民参加・市民参加の活用を中心に
1993 卒	赤池保	森林レクリエーションと釣り行動
1993 卒	岩崎紀彦	都市近郊林と地域社会
1993 卒	上谷真史	先進リゾート地における開発の現状と課題 - 神奈川県葉山町を中心に
1993 卒	遠藤慶紀	高崎市における緑問題
1993 卒	大倉忠則	都市空間における緑活用について
1993 卒	岡部隆二	大分日田地区台風19号による山林経営への影響
1993 卒	小野智	「市民の森」の現状と問題点
1993 卒	勝山嵩史	長野県奈川村の振興について
1993 卒	岸田知也	狩猟について
1993 卒	小坂克巳	都市における自然公園のあり方 - 東村山市を題材にして
1993 卒	斎藤直也	都市近郊林のあり方
1993 卒	武田瑞穂	江戸川区親水公園の現状と課題
1993 卒	地現葉子	獣害の発生とその対策
1993 卒	辻井寛	都市における緑の保全と復元
1993 卒	中村淑美	八王子市の森林の利用について
1993 卒	原田武篤	都市生活空間における緑の公益とその活用
1993 卒	濱田健司	森林と人間の共生を求めて - 西欧の自然観
1993 卒	福岡美和子	山村の嫁不足問題について
1993 卒	吉本久美子	地域間の協力による地域振興問題
1993 卒	渡辺真紀夫	地域社会の変遷と川相の変化について
1993 修	原研二	流域林業における地域振興に関する研究
1994 卒	五十嵐優子	林業労働の現状と課題
1994 卒	高芝健司	尾鷲林業の現状と課題
1994 卒	峯岸敏行	小川町の和紙と地域振興
1994 卒	村上真也	国産材産地化の現状と課題
1994 卒	神宮大	オーストリアの林業
1994 卒	常松美帆	林業面での海外協力について
1994 卒	鈴木里美	炭と木酢液の利用と生産流通の現状
1994 卒	中野勝彦	人と緑のつながりについて - 生田緑地を中心に
1994 卒	早川照彦	平地林の現状と課題
1994 卒	森田規子	埼玉県八潮市の保存樹木について
1994 卒	佐々木啓行	狭山地域における森林利用について

表-2 卒業論文・修士論文テーマ一覧(続き)

東京農大4・新潟大

年度分類	氏名	テーマ
1994 卒	高橋健一郎	横浜市における水源林造成の現状と課題
1994 卒	望月達彦	香貫山の現状とその機能評価
1994 卒	植松貴之	森林の保健休養的機能の現状と課題
1994 卒	鈴木奈津子	歌詩にみる自然の意識
1994 卒	乾郁子	バラグライダーがもたらす山村おこしの可能性
1994 卒	浅野広樹	戦後以降の山村の生活・文化の変遷と村おこしについて
1994 卒	澤田勇樹	国際交流と村おこし
1994 卒	青木弘	野外レクリエーションと森林及び木材の利用について
1994 卒	横田勝	埼玉県両神村における山村振興について
1994 卒	鈴木宏幸	伊豆半島におけるリゾート開発の課題 - 下加茂地域の事例を中心に
1994 卒	平野修之	森林レクリエーションにおけるオートキャンプのあり方 - 山崎アウトドアランドを中心に
1994 卒	安達麻子	江戸住民と森林の関係
1994 卒	駒場さくら	自然保護の原点 - 知床国立公園の諸問題から
1994 卒	山根慎次	森林インストラクターの活動について - その理念と課題
1994 卒	定村大介	都市における「教育の森」に関する研究
1994 卒	河野薫	林業普及の現状と課題
1994 卒	田中嘉	わが国における林業教育のあり方について
1994 卒	鈴木征一	森林と福祉
1994 卒	林健	森林の環境教育的利用
1994 卒	斉藤葉子	熱帯材の使用規制に関する一考察
新潟大学 農学部生産環境学科生物生産情報学講座		
1989 卒	佐藤 克己	スギの樹冠の発達過程の分析
1989 卒	二階堂昌子	生長曲線式の樹木内と樹木間の変異について
1989 卒	小林 美佳	林分収穫表調整システムの作製と検討
1989 卒	西沢 彰	測定誤差と方向間変異が直径生長曲線式に及ぼす影響
1989 卒	桜井 秀明	森林資源データベースのアプリケーション・システムとその応用
1989 卒	日水 和久	佐渡演習林におけるスギ人工林の成長過程について
1990 卒	栗林 節子	植栽密度変化が苗木の形状および成長に及ぼす影響について
1990 卒	笹川 伸子	楕円モデルによる樹形表現
1990 卒	三田 朗子	新潟県人工スギ林分の伐期齢の検討
1990 卒	黒須美恵子	スギの成長曲線式の樹木内変異
1990 卒	土田 康昇	多角形による占有面積の画定法
1990 卒	高柳 任	相対成長による樹幹の形成過程の解析 - 佐渡演習林のスギについて
1991 卒	伊香 裕介	林内景観の視覚的好みに関する研究
1991 卒	野呂田 峰	スギの樹冠の構造と形成過程
1991 卒	植木 浩明	スギの枝における長さとの相対成長
1991 卒	佐々木賀子	エキスパートシェル「大創玄」による樹木検索システムの構築
1991 卒	斎藤 茂雄	ランドサット衛星・TMデータによる土地被覆分類図の作成とその精度の検討
1991 卒	五十嵐裕介	LOGISTIC 及び MITSCHERLICH 成長曲線式におけるパラメータの求め方の比較について
1991 卒	倉 敏行	相対幹曲線のあてはめと幹材積の推定
1991 卒	白崎 強	写真利用によるha当りの胸高断面積推定法
1992 卒	瀧口 博之	スギ人工林の樹高と樹冠層の推移による成長モデル
1992 卒	田中 辰弥	林内景観での森林のイメージと好みの関係 - 視覚的・直観的観点からみた林内景観のイメージ解析 -
1992 卒	傳法寺政浩	森林公園の利用状況の分析 - 秋葉公園と城山公園の場合 -
1992 卒	東 正樹	相対幹距を利用した立木密度管理システム - スギ人工林の場合
1992 卒	福田 真樹	佐渡演習林の微地形解析と分布
1993 卒	横井 憲	水利用からみた必要森林面積と貯水池規模
1993 卒	右田 久人	新潟市民の緑満足度に影響を及ぼす要因の解析とその推移の予測
1993 卒	遠藤 洋子	“風致林”画像データベースの構築と林内景観の評価法について
1993 卒	飯田 一令	スギ人工林における枝ごとの葉面積の推定について
1993 卒	渡辺 宏之	スギ人工林における樹幹部の成長と葉面積との量的関係
1993 卒	神岡 久彰	地形要因から見た水系と山腹崩壊との関係 - 佐渡演習林内の事例 -
1994 卒	白取千夏子	景観シュミレーションを使ったキャンパスの緑地の評価
1994 卒	長本 大介	ランドサットTMデータによる森林変化の検出精度
1994 卒	吉岡 学	G I Sを利用した佐渡演習林の森林資源データベース
1994 卒	小池 秀鑑	トドマツ人工林における個体順位の変動について
1994 卒	紅谷 亮	G I Sを利用した森林の機能分類に関する研究
1994 卒	植村 誠	スギ人工林の林分成長モデルに関する研究 (I) - 林分受光と占有面積のシュミレーション -

年度分類	氏名	テーマ
静岡大学森林資源科学科 造林学		
1989 卒	梶山昌弘	スギ林の異なる間伐形式がリターの分解過程に及ぼす影響
1989 卒	岡英樹	ブナ林地における堆積腐植層の形成と性質に及ぼす森林施業の影響
1990 卒	栗野孝志	光・飽差・結実及び土壌水分がブナの蒸散に及ぼす影響
1990 卒	藤浪紀夫	千本松原における土壌と植生の分布・生育に関する研究 - 光合成速度による定量化の検証
1990 卒	佐々木澄子	CO ₂ 濃度環境が光合成速度に与える影響について
1990 卒	原野美雄	大気汚染による森林の衰退の定量化について
1990 卒	岡由可理	箱根・大湧谷(硫気孔群)周辺の植生 - 特に土壌酸性(pH)との関係について
1991 卒	小島新	クスノキの葉の水分特性の解析による乾燥抵抗性と耐凍性との関係
1991 卒	前田大志	クスノキの耐凍性と葉中遊離アミノ酸及び糖含量との関係
1991 卒	後藤芳房	酸性雨に伴う森林衰退の評価とその対策について - 土壌pHの違いがブナ苗木に与える影響
1991 卒	若山貴充	保水剤施用の有無が乾燥地緑化木(ガフ)の成長に与える影響
1991 修	久保田光政	シュートの生長と光条件の関係に基づいたコンピューターシミュレーションによるモミの樹冠生長の解析
1991 修	細川和弘	自然条件下におけるヒノキの蒸散速度及び光合成速度の研究
1992 卒	藤浪紀夫	千本松原における土壌と植生の分布・生育に関する研究
1992 卒	万木浩敬	半乾燥地における地表面からの蒸発散の測定に関する研究
1992 卒	塩沢靖弘	ブナ林衰退現象の評価とその対策に関する生態・生理学的研究 - 異なるpHの土壌条件下で育てたブナ苗木の光合成速度について
1992 卒	岩西千登勢	ブナ林衰退現象の評価とその対策に関する生態・生理学的研究 - 異なるpHの土壌条件下で育てたブナ苗木の葉の蒸散速度について
1992 卒	塩沢靖弘	ブナ林衰退現象の評価とその対策に関する生態・生理学的研究 - 異なるpHの土壌条件下で育てたブナ苗木の光合成速度について
1992 卒	斉藤秀之	ブナ林衰退現象の評価とその対策に関する生態・生理学的研究
1992 修	徳永宇之	異なるpHの土壌条件下で育てたブナ苗木の根の呼吸速度について
1992 修	徳永宇之	保水剤の施用がコナラとソルガムの光合成に及ぼす影響
1993 卒	榎本正明	乾燥地の緑化における保水剤の有効性について
1993 卒	日下恵一	pH変化が土壌並びにスギ苗の生育に及ぼす影響 - 苗木の成長・形態について
1993 卒	井上早苗	苗場山のブナ天然林における動態に関する研究
1993 卒	大岩理恵	ブナ苗木とソルガムの光合成速度及び生長に対するアルミニウムイオン濃度の影響について
1993 卒	大橋修二	pH変化が土壌ならびにスギ苗の生育に及ぼす影響 - 土壌の化学的性質ならびに苗木の養分吸収について
1993 卒	尾高尚子	異なる環境条件下におけるソルガムの光合成量の予測 - 気温・日射量・土壌水分など要因を用いたモデルによる解析
1993 卒	斉藤正徳	千本松原における海岸林の保全について - 林分位置・林帯幅とクロマツの生育分布
1993 修	後藤拓衛	富士山におけるスギ、ヒノキ人工林孔伐地の光環境と下層植生の関係に関する造林学的研究
1993 修	村山保裕	富士山ブナ林における森林衰退現象に関する生理生態学的研究
1994 卒	石原健一	土壌表面から放出されるCO ₂ フラックスに関する研究
1994 卒	大堀英良	成長期に受けた水不足とその持続時間がソルガムの耐乾性に与える影響
1994 卒	土井幹己	オゾン濃度の違いがブナ苗木(<i>Fagus crenata</i>)に与える影響
1994 卒	三井清志	異なる塩濃度下で育てたマングローブ(<i>Avicennia marina</i> Vierh. var. <i>alba</i> Bakh.)の生態生理特性
1994 卒	新村哉子	立木位置図に基づく樹木の分布様式の解析
1994 修	万木浩敬	乾燥地における地表面蒸発の評価に関する研究
1994 修	斉藤秀之	異なる土壌pH(H ₂ O)の条件下で育てたブナ(<i>Fagus crenata</i> Blume)苗木の炭素収支について
防災学		
1989 卒	好本潤一	斜面崩壊実験におけるすべり面形成過程と安全率の変化について
1989 卒	関根多美子	安倍川における景観の分析、評価及び景観保全についての考察
1989 卒	中田勝仁	模型斜面における崩壊土層の速度と加速度の関係
1989 卒	望月純	富士山麓におけるブナ天然林の樹冠遮断損失量と林内蒸発量について
1989 卒	安田勇次	埋設した模型根系の引き抜き抵抗について
1989 修	内野香美	高吸水性樹脂保水剤の植物生育におよぼす効果についての研究
1989 修	田中裕充	有度丘陵における地域開発の現状と地域災害防止のためにゾーニングについて
1989 修	手島俊彦	斜面内部のひずみ経過に基づく崩壊時刻の予想に関する実験的研究
1990 卒	上野久美子	最大日雨量からみた静岡県の降雨特性
1990 卒	徳永宇之	高吸水性樹脂と無機材との混合保水剤の特性と効果について
1990 卒	畑俊宏	富士裾野の荒廃溪流における特徴について(荒廃溪流における侵食と堆積の機構)
1990 卒	浜島広宣	ブナ天然林分における降雨遮断と蒸発に及ぼす下層植生と落葉地被物の影響について

表-2 卒業論文・修士論文テーマ一覧(続き)

静岡大2・名大1

年度分類	氏名	テーマ
1990	修 佐野知仁	遠州灘中田島砂丘・浜岡砂丘における飛砂および地形変化
1991	修 好本潤一	山腹表層土のせん断強度特性と安定解析への適用
1991	修 中田勝仁	丘陵斜面における表層崩壊のハザードマップ作成について
1991	修 安田勇次	細根が表層土に及ぼす力学的影響の評価について
1992	卒 市田明人	大谷崩「本谷」における洪水時の流出特性について
1992	卒 大原隆生	砂に埋設した模型根がせん断強度に及ぼす影響について
1992	卒 草深和博	静岡大学構内における斜面表土の降雨による強度変化
1992	卒 埜口博昭	スリットダムが土砂調節効果におよぼす影響に関する模型実験
1992	卒 富田孝	テトラポットの土砂流出遅延効果と移動限界における模型実験
1992	卒 松田修	表富士山麓斜面で測定した土壌透過水について
1992	卒 山富賢二	大谷崩「一の沢」における溪床変動について
1992	修 岡田可理	安倍川における水辺の微地形と植生構造について
1993	卒 市川裕子	静岡大学構内の広葉樹林より採取した表層土に希硫酸を滴下した場合の透過水のpH変化
1993	卒 遠藤淳	富士山南斜面の標高の異なる2地点における土壌水分の変化について
1993	卒 柏瀬祥一	静岡大学構内谷頭部斜面の水文特性について
1993	卒 垂見光貴	大谷崩「一の沢」堆積地における土砂移動について
1994	卒 秋山真孝	細粒土成分が一面せん断強度に及ぼす影響について—雲仙普賢岳の火砕流二次堆積土砂の場合
1994	卒 岡本憲治	大谷崩「一の沢」における土石流発生と降雨条件
1994	卒 柏原佳明	円筒型マイクロライシメーターによる降雨浸透・蒸発プロセスに関する実験
1994	卒 可知英樹	静岡大学構内谷頭部斜面における飽和帯の形成について
1994	卒 八木一恵	崩壊開始時において模型水平根に加わる荷重
1994	修 大原隆生	セン断面に及ぼす模型根の影響について
1994	修 草深和博	斜面型と土壌の物理特性に関する事例研究
1994	修 埜口博昭	スリットダムの流木及び土砂調節機能に関する模型実験
1994	修 松田修	土壌水分変化量に基づき評価した表富士山麓2地点(標高1100m,1900m)の蒸発散量について
林業工学		
1989	卒 杉山昇	横断排水溝の適正設置に関する考察
1989	卒 鈴木達也	林道の維持管理に関する考察 舗装の効果を中心として
1989	卒 吉岡建	作業道における木構造物の材質劣化に関する研究 丸太擁壁工の実験モデルと材質変化に対する基準指標の作成について
1990	卒 小川洋生	富士山麓の民有林における地形解析
1990	卒 神谷信宏	林道法面の土質と林道災害の発生について
1990	卒 鬼頭巧	多変量解析による林道災害の要因分析
1990	卒 小林正史	スギ・ヒノキ間伐材による土木用木構造物の材質劣化に関する研究
1990	卒 山本義久	横断排水溝の適正設置場所に関する研究 民有林の現状調査に基づく考察
1991	卒 近藤祐司	高性能林業機械の作業工程に関する事例研究 タワー集材
1991	卒 鈴木昌範	スギ・ヒノキ間伐材による土木用木構造物の材質劣化に関する研究(3)
1991	卒 仙石幸男	高性能林業機械の作業行程に関する事例研究 プロセッサ造材作業
1992	卒 片岡賢治	林業労働災害に関する調査・分析 静岡県と京都府の事例調査とその考察
1992	卒 田口博章	トラクタ集材による土壌の締め固めと植栽木の成長 集材後20年後の状況
1992	卒 野口裕司	静岡県における架線集材の現状調査
1992	卒 浜崎孝照	弾性波速度による林道法面の土質判定に関する基礎的研究 施工後の経過年数による弾性波速度の変化について
1992	卒 牧野章也	プロセッサの作業コストと導入の可能性
1992	修 神谷信宏	赤石山地南部における林道災害危険箇所の要因分析 弾性波速度を中心にした2, 3の考察
1993	卒 大宮和之	コンクリート柱を用いた弾性波速度に関するモデル実験
1993	卒 川村義法	DTM(数値地形図)を用いた伐出作業システムの検討 山岳林における路網配置について
1993	卒 工藤大輔	トラクター集材跡地の土壌特性と植栽木の成長 集材後20年経過した時点での考察
1993	卒 佐藤香菜子	林業労働災害に関する調査・分析 5府県の民有林における林業労働災害
1994	卒 川口誠	林道の切取法面の安定評価
1994	卒 鈴木正昭	スギ・ヒノキ間伐材による土木用構造物の材質劣化に関する研究(4)
1994	卒 松本忍	急峻山岳地におけるタワーヤーダーの集材可能区域について
名古屋大学 農学部資源生物環境学科 森林環境資源学		
1989	卒 磐城洋介	コンピュータによる世界植生区分のための球面補間プログラムの開発

表-2 卒業論文・修士論文テーマ一覧(続き)

名大2・岐阜大1

年度分類	氏名	テーマ
1989 卒	小原恵子	世界の森林資源分布
1989 卒	加藤一郎	システム収穫表の作成
1989 卒	北脇英昭	多変量解析による森林の数量化と評価
1989 卒	竹島喜芳	乗鞍スカイラインが沿線樹木の成長に与えた影響について
1989 卒	竹中篤史	中部山岳のDENDROCHRONOLOGY -近世の残置木による木曽ヒノキ標準曲線の延長
1989 卒	蛭川路子	情報量と成長モデルの精度
1990 卒	竹島喜芳	タイにおける林産物生産の経済効果と森林破壊
1990 卒	青山明	ネパールにおける木質燃料の消費と森林破壊
1990 卒	住原隆	大気中の炭酸ガス増加にともなう北米の植生帯異動の予想
1990 卒	武田信一	中部山岳のDENDROCHRONOLOGY
1991 卒	小平高広	温室効果気体の増加に伴う植生帯の移動予測
1991 卒	榊原千恵子	成長曲線とそのあてはめ方の選択
1991 卒	広崎賢治	減反率の推定 -愛知県北設地区スギ人工林
1992 卒	谷川東子	ネパールにおける木質燃料の消費と森林破壊
1993 卒	足立裕英	林木及び森林の成長関数
1993 卒	山本美凡	変動期における減反率の推定
1994 卒	伊藤昭彦	森林生態系の炭素循環モデル
1994 卒	小川匡之	アクセルハイベルグ島第三紀メタセコイア林の蓄積推定
岐阜大学 山地研(現流域環境研究センター, '90までのデータ)		
1989 卒	近藤慎一	個体群成長モデルによる落陽広葉樹の稚樹群サイズの解析
1989 卒	小嶋義規	落陽広葉樹林の成長過程
1989 卒	大塚英樹	植物遺体の分解とそれに関与する真菌群集に関する2・3の考察
1990 卒	児玉智佳子	スギ針葉におけるAl濃度と土壌の酸性度について
1990 卒	滝口潔	皆伐跡地におけるスルデの樹形解析
1990 卒	橋本靖	樹葉の水浸漬液のPHおよび塩基性カチオンの変動
1990 卒	水田哲生	落葉広葉樹の相対成長関係の検討
1990 卒	滝勝也	亜高山帯常緑針葉樹林における土壌微生物群集に関する考察
生物資源利用化学学科樹木生理化学('90までのデータ)		
1989 卒	松尾華子	フラボノイドの生理活性検査のための合成
1989 卒	河原多美子	日本産針葉樹材のリグナン及び関連成分の検索
1989 卒	浅井岳人	針葉樹葉部抽出物の抗菌活性について
1989 卒	早川鈴佳	フラボノイドの生理活性検索のための合成
1989 卒	住田厚弘	日本産針葉樹葉中におけるエストライドの分布及び構成オキシ酸について
1989 卒	加藤紀子	水供給及びPAL阻害剤投与下でのスギ辺材の枯死過程に関する研究
1990 卒	佐々隆寿	針葉樹葉中におけるエストライドとその構成オキシ酸について
1990 卒	杉浦一保	ヒノキ材の抽出成分による材色評価に関する試行
1990 卒	土屋幸弘	リグニンペルオキシターゼの生成およびリグニンサブストラクチャーモデル化合物分解機構の解明
1990 卒	宮澤猛志	カワラタケによる寒天培地上での高分子脱水素重合リグニンモデルの分解
生物資源生産学科森林・緑地管理学講座 森林経営管理学		
1989 卒	小野貴稔	今須沢伐林業に関する研究
1989 卒	伊藤一夫	長期的に持続可能な共生システムと林業経済の活性化
1989 卒	塚本睦	里山の山林管理に関する研究
1989 卒	山下雄三	ヒノキ原木の価格形成に関する研究
1990 卒	田中郁男	森林経営学 長伐期大径材生産の経営方法
1990 卒	等々力淳子	現存植生を活かした森林レクリエーションエリア計画
1990 卒	水谷優里	「淡墨桜」保護対策の研究
1991 卒	田中郁男	長伐期経営確立のための持続的間伐経営方法の研究
1991 卒	岡田正樹	天然記念物の保護に対する樹木医学的研究
1991 卒	加藤充俊	アカマツ, ヒメコマツ混交林の林分構造について
1991 卒	長屋公三	県森連飛騨共販所におけるアカマツ材の流通機構に関する研究-素材生産について
1991 卒	井田琢也	県森連飛騨共販所におけるアカマツ材の流通機構について-流通加工業者を中心として
1991 卒	中沢耕司	山村地域におけるリゾート開発に関する研究
1991 卒	森雅岳	自然植生を活用した住環境林の設計-三重県桑名市でのケース・スタディ

表-2 卒業論文・修士論文テーマ一覧(続き)

岐阜大2

年度分類	氏名	テーマ
1991 卒	奥村宣禎	野生生物の生息環境に関する研究－ニホンカモシカの食害の傾向とその要因に関する研究
1991 卒	川畑裕二	野生生物の生息環境管理に関する研究－ニホンカモシカによる食害地と幼齢造林地の分布
1991 卒	藤井祐浩	樹幹流のpH値とその樹種特性について
1991 卒	濱口善伸	森林レクリエーションエリアの設計手法
1991 卒	杉田勇人	土地利用景観に関する研究－中小都市における土地利用形態の変遷
1991 卒	吉村幸雄	制度事業による地域振興政策の研究－岐阜県白川町を対象に
1992 卒	石井智宏	国府町桜野公園に生育するサクラについて
1992 卒	岩田浩和	大都市近郊林業地の研究－大阪府河内長野市を対象に
1992 卒	大島愛彦	長良川流域におけるスギ材流通の問題点と課題
1992 卒	奥田浩之	屋久島における森林経済の変遷と再編
1992 卒	加藤治枝	土地利用履歴と二次林植生との関連に関する研究
1992 卒	川島真理子	山村経済と猿害問題の研究
1992 卒	黒宮佳代子	「里山都市」像の研究－美濃市・美濃加茂市の計画分析をもとにして
1992 卒	高橋伸子	里山地帯における森林緑地利用の研究－美濃加茂市におけるケーススタディ
1992 卒	深尾達也	里山都市における景観構成要素に関する研究－美濃加茂市を事例として
1992 卒	本田大輔	森林の総合的利用モデルに関する研究－恵那市笠置山望郷の森を対象に
1992 卒	溝口紀泰	ツキノワグマ生息地としての植生環境－ツキノワグマの食性と植生構造、食物生産量
1993 卒	伊東亜樹	長伐期森林経営における径級管理の研究
1993 卒	落合真也	GIS（地理情報システム）の森林管理への応用
1993 卒	末守道子	多様な森林活用設計に関する研究－岐阜県上石津町の里山地域における事例
1993 卒	川本清美	二次林の空間設計に関する研究
1993 卒	斉藤堅之	数値地形図の合理的な調整
1993 卒	澤田昭男	名称天然記念物指定地域における人と水とのかかわりについて
1994 卒	伊藤公博	山村と都市近郊地区における子どもの自然認識に対する比較研究
1994 卒	梅村寧子	産物統計に見る山村経済の変遷の研究
1994 卒	椿浩然	ハナノキ (<i>Acer pycnanthum</i>) 自生地の植生管理に関する研究
1994 卒	野尻智周	二次林の景観林施業に関する研究
1994 卒	長谷川留美	放置された二次林の利用と整備計画の策定に関する研究
1994 卒	平田亨	亜高山帯伐採跡地における更新の研究
1994 卒	福本夕子	孤立林の形態をとる都市緑地の現状分析
1994 卒	山本由加	住民の緑地イメージの分析方法とイメージ形成要因についての研究
1994 卒	松下康弘	生活環境保全林の現状分析
森林・緑地管理学講座 森林保全学		
1989 卒	粟田圭一	スキー場斜面での霜柱の発生と植生
1989 卒	早田憲史	砂防ダム下流域における溪床変動について
1989 卒	松田明代	小倉谷における河川敷の有効利用と砂防環境整備計画
1989 卒	田口泰宏	砂防ダム湛水池における濁度変化について
1989 卒	猿渡克則	床固工施工域における河床変動について
1989 卒	篠田尚幸	地すべり地における土塊の移動形態について
1990 卒	蟹江圭二	1989年豪雨災害による東濃地方の斜面崩壊の特徴
1990 卒	亀井明憲	砂防ダムが溪床変動に与える影響について
1990 卒	鴨下直史	白山スーパー林道における法面形態と落石発生危険度について
1990 卒	名取孝	飛騨高山スキー場における斜面浸食について－霜柱の発生とその抑制因子
1990 卒	丸野隆之	床固工施工域における河床変動の再現
1990 卒	安井仁	土石流堆積地の形態的特徴
1991 卒	石田尚孝	砂防ダム群施工域における流木滞留の特徴
1991 卒	平野貴之	砂防ダム群施工域における流出土砂の堆積形態
1991 卒	佐藤真也	林道法面における植生被覆と植生侵入の特徴
1991 卒	永田睦	落葉広葉樹林における細根の現存量及び成長量の季節変化
1991 卒	綿貫麻子	スキー場斜面での植生被覆による霜柱の発生抑制－気温及び地温変化について
1991 卒	井川原弘一	流域の土地利用特性と土砂流出規模
1992 卒	春日井敏之	流水作用および河床堆積物が中州の植生に及ぼす影響
1992 卒	加藤剛	砂防ダム群が設置された溪流での土砂移動形態について
1993 卒	田島由里子	中州における表層粒径分布と有機物含有量の季節変化について
1993 卒	田中美加	落差工が河川水の溶存酸素量の変動に及ぼす影響

年度分類	氏名	テーマ
1993 卒	野寿哉	透過型砂防ダムが流水の懸濁物質濃度に及ぼす影響
1993 卒	西田典弘	森林被覆の有無による出水規模の相違について
1994 卒	浅野英嗣	荒廃地における植生侵入と立地条件について
1994 卒	太田香代子	天然性林における土壌孔隙量について
1994 卒	井上祐子	流路工区間における河川水の溶存酸素濃度の変動とその要因について
1994 卒	南谷将光	荒廃溪流に於ける土砂移動と流路変動に関する考察
1994 卒	片桐一弘	林道法面における植生被覆の推移と植生回復について
1994 卒	谷野幸司	崖錐の形態的特徴と土砂流出の危険度について
1994 卒	房野 淳	森林の有無と出水についてー根尾白谷流域の事例
森林・緑地管理学講座 森林緑地造成学		
1990 卒	鶴見由布子	ケヤキ人工林の葉形質に見られる個体間変異について
1990 卒	山田誠	ヒノキ天然木の材色の変異について
1990 卒	渡邊公夫	照葉樹林とヒノキ林の昆虫相の比較
1991 卒	児玉幸代	森林緑地造成学 6.アカマツ林, コナラ林の林床における環境因子と発生稚樹の動態
1991 卒	篠原淳	アカマツ, コナラ林における埋土種子の研究
1991 卒	三輪光	ヒサカキにおける開花, 結実過程及びその制限要因に関する研究
1992 卒	伊藤直	演習林におけるヒノキ天然生林の樹形形態の変異について
1992 卒	大場雅代	ヒサカキのシュートにおける栄養成長と生殖成長への資源配分様式
1992 卒	狩野光広	シラカンバ林における稚樹成立状況と更新特性
1992 卒	根崎浩和	シラカンバ林の林分構造とその形成過程
1992 卒	野田幸一	落葉広葉樹の相対的成長関係
1992 卒	野村良子	ヒサカキにおける結実率, 果実の質に影響する要因に関する研究
1992 卒	丹羽裕子	植生被覆が霜柱の発生と地表の温・湿度変化に及ぼす影響
1992 卒	樋口高志	落葉広葉樹林伐採跡地における伐採3年後の植生回復状況
1993 卒	上田聖子	落葉広葉樹二次林における種子, 稚樹の動態
1993 卒	助定竜太郎	ブナ天然林の維持機構と成立過程
1993 卒	上地順子	サワグルミ林の成立過程と維持機構に関する研究
1993 卒	大森幸代	河川生態系に対する中州の植生の影響について
1993 卒	柴田典子	落葉広葉樹林における林床の光環境ー天然林と二次林の比較
1993 卒	下里恵美	ブナ天然林の林床における光環境と下層植生の分布
1994 卒	伊藤泉美	広葉樹林の樹形の特性と変異性に関する研究
1994 卒	白井康裕	サワグルミ稚樹の定着と林床環境
1994 卒	加藤正吾	ブナ天然林の微環境とブナ当年生稚樹の定着過程
1994 卒	白井康二	落葉広葉樹林の伐採跡地における伐根萌芽
1994 卒	土田久美子	落葉広葉樹林伐採跡地における鳥類による種子散布について
1994 卒	東山敦哉	広葉樹二次林における下層の組成および構造
1994 卒	小島則夫	森林の微環境と草本植物の分布
生物資源利用学科 木材化学('90までのデータ)		
1989 卒	西村佳代子	ヒラタケの化学組成成分について
1989 卒	小島倫枝	酵素処理後のマングローブ材リグニンの単離とMWLの性状
1989 卒	高木秀樹	アルカリパルプ中の残留リグニンの性状について
1989 卒	佐久間学	神岡鉱山の坑内におけるヒラタケのビン栽培について
1989 卒	吉田晋一	亜硫酸ナトリウム・キノソ添加アルカリ蒸解について
1990 卒	阿部幸子	爆砕処理による漢方薬成分の有効利用について
1990 卒	伊藤洋一	高圧水蒸気による木材の圧縮成形加工及びその固定
1990 卒	高橋智恵	低温下におけるヒラタケのビン栽培について
1990 卒	中山伸吾	アルカリ蒸解におけるリグニンの挙動
1990 卒	山下正輝	エストライドの分離に及ぼす爆砕並びに酵素前処理の効果
1990 卒	森孝博	テトラエチルシリケートによる木材の難燃化とその反応機構の解明
森林・緑地管理学講座 林産資源開発学(木材理学)		
1989 卒	大橋菊代	木材表面における接着剤の浸透状態について
1989 卒	船戸南哉	ブナ生材の染色液注入染色
1989 卒	鹿嶋聡子	木材, 塗装木材の光変色について
1989 卒	青木利彦	ヒノキ心材の薬液注入と仮道管有縁壁孔について

表-2 卒業論文・修士論文テーマ一覧(続き)

岐阜大4・三重大1

年度分類	氏名	テーマ
1989 卒	吉田英樹	広葉樹材における染色液の木口加圧式注入について
1989 卒	大橋正彦	木口加圧式による薬液のブナ材注入
1990 卒	鶴飼裕	木口加圧式処理によるブナ、ヒノキ生材の含有水分排出効果について
1990 卒	小林幸二	フェノール樹脂の木口加圧式注入による寸法安定効果について
1991 卒	芳賀亮司	熱水処理によるカラマツ心材の水浸透促進効果
1991 卒	金森靖	スギ心材への液体注入特性について
1992 卒	野原邦弘	塗装処理によるスギ材の変退色防止効果について
1992 卒	宇佐美計史	木材含有水分のメタノール交換による木材の乾燥促進効果
1992 卒	橋本学	スギ心材における木口加圧式メタノール処理
1992 卒	阿部光宏	アセチル化処理による木材の寸法安定性について
1993 卒	畔柳文子	和蠟燭の成分の違いによる煤発生量の研究
1993 卒	鈴木透	木口加圧式注入法を用いた北山スギ丸太乾燥割れ防止効果
1993 卒	鷺見こずえ	伝統的特用林産資源キリの抽出による新側面
1993 卒	寺沢伸章	単板面透過式注入法による木材への液体注入
1994 卒	高橋陽子	和蠟燭の煤抑制についての研究
1994 卒	福田卓也	ジテルベン炭化水素による北山スギのケモタキソノミー
1994 卒	木下敬介	コーヒー粕の成分分析とその活用
1994 卒	橋本有司	木口加圧注入法によるスギ生材へのメタノール注入特性
三重大学 生物資源学部 木質資源科学		
1989 卒	井上基浩	パーティクルボード用レゾール樹脂の構造と特性
1989 卒	加藤栄治	ワットルタンニンのフェノール化反応について
1989 卒	金子滋生	リグニンの構造と木材の腐朽抵抗性
1989 卒	左合昌行	プロトリグニンの酸変性と濃硫酸・クレゾール系における挙動
1989 卒	佐野豊	カラマツ樹皮のフェノール化適正条件
1989 卒	澤井秀樹	膨潤-溶媒和法によるバイオマス成分の分離と分離リグニンの性状
1989 卒	高橋英樹	縮合型タンニンの構成フェノール核パターンについて
1989 卒	中川修一	木材の微生物分解に対するジフェニルメタン誘導体の効果
1989 卒	深津俊輔	膨潤-溶媒和法による木材成分の分離
1989 卒	岸洋之	オオウズラタケ及びカワラタケによるカバ材腐朽に関する一考察
1989 修	宮越光豊	木質I型ビームの横座屈特性
1990 卒	池戸幹志	カラマツ樹皮のフェノール変性について
1990 卒	岡野修久	ジフェニルメタン誘導体における菌腐朽抵抗性
1990 卒	岡本松久	縮合型タンニンモデル化合物の複素環開裂挙動
1990 卒	桑畑英司	パーティクルボード用レゾールの構造と特性
1990 卒	中込治	縮合型タンニンのフェノール化について
1990 卒	浜口佳織	膨潤溶媒和法におけるリグニンの挙動
1990 卒	松江淳介	不均一反応系におけるリグニンのフェノール化
1990 卒	森尾弥生	樹皮抽出物の腐朽性について
1990 卒	金子滋生	オオウズラタケ及びカワラタケによるエゾマツ木粉の腐朽に関する一考察
1991 卒	石田輝美	各種縮合型タンニンのフェノール性
1991 卒	近藤治	縮合型タンニンオリゴマーのBF3によるフェノール化変性
1991 卒	砂原利治	カラマツ樹皮におけるフェノール化挙動
1991 卒	大垣洋子	木材腐朽菌による縮合型タンニンの酵素変換
1991 卒	谷口嘉一	パーティクルボード用レゾールの構造と特性
1991 卒	野上光康	(+)-Catechinの複素環開環フェノール化物の生成機構
1991 卒	道山浩	縮合型タンニンのフェノール化
1991 修	左合昌行	酸性条件下におけるリグニン縮合反応の解析 -フェノール化手法の応用
1991 修	高橋英樹	縮合型タンニンの構成フェノール核について
1991 修	深津俊輔	膨潤-溶媒和法による木材成分の分離
1992 卒	江川昇平	フェノール化変性タンニンの反応性
1992 卒	岸本富美	Phenol Dimerの付加縮合反応について
1992 卒	黄榮昌史	BF3触媒によるProcyandin型タンニンモデル化合物のフェノール化反応挙動
1992 卒	鈴木佐和子	核交換反応系における縮合型タンニンの二次変性について
1992 卒	竹若啓一	木材腐朽菌によるProfisetinidin型タンニンの変換
1992 卒	宝勝智貴	Aryl ether結合の開裂によるリグノフェノール誘導体の機能変換

年度分類	氏名	テーマ
1992 卒	松永浩一	縮合型タンニンのアルカリ変性挙動
1992 卒	松原正幸	プロトリグニンの機能性リグノフェノールへの直接変換
1992 卒	三亀啓吾	リグノフェノール誘導体とタンパク質のInteraction
1992 修	浜口佳織	クラフトパルプ残留リグニンの特性
1992 修	松江淳介	濃酸-フェノール混合系室温処理によるリグニンの機能性リグフェノール誘導体への変換およびその特性
1993 卒	井岡浩之	リグニンの構造とタンパク質に対するそのアメニティー
1993 卒	大岩亜紀	樹皮タンニンの化学変性と反応性について
1993 卒	関範雄	フェノール系化合物の構造と合成リグノフェノール誘導体のタンパク質吸着能
1993 卒	塚本英子	分子構造の異なるレゾールの合成と特性に関する研究
1993 卒	中嶋礼子	リグノフェノール誘導体の構造と機能 - 樹種特性
1993 卒	吉田亜紀	メチル化-核交換反応による縮合型タンニンの構造解析
1993 修	近藤治	縮合型タンニンのBF ₃ -フェノール系による変性物の解析とその反応性
1993 修	近藤悠紀	縮合型タンニンの合成と合成物によるvanillin-HCl反応の解析
1993 修	大垣洋子	カワラタケ菌体外粗酵素による縮合型タンニンの変換挙動とその生理活性
1993 修	道山浩	プロトン酸による縮合型タンニンのフェノール化反応
1994 卒	大西正人	クロマツ球果のポリフェノールについて
1994 卒	谷口彩衣子	タンニン質の反応性について
1994 卒	土井貴雄	縮合型タンニンのバニリン・塩酸反応における発色機構
1994 卒	矢野朋子	木材腐朽菌の成長に及ぼす樹皮ポリフェノールの働き
1994 卒	吉田みさ子	フェノール誘導体-トリフルオロ酢酸処理によるリグノセルロース系複合体の機能開発
1994 卒	中田一英	樹皮ポリフェノールのセルラーゼ阻害作用
1994 卒	前田雅之	クレゾール複合化によるリグノセルロース系材料の物性変換
1994 修	鈴木佐和子	縮合型タンニンの核交換反応機構
1994 修	寶勝智貴	アリールエーテル結合の開裂によるLignophenol誘導体の分子量コントロール
1994 修	松永浩一	縮合型タンニンのアルカリ変性挙動と変性物の反応性
1994 修	松原正幸	相分離反応系を応用する機能性フェノール系リグニン誘導体の合成
森林計画学		
1989 卒	川村一史・横田謙二	豊受大神宮における大径木の林分構造とその変化
1990 卒	折戸節子	三重県四日市市周辺の神社における樹木の衰退状況
1990 卒	高橋徹	樹高曲線の転位とその予測
1990 卒	武田あかね	犬山・八曾自然休養林の現状と問題点
1990 卒	馬場恵子	木が創る快適空間 - 香りを中心として
1990 卒	半田登志恵	"GIS Kit"による三重大学平倉演習林森林分布状況の解析"
1990 卒	渡辺久晃	三重大学平倉演習林における酸性雨の現状
1991 卒	坂本淳	海布丸太林分の測樹学的解析について
1991 卒	染川知之	「システム収穫表」を用いた、千秋社社有林におけるスギ人工林の成長予測と収穫表作成
1991 卒	坪井知美	システム収穫表を核とした森林情報管理システムのプロトタイプの開発
1991 卒	藤田昌也	GPSとビッターリッヒ法を併用した森林調査法
1991 卒	藤原敬信	地域振興・森林総合利用という観点からのNaturalist Mapに関する研究
1992 卒	中村幹広	林分表、樹高曲線および枝下高曲線から推定した林分葉量と林内照度 - 複層林施業への応用の可能性
1992 卒	長田裕之	地上測量と組み合わせた場合のGPS単独測位の精度
1992 卒	成瀬有司	数値地形図から推定した平倉演習林スギ人工林の地位指数 - 村井式流出シミュレーションの応用
1992 卒	本堂伸哉	期首と期末の直径分布から推定した直径遷移確立の推定法別比較
1993 卒	尾宮康文	数値地形図から推定した平倉演習林スギ人工林の地位指数(Ⅱ) - 斜面の傾斜と方位を考慮にいたした場合
1993 卒	三原由美	林内における照度及び光量子量の変動について
1993 卒	猿渡靖浩	三重大学平倉演習林固定試験地における林分構造と林内照度との関係
1994 卒	川田伸治	GISによる間伐計画の支援 - 宮川村176~184林班を対象として
1994 卒	河村知也	パソコン用のGIS「SPANS」による森林情報の管理
1994 卒	小段応司	地図データ検索・編集システムによる森林施業計画の管理と応用上の問題点
1994 卒	土田規代	数値地形図から推定した平倉演習林スギ人工林の地位指数Ⅲ - 5 mメッシュDTMを用いた解析
1994 卒	油井利恭	トラベルコスト法による森林レクリエーション機能の評価
木質資源工学		
1989 卒	力久秀夫	スギ正角材の含水率と曲げヤング係数の関係
1989 卒	稲垣誠司	エポキシ樹脂接着剤を併用したラグスクリー-接合部の力学的性質
1989 卒	清水浩之	国産小径木を利用した耐力壁の水平せん断耐力 I

表-2 卒業論文・修士論文テーマ一覧(続き)

三重大3

年度分類	氏名	テーマ
1989 卒	鈴木克典	国産小径木を利用した耐力壁の水平せん断耐力Ⅱ
1989 卒	田村裕司	縦圧縮ひずみに関する一考察
1989 卒	辻直幸	ラグスクリュース接合部の接合耐力 - 木材側材の場合および現場接着剤併用の場合
1989 卒	船津裕弘	複合モード下における曲げ破壊の破壊条件の検討
1989 卒	水本政司	集成材接着層の破壊じん性値(G I c, G II c)の測定
1989 卒	山口徹	チタン製釘及びボルトの接合耐力
1989 卒	山吉栄作	複合モード下における割裂型破壊の破壊条件の検討
1990 卒	大森陽司	有限要素法による曲げ弾性変形に及ぼす草晩材の影響の解析
1990 卒	岡田泰明	三重県産スギにおける葉枯らし効果
1990 卒	北口浩司	弾性係数に及ぼす木材の不均一性の影響の有限要素法解析
1990 卒	鬼頭洋	有限要素法による節および円孔周辺の応力分布解析
1990 卒	佐藤健司	打撃による木材の曲げヤング係数の評価
1990 卒	中原雅則	LVLの釘接合-CN釘のせん断耐力(Ⅰ)
1990 卒	小嶋淳	LVLの釘接合-CN釘のせん断耐力(Ⅱ)
1990 卒	樋口嘉久	ラグスクリュースの接合メカニズム
1990 卒	松岡恵美	LVLの釘接合-CN釘の引抜き耐力(Ⅰ)
1990 卒	安田孝史	LVLの釘接合-CN釘の引抜き耐力(Ⅱ)
1991 卒	上野加恵	ストランドランバーにおけるストランド構成と曲げ強度の関係
1991 卒	加々見浩	大ひずみゲージを用いた塑性ひずみの測定
1991 卒	桂正樹	曲げ剛性からの惣菜早材部・晩材部の弾性係数の分離について
1991 卒	喜多康人	三重県産スギの葉枯らし乾燥について - 伐倒方向と含水率移との関係
1991 卒	志村康子	釘の引抜き耐力に及ぼすコーティング剤の影響
1991 卒	中村美佳	スギ正角の重量による含水率推定法の確立
1991 卒	益田清一	自動釘打ち機を用いた釘接合のせん断耐力(Ⅰ) - 手打ちとの比較
1991 卒	村田守朗	自動釘打ち機を用いた釘接合のせん断耐力(Ⅱ) - 許容耐力の誘導
1991 卒	山城登	ボルトと角ナットを用いた木材の縦接合の設計
1991 卒	渡部佐江子	フィンガージョイント材の曲げ剛性および強度特性
1991 修	辻かおり	正角材および重ねばりの剛性と曲げクリープ特性に及ぼす含水率の影響
1991 修	山吉栄作	開裂型破壊と面内せん断型破壊が同時に関与する場合の木材の破壊条件
1992 卒	伊藤誠	スギ積層ストランドボードの力学的性質
1992 卒	梅村直子	立体トラス床パネルの曲げおよびせん断性能
1992 卒	大道一浩	自動釘打ち機による釘接合部のせん断性能 - 釘配置の影響
1992 卒	川波寛	県内産スギ・ヒノキ製材品の乾燥と収縮について
1992 卒	北田裕子	木造住宅の強度に及ぼす水平構面の影響 - 模型躯体を用いた水平加力試験
1992 卒	服部一美	県内産スギ精英樹クロウンの材質評価に関する研究
1992 卒	松原千裕	フィンガージョイントされたディメンションランバーの曲げ性能
1992 卒	吉田博之	木目パターンイメージの数量化に関する研究
1992 卒	吉川広志	中央に切り欠きを持つ木材のはりの曲げ強度について
1992 卒	洲浜隆臣	スギ足場板の建設構造物としての利用 - LVLとの複合による曲げ剛性の向上
1992 修	樋口嘉久	ラグスクリュースの接合メカニズムに関する研究
1993 卒	伊藤敦子	立体トラス床パネルの振動性状
1993 卒	井原里恵	木質フローリングが視覚イメージに与える影響
1993 卒	岩廣留美子	スチールパイプを斜材に用いた立体トラス床の開発
1993 卒	片山美樹	異型鉄筋の複合によるスギ材の曲げ性能の向上
1993 卒	牧野忠司	スギ柱材の人工乾燥に関する研究
1993 卒	松下由香	画像処理装置による木目パターンの認識 - R・G・B画像値の樹種特性
1993 卒	村瀬道明	LVLのラグスクリュース接合部せん断性能
1993 卒	森本恭央	圧縮力を受ける木材の塑性ひずみに関する研究
1994 卒	井手薫	三重県産スギラミナの引張強度性能
1994 卒	小川真治郎	木材の横圧縮に対する塑性変形挙動
1994 卒	岸みどり	木材の接触感に関する研究
1994 卒	久野広道	廃棄割箸を利用したボードの製造と性能
1994 卒	倉野里美	鉄筋複合木造梁(RW梁)の設計
1994 卒	辻本晋紹	ねじり試験によるせん断弾性係数の測定
1994 卒	藤吉希里子	パーティクルボードの曲げヤング係数の簡易測定法
1994 卒	山内直子	スギ・ヒノキの樹皮を利用したボードの製造と物性
1994 卒	吉川京子	木造立体トラス接合部の変形挙動
1994 修	大道一浩	釘接合部のせん断性能 - 最適釘配置方法の実験的研究

年度分類	氏名	テーマ
森林育成学		
1989 卒	池田敦	タブノキの産地特性に関する研究
1989 卒	奥田晴啓	ポプラの冬芽形成に及ぼす日長・温度の影響
1989 卒	柿丸功治	樹木の肥大成長と気候要因との関係に関する研究
1989 卒	楠田達矢	リュウキュウマツ・アカマツの生長におよぼす日長及び温度の影響
1989 卒	國松薫	モミ・ツガ林における林床の光条件と稚樹に関する研究
1989 卒	重光孝保	タブノキの産地特性に関する研究
1989 卒	中根幹成	カラマツの冬芽形成に対する日長と暗期温度の影響
1989 卒	百村帝彦	高三郎におけるモミ・ツガの年輪幅変動の周期と気象要因
1989 卒	林英樹	ポプラの冬芽の開芽に関する実験
1989 卒	野村信二	大台ヶ原に生育するトウヒの樹高成長と直径成長
1989 卒	佐野一夫	林床における光条件とモミ稚樹の動態について
1990 卒	浅岡郁雄	ポプラの落葉に関する研究
1990 卒	上田英一	樹木の肥大生長と気象要因との関係に関する研究
1990 卒	岸本光弘・加藤太史	タブノキの産地特性に関する研究
1990 卒	小菅忍	ポプラの冬芽形成に対する日長・温度効果
1990 卒	中村雅則	モミ・トウヒの当年生苗の耐陰性について
1990 卒	藤田吉広	リュウキュウマツの枝無し連続成長について／シラカバ・カラマツの産地による冬芽形成の差違
1990 卒	三上貴司	大台ヶ原トウヒ林の実生定着条件
1991 卒	上俊彦	モミ・トウヒの当年生苗の耐陰性について
1991 卒	北村則彦	タブノキの休眠に関する研究／アサガオの花芽形成における温度の日長効果への影響
1991 卒	小坂恭子	リュウキュウマツの枝無し連続成長における日長と温度の影響について／コスモスの開花に及ぼす日長と暗期温度の影響
1991 卒	櫻井善仁	樹木の肥大成長に及ぼす気象要因の影響について
1991 卒	大道隆	伊勢神宮宮域林の林分構造
1991 卒	中川恭士	リュウキュウマツの枝無し連続成長／ポプラ冬芽の休眠の深土に関する研究
1991 卒	仲川泰則	大台ヶ原トウヒ林における実生定着条件
1991 卒	船石博義	サツキツツジの開花・開芽に関する研究
1991 卒	吉田夏樹	カラマツの冬芽形成に及ぼす温度の影響について
1991 修	楠田達矢	アカマツの土用芽発生に及ぼす温度と日長の影響
1991 修	原口直人	森林の総合防除における昆虫寄生性線虫の生物農薬への利用に関する研究
1992 卒	末富幸三	サザンカの花芽形成・開花におよぼす温度と日長の影響に関する研究
1992 卒	中村昌幸	日長と肥培管理がカラマツの成長と形態形成におよぼす影響についての研究
1992 卒	原健	セルオートマを応用した樹木の形のシミュレーション
1992 卒	平松憲一	林木の肥大成長におよぼす環境要因の影響
1992 卒	森弥佐	アサガオ(Violet)の花芽形成における温度と日長の研究／リュウキュウマツの枝無し連続成長
1992 修	服部純一	モミ・ツガ天然林の更新と林分構造
1993 卒	岡山大成	ポプラの休眠導入過程についての研究
1993 卒	加藤正平	ウメの開花と開葉における温度の影響についての研究
1993 卒	鈴木尚子	アサガオの成長と花芽形成の相互関係に関する研究
1993 卒	須田昌尚	サザンカの開花におよぼす温度と日長の影響
1993 卒	千種要道	タブノキの分布特性
1993 卒	橋本晃治	大台ヶ原における亜高山帯針葉樹林の幼木の成長過程と日照条件
1993 卒	藤家葉子	アサガオの成長と花芽形成の相互関係に関する研究
1993 卒	附野泰久	リュウキュウマツの枝無し連続成長における日長と温度との影響
1993 卒	松井亨	スギの肥大成長と気象との関係の年輪解析にもとづく検討
1993 卒	喜力哉	ポプラの休眠導入過程についての研究
1993 卒	清水隆	ポプラの休眠導入過程における落葉経過
1993 修	小坂恭子	コスモスの成長と開花に及ぼす日長と温度の影響
1993 修	坪井知美	樹冠形モデルに基づく幹形変化のシミュレーション
1993 修	百村帝彦	里山林の変遷に関する研究 - 京都府北桑山郡京北町における事例研究
1994 卒	土肥康彦	マツ類の形態形成に及ぼす日長の影響
1994 卒	本庄淳	リュウキュウマツの枝無し連続成長
1994 卒	林由美子	ウメとサクラの花芽形成と開花
1994 卒	内山竜哉	コスモスの成長と花芽形成に及ぼす日長の影響
1994 卒	土居宏文	明るさの違いがササ類の生育に及ぼす影響
1994 卒	松井啓明	大台ヶ原の林床での幼木の成長と日長
1994 卒	秦広志	高三郎天然林での微小循環遷移に関する研究

表-2 卒業論文・修士論文テーマ一覧(続き)

三重大 5

年度分類	氏名	テーマ
1994	修 劉震	キリ種子の発芽におよぼす光と温度の影響
山地保全学		
1989	卒 岩間修二	斜面崩壊実験とソコロフスキー解との比較
1989	卒 榊原賢一	人工地すべりの発生と流動について
1989	卒 西川公也	一面せん断実験における崩壊進行過程の特徴
1989	卒 細江一之	三重大学付属演習林における量水観測について
1989	卒 土屋公男	地形因子による常時微動変化に関する考察
1989	卒 山田長生	ランドサットデータによる崩壊地抽出
1990	卒 佐伯知広	斜面崩壊進行過程に関する実験結果と崩壊地調査
1990	卒 高井和之	花崗岩地帯における崩壊・侵食特性
1990	卒 高須俊晴	数値地形データからの地すべり地形の抽出
1990	卒 野田実	コンピュータグラフィックスによる砂防情報の視覚化に関する研究
1990	修 長谷川安成	斜面崩壊発生時期の予測法
1990	修 馬淵泰	ランドサットデータによる崩壊地の抽出
1991	卒 石坂啓	降水時及び降水前後における森林土壌中の水の動きについて
1991	卒 岡崎由香	ランドサットデータによる崩壊地抽出
1991	卒 佐口治	砂防情報システムにおける空中写真のデジタル処理に関する研究
1991	卒 浜田誠	世界各地の斜面崩壊の特性
1991	修 野々田稔郎	若齢生林地における斜面表層崩壊の事例的研究
1992	卒 江上泰	三重大学演習林の水文流出解析と八手俣川流域の土砂流出解析
1992	卒 宮川和子	MOS-1データを用いた三重県南部の風倒木及び塩害被害地域の抽出に関する研究
1992	卒 毛利哲	平成2年台風19号による被害について 一尾鷲・熊野における調査から
1992	卒 山田真紀代	三重県南部で発生した風倒木被害に関するマルチメディアデータベースの開発
1992	修 高須俊晴	数値地形図を用いた地形解析手法の開発に関する研究
1993	卒 小島英嗣	風害の発生機構について
1993	卒 田中順子	規模、頻度分布からみた斜面崩壊の特性
1993	卒 富部雅弘	ウッドブロックの力学的安定性について
1993	卒 林由美	日雨量による年堆砂量の推定と流域の土砂流出の特性
1993	卒 吉田昭二	移動速度と移動量の関係からみた斜面崩壊事例の特徴
1993	卒 山田仁美	熱帯林のモニタリングを目的とした人工衛生データとグローバルデータの統計的データベースの構築に関する研究 一ボルネオ島北西部における事例
1994	卒 石橋弘光	森林変動把握のためのリモートセンシング画像解析ソフトの開発
1994	卒 小藪一志	台風による根返りの発生機構
1994	卒 山中美代子	斜面安定に関する力学的検討
1994	修 江上泰	三重大学演習林における寡雨年夏期の蒸発散量の減少要因
森林利用システム学		
1989	卒 加藤南・小竹森邦彦	奈良県吉野地方における集材作業の研究
1989	卒 林智子	環境の違いが人間の生理的機能に与える影響について
1989	卒 村上晃一	森林の保健休養の利用に関する基礎的研究
1989	卒 毛受誠	保健休養の場としての森林環境の違いが脈拍数の増加率と回復率におよぼす影響
1989	卒 力久秀夫	奈良県吉野地方における集材作業の研究
1990	卒 川崎春彦	環境の違いが人間の生理的機能へ与える影響
1990	卒 北出満 若者(三重大生)	の森林に対する意識について
1990	卒 谷口光廣	ステレオトップによる空中写真の図化と等高線のずれ
1990	卒 中沢文宏	長野県木曽谷地方の伐木運材作業の歴史
1990	卒 早川一徳	環境の違いが人間の生理的機能へ与える影響
1990	卒 深井弘道	農山村におけるゴミ問題の特性
1990	卒 吉田知佳史	林道路面の侵食作用に関与する要因の分析
1990	卒 吉田幸伸・吉峯昭英	平倉演習林における伐出作業の功程分析に関する研究
1990	修 佐藤和彦	林道路面の維持管理に関する研究 一振動加速値による路面凹凸量の解析と評価
1991	卒 浅野文彦	森林の総合利用のための環境立地ポテンシャルの評価
1991	卒 後藤圭子	森林景観の計量的評価
1991	卒 白神健	森林風致・景観条件の評価と森林空間のモデリングについて
1991	卒 成瀬徹司	森林経営基盤整備計画のための地理情報システムとデータベースについて

年度分類	氏名	テーマ
1991 卒	古川聡哉	森林をレクリエーション利用するための基礎的研究
1991 卒	佐藤達雄	北海道における林業機械化の歴史
1992 卒	石川匡伸	林業労働者の林内歩行に関する研究 - 人間の生理的機能に影響を与える要因と生理的負担の大きさ
1992 卒	河本貴信	林内作業車の所有者の現状について - 大山田村・青山町・関町を対象にして
1992 卒	中根朗	地域の外形と集材距離について
1992 卒	正村慎也	利用価値分析を応用した森林経営環境整備計画のシステム化 - 滋賀県下の森林組合を対象とした解析事例
1992 卒	宮川法子	森林レクリエーションを対象とした林内の音の評価
1993 卒	太田治宏	林業における通勤歩行がその後の作業におよぼす影響 - 作業者の生理負担に着目して
1993 卒	奥田美奈子	森林のもつ休養機能の評価について
1993 卒	中原香	公園緑地における樹木の構成と景観評価
1993 卒	藤井雄次	樹木の活力度と景観に関する研究
1993 卒	村田智子	子供の視点・行動様式を通しての児童公園のあり方について
1993 卒	金田英明	利用価値分析を応用した森林経営環境整備計画のシステム化 - 三重県下の森林組合を対象とした森林経営環境構造解析
1993 卒	中野大	製品生産事業における在来機械と高性能機械による作業効率の比較検討
1993 卒	朴成弘	山村地域における林道網整備がおよぼす社会環境的影響の評価
1993 卒	水谷美香	神宮宮域林における御造営用材生産のための施業法
1993 修	成瀬徹司	森林経営基盤整備における代案比較を前提とした林内路網計画の最適化
1994 卒	板谷明美	森林景観資源評価のための簡易型画像処理システムの開発
1994 卒	市原智史	岐阜県における林業労働災害の現状について
1994 卒	岩尾賢	三重大学生物資源学部付属演習林における森林の安らぎ感と快適性について
1994 卒	河内敦史	森林のもつ保健休養機能の評価について
1994 卒	黒木安寿香	不定形伐区を対象とした集材距離の自動算定法に関する研究 - 平均集材距離を指標としたモデリング
1994 卒	佐々木浩司	三重県下の素材生産事業体における生産事業実績の現状とDEAモデルによる生産効率性の評価
1994 卒	中村幸夫	タワーヤード集材の作業ポイントに関する研究
森林社会学		
1989 卒	上田和秋	山村問題 - 地域開発における山村の地位
1989 卒	棚橋賢二	ゴルフ場について
1989 卒	山本武範	南北問題と熱帯林
1990 卒	井上秀人	住宅政策史
1990 卒	東宏和	三重県美杉村における過疎化とその対策
1990 卒	堀木順子	消えゆくブナ林を守る - 白神山地青秋林道計画をめぐって
1990 卒	水谷豊一	リゾート法による開発の現状と問題点
1990 卒	山中克修	米材の山地事情と対日輸出
1990 修	青屋啓次郎	日米経済摩擦下における日米木材貿易の展望
1990 修	落合斉	林業労働者の社会保障制度に関する研究
1991 卒	上田敦祐	都市林の現状と問題点 - 東大阪におけるケーススタディー
1991 卒	上村真弓	熊沢蕃山の治山治水思想について
1991 卒	橋爪直樹	環境問題 - 特に酸性雨と森林の保全に関連して
1991 卒	三村和也	林学教育の在り方に関する考察
1991 卒	原賢一郎	森林組合広域合併の経過と現状
1992 卒	石神賢司	オリンピックスキー滑降コース開設をめぐる自然保護問題
1992 卒	石橋一浩	流域管理システムと流域林業 - 三重県伊賀地方におけるケーススタディー
1992 卒	高尾久生	センサスにみる三重の林業
1992 卒	萬木清丙	ゴルフ場開発と自然保護
1993 卒	牛込祐二	林業構造と労働問題 - 三重県宮川村を事例として
1993 卒	田中平急	製材品の日本農林規格について
1993 卒	三輪田達也	三重県中勢南部及び南勢志摩地方における林業の動向と林家の意向
1993 卒	伊藤雄一郎	木材流通の現状と展望
1994 卒	上カ平晃	情報化に歩みだした農山村 - もの言える場所を求めて
1994 卒	柴田恵子	都市近郊林の現状と住民参加による保全 - 厚木市きずなの森の事例
1994 卒	田川弘	保安林制度に関する意識調査の分析
1994 卒	百合実華	今後の山村林業に向けて - 三重県宮川村の事例

表-2 卒業論文・修士論文テーマ一覧(続き)

京大1

年度分類	氏名	テーマ
京都大学熱帯農学専攻 国際林業論		
1990	修 伊東明	モリシマアカシアの更新機構に関する生態学的研究
1990	修 河合健	明治の「異化空間」・神戸東遊園地公園
1991 修 葉山アツコ "フィリピンにおける社会林業(Social Forestry)政策の展開と展望"		
1991	修 及川洋征	武蔵野の屋敷林の変遷
1991	修 山下多聞	褐色森林土における窒素の垂直分布およびその季節変動
1992 修 木下裕正 都市と共生する薪炭林に関する総合的研究 - 京都府北桑田郡美山町を事例として		
1992	修 和田全弘	地場産業の振興とそれに結びついた林産物生産に関する研究 - 大島紬と染色原料シャリンバイ生産を事例として
1992	修 田中正道	焼畑地における雑草群落と埋土種子集団の変化に関する研究
1992	修 井上千恵子	地中海性気候下でのマツ類の生育について
1993 修 安洋己 "アフリカ半乾燥地におけるCommunity Forestry(住民林業)の展開に関する研究" - タンザニアの事例から		
1993	修 山下康	農業プランテーションから産出されるラバーウッドの市場特性
1993	修 松村弘	"混交フタバガキ林におけるDryobalanops aromaticaおよびD.lanceolataの分布と土壌" - マレーシアサラワク州ランズヒルス国立公園における事例
1994 修 西千秋 インドネシアの国立公園におけるバッファーズーンの類型と機能 - Gunung Gede-Pangrango国立公園の事例を中心として		
1994	修 西村千	インドネシアのタンバック・ツンパンサリシステムにおける技術体系と住民参加
1994	修 宮下佐紀子	ブラジルアマゾンにおけるコパイバとゾルバの採集と交易について
林学科 森林生態学		
1989	卒 今吉直俊	比叡山ヒノキ人工林における細根の現存量及びその季節変動
1989	卒 大塚健吾	斜面上部及び下部の林木における葉中養分濃度とその季節変化について
1989	卒 金子有子	京都大学芦生演習林の天然林における溪畔林優占高木種の分布特性について - 地形要因との相関による生態分布の種間及び種内比較
1989	卒 金子隆之	芦生演習林に於ける亜高木性萌芽種マルバマンサクの更新維持機構について
1989	修 青黄史子	樹木枝葉の養分濃度の季節・年齢・樹冠の階層による変化
1989	修 村上雅志	スギ・ヒノキ人工林における土壌の窒素無機化量の季節変化
1990 卒 糟舎信彦 ヒノキ人工林における細根量の季節変動		
1990	卒 辻明子	山地小流域における降水と流出水の水質について
1990	卒 長谷川元洋	針葉表面の菌糸長とトビムシの消化管内容物の針葉分解に伴う変化 - アカマツ・ヒノキ混交林土壌において
1990	修 加藤篤	森林の微環境と分解について
1990	修 堀康典	ヒノキ人工林における土壌動物相の季節変動
1991 卒 小林雅人 兵庫県北部地方におけるニホンシカの冬季の食性と採食様式 - 胃内容分解を用いて		
1991	卒 田中拓弥	森林生態系における単木の落葉量とその空間的な配分
1991	卒 飛田博順	田上山砂防造林地における樹木の更新状況
1991	卒 名波哲	樹木の肥大成長の成長パターン - 常緑広葉樹林において
1991	卒 八木貴信	冷温帯林主要高木樹種のシュート特性とその樹冠内分布
1991	修 金子有子	溪畔林の更新維持機構に関する研究 - 優占高木種(トチノキ・サウグルミ)の個体群の維持機構について
1992 卒 荒木真岳 溪畔林における落葉落枝の供給とその分布様式		
1992	卒 石井弘明	コアジサイのモジュール構造と季節変化
1992	卒 日出平洋一	森林生態系における自然安定同位体比を利用した窒素循環の把握について
1992	卒 中原隆之	森林生態系における溪流からの物質流出に関する研究
1992	卒 松本淳	京都大学芦生演習林モンドリ谷の植生 - 大面積長期継続研究による天然林の動態の解析のために
1992	修 榎木勉	せき悪地におけるクロマツ砂防植栽林の物質循環
1992	修 辻明子	森林生態系における土壌溶液の変動に伴う森林土壌中の物質移動
1992	修 長谷川元洋	アカマツ針葉の分解にともなう菌糸量と土壌動物群集の変化
1993 卒 稲垣昌宏 臨床有機物における非共生窒素固定活性の斜面系列での変動		
1993	卒 内海秀幸	林内と林外のサウグルミ稚樹の成長比較
1993	卒 木庭啓介	自然安定同位体比を用いた森林生態系における脱窒過程の把握
1993	卒 中島春樹	ブナ、ミズナラ、トチノキ荘齡林のモジュール特性と樹冠維持様式
1993	卒 廣部宗	斜面上の位置の違いが土壌の窒素無機化に及ぼす影響
1993	卒 吉田和真	森林生態系における斜面系列での窒素無機化特性
1993	修 飛田博順	有機物量の異なる土壌におけるヒメヤシャブシの成長と窒素固定活性
1993	修 名浪哲	御蓋山におけるナギとイヌガシの個体群動態

年度分類	氏名	テーマ
1994	修 八木真信	冷温帯林冠構成樹種の当年枝の特徴とその樹冠内分布
1994	卒 稲垣善之	タイ上常緑季節林における木本35種の養分利用様式
1994	卒 長田典之	光条件がサワグルミ稚樹の樹形に及ぼす影響 - 林内と林外の個体のモジュール特性の差異
1994	卒 高谷加寿子	芦生演習林内モンドリ谷集水域における林木の枯死状況およびギャップ形成について
1994	修 石井弘明	Effects of architectural properties on population dynamics of <i>Hydrangea hirta</i>
1994	修 田中拓弥	ヤップ島における植物の利用(帆走カヌー建造の場合)
1994	修 他川泰則	森林流出水の水質特性についての広域的比較
農林経済学科林政学		
1989	卒 荒井秋刀	広告効果に関する研究
1989	卒 波多野彰	大阪府の林政に関する一考察
1990	卒 後藤一	地域的乾椎茸産業へ乾椎茸輸出入が及ぼす影響の考察 - 大分県を事例として
1990	卒 清水成	森林の多面的機能発揮のための費用負担制度に関する考察
1990	卒 出村宏志	ニュージーランド林野庁の組織改革について
1990	卒 藤田健志	間伐材の生産・流通・加工・利用の課題について
1990	卒 洲元厚	林家の合理的経営規模に関する考察
1990	卒 山南桂一郎	過疎地域振興の新しい方向 - 一村一品運動の意義と限界
1990	卒 田口昌宏	木材価格の季節変動分析
1990	修 石井竜一	森林の多面的利用と森林保全に関する一考察
1991	卒 榎本泰之	森林経営の伐採と更新について - 線形計画法を用いて
1991	卒 栗山浩一	水源林費用分担制度に関する研究 - 淀川水系を事例として
1991	卒 田中康一	熱帯林の保全について - 国際熱帯木材機関の活動と援助からの一考察
1991	卒 村田和義	国民的合意による保健, 風致保安林整備に関する考察
1992	卒 大澤誠	都市近郊林のレクリエーション利用 - 高槻市森林観光センターを事例として
1992	卒 寺井寛	カナダブリティッシュコロンビア州の森林利用管理制度と木材産業
1992	卒 長渡史将	森林国営保険の現状と課題
1992	卒 稲葉仁	ネパール王国における森林減少とその背景
1992	卒 相良冬木	熱帯林問題と林業協力について - FAO「熱帯林業行動計画」からの一考察
1993	卒 生石顕也	野生生物保護を理由とする米国連邦有林伐採規制 - 北西部のマダラフクロウ問題
1993	卒 工藤崇	青森ヒバ林業の構造と製材流通についての一考察
1993	卒 高津文人	シイタケ生産の発展と栽培の技術革新
1993	修 栗山浩一	森林の環境保全機能に対する費用負担問題
1994	卒 梅村勝己	「竹の文化」について
1994	卒 桑田武臣	マレーシア・サラワク州における森林の消失 - 熱帯林の消失とその対策についての一考察
1994	卒 篠原秀典	木材流通コストの実例的研究
1994	卒 末宗宏一郎	山間地域における農林複合方式による経済活性化 - 大分県玖珠町を事例として
1994	卒 田中亘	日本のナショナル・トラストの運動形態に関する一考察
1994	卒 横田浩之	マレーシア・サバ州における森林政策に関する考察
1994	修 陳大夫	中国平原林業の展開過程に関する研究
林学科 森林経理学		
1989	卒 岡野竜馬	南洋材の需給構造の変化と南洋材消費産業の対応
1989	卒 坂野上なお	京都市およびその周辺における住宅部材の消費構造と流通構造
1989	卒 浜江謙二	林家の間伐行動に関する事例研究 三重県宮川村の場合
1989	卒 古川裕康	木地師木工品の生産・流通 長野県南木曾町漆畑産地を事例として
1989	卒 内田享	都市近郊山村における森林保全と生活環境整備のあり方 高槻市檜田地区において
1989	修 齊藤一哉	愛知県における木製家具製造業の展開構造
1990	卒 小野理	山村の公的レクリエーション施設の運営に関する研究 滋賀県朽木村をフィールドとして
1990	卒 藤井宏二	山村のレクリエーション施設における森林の効用について 滋賀県朽木村を事例として
1990	卒 藤掛一郎	徳島県那賀川中下流域におけるスギ製材業の加工・販売構造 足場板と一般建築材の生産と流通
1990	修 岩本純一	入会林野の解体過程と択伐林の変遷 鳥取県若桜町吉川地区を事例として
1991	卒 幡建樹	森林資源の環境財的価値評価手法に関する研究及びそのケーススタディ
1991	卒 吉田敬	龍神林業の変容過程に関する研究 昭和50年代以降を中心として
1991	卒 長崎屋圭太	京都府丹波地域におけるマツタケ山の入札慣行に関する研究
1991	卒 鹿取悦子	芦生演習林の施業の変遷 演習林経営と社会経済的背景からの分析
1991	卒 岡田広行	大都市近郊森林の整備における行政の施策と森林組合の役割 大阪府と府下3森林組合を事例として

表-2 卒業論文・修士論文テーマ一覧(続き)

京大3

年度分類	氏名	テーマ
1991 卒	近藤昌幸	紀南東牟婁地方における海部丸太施業の成立と展開に関する研究
1991 卒	兼友素子	人工高齢林を保有する林家の行動様式に関する研究 兵庫県宍粟郡の林家を事例として
1991 卒	山下康	紀州備長炭産地における木炭生産の展開 日高郡南部川村を事例として
1991 修	岡野竜馬	林業低迷期の京北町における素材生産の担い手問題
1991 修	古川裕康	広葉樹最終加工企業の展開に関する研究 岐阜県高山家具山地を事例として
1991 修	坂野上なお	木材住宅生産システムと製材品流通 プレカット導入にともなう流通の変容
1992 卒	澤田宏司	森林組合経営の変遷と山村振興 静岡県磐田郡龍山村森林組合の事例
1992 卒	平井由紀子	足場丸太産地の成立と間伐推進との関連構造 櫛田川流域を事例として
1992 修	小野理	レクリエーション林の利用規制の認識度に関する研究
1993 卒	飯田猛行	鞍馬・貴船国有林における森林利用に関する研究
1993 卒	今尾春彦	サラリーマン林家による育林活動の現状と展望 滋賀県甲賀愛林クラブとその会員を事例として
1993 卒	関良基	フィリピンにおける森林消失の歴史と構造
1993 卒	福井敏久	後発林業地域における素材生産業の展開 徳島県三好地域を事例として
1993 修	鹿取悦子	鹿児島県の竹産業
1993 修	兼友素子	新聞のライフサイクル評価
1993 修	野瀬光弘	森林資源の農業利用に関する研究 オガクズ・パーク堆肥を中心として
1994 卒	錦見祐次郎	芦生演習林の新しいレクリエーション形態に関する研究
1994 修	幡建樹	京都市における戦後の製材業の変遷に関する研究
林学科 造園学		
1989 卒	村上武彦	車の通過交通が排除された街路の実態について車の通過交通が排除された街路の実態について
1989 卒	山田好人	名古屋市における市民農園の二形態について 分区園緑地と農協菜園
1989 修	村上修一	樹木が温熱環境に及ぼす影響について
1990 卒	栗本貴哉	中層集合住宅のオープンスペースにおける緑とセキュリティの考察
1990 卒	鈴木聡	阪神尼崎駅前公園における滞留実態調査およびアンケート考察
1990 卒	富永斉史	阪神尼崎駅前広場計画Tominaga
1990 卒	武藤克夫	修学院離宮庭園の維持管理に関する研究
1990 修	小林英紀	明治以後の日本庭園と小川治兵衛
1990 修	寺内桂子	「庭」を考える 脱・ネイチャーのナチュラリズム
1991 卒	北浦みか	北山公園の研究
1991 卒	高山久徳	湖東平野における河辺林の変遷に関する研究 愛知川を事例として
1991 卒	竹野瑞光	子供の遊び場の変遷に関する研究
1991 卒	吉村哲彦	都市に残された農地に関する研究 京都市内を対象とした実態調査と意識調査から考察する
1991 修	姜信龍	韓国における近代都市公園の開設
1992 卒	大西健司	樹木の葉色の変化に関する研究
1992 卒	清野達男	アーバンフリンジの景観と土地利用に対する住民意識
1992 卒	岸真澄	京都市の緑に関する研究
1992 修	アンディグナワ	Study on Shoot Growth of Trees after Thinning in Forest Recreation Area
1993 卒	朝倉真一	宝ヶ池アカマツ・コナラ二次林における除・間伐後の萌芽の成長に関する研究
1993 卒	佐藤文昭	下鴨神社社の森林内における林分構造と微気象の関係について
1993 卒	柴田泰邦	コバノミツバツツジの成長の季節変化
1993 卒	土井直子	施工後12年経過した樹木植栽法面における樹木の生育と土壌物理性 神戸総合運動公園緑化法面を事例として
1993 卒	永橋為介	都市における微気象のセクション分析
1993 卒	安場浩一郎	桂離宮にみる近代造園史 庭園維持管理の変遷
1993 卒	山田健爾	変電所の景観評価に関する調査
1994 卒	小林悦子	加茂街道の松並木の変遷
1994 修	イグンシオアリスティムニョ	アーバンフリンジの景観と土地利用に対する住民意識
1994 修	清野達男	国立公園の成立過程
林学科 砂防学		
1989 卒	安洋巳	アメダスデータを利用を想定した桐生水文試験地における日射量分布の推定
1989 卒	林利宗	ネパール・ランタン谷の日射量分布推定に関する研究
1989 卒	鷺見純良	土石流が堤体に衝突する際の衝撃力についての研究
1989 卒	白沢あずみ	山地小流域の流出解析 - 隣接した2流域について
1989 卒	草野慎一	六甲住吉流域における砂防ダム配置計画川

年度分類	氏名	テーマ
1989	修 笹原克夫	崩壊土砂流動に関する森林の効果についての研究
1990	卒 三輪賢志	リモートコントロールヘリコプターによる山腹工モニタリングシステムの開発
1990	修 ドロティア・アグネス	Studies on evapotranspiration from mountainous watershed
1990	修 大手信人	森林土壌の土壌水分特性の測定に関する研究
1990	修 三好岩生	土石流の衝撃力に関する研究 - 土石流断波の変形と衝撃力
1990	修 小南裕志	林木蒸散量測定法開発に関する研究 - ヒートパルス法による蒸散量の推定
1991	卒 小杉賢一朗	等価毛管束モデルを用いた森林土壌の水分特性評価
1991	卒 中村彰宏	乱流動法によるマツ、ヒノキ混交林の顕熱フラックスの測定
1991	卒 高木康年	土石流フロント部の形成機構に関する実験的研究
1991	卒 花山秀文	数種常緑緑化樹種の光合成・蒸散特性について
1991	卒 光永健男	日本の森林水文観測結果の総合的理解
1991	修 白沢あずみ	森林の融雪への影響に関する考察
1992	卒 福原隆一	山地溪流の形状に関する研究
1992	卒 小寺勉	森林土壌からの無機態窒素流出に土壌水分が与える影響に関する研究
1992	修 三輪賢志	火山地域の土砂災害危険区域の予測システム
1993	卒 大阪剛	環境に配慮した砂防工法に関する研究
1993	卒 下堂蘭千尋	環境に適合した河川空間の条件に関する研究
1993	卒 田中克典	人工幼齢樹林帯と大気中のCO ₂ 交換測定とその解析 - 乱流変動によるCO ₂ , 顕熱, 潜熱フラックス測定
1993	修 小杉賢一朗	対数正規分布モデルを用いた土壌の水分特性曲線の解析
1993	修 中村彰宏	多様な地被形態上における乱流輸送機構に関する研究
1993	修 島田緑子	樹木の蒸散および光合成特性に関する研究
1994	卒 中山泰徳	土壌水分特性値の実験的同定 - 六甲山大型サンプルの場合
1994	卒 佐藤一郎	山地溪流源頭部のパイプ流出とパイプ網に関する研究
1994	卒 田中広樹	亜熱帯常緑広葉樹林流域の流出特性 - 中華人民共和国・九連山流域の場合
1994	卒 田中博幸	ザンビアにおける村落林業展開の具体的手法について
1994	修 小林富士香	環境に配慮した砂防設備に関する研究
林学科 林業工学		
1989	卒 川上好治	択伐後の残存木の成長について-林縁木と林内木の比較から-
1989	修 鈴木保志	ヘリコプター集材に関する研究
1990	卒 石上公彦	電動丸鋸カッターによる枝打ち作業について
1990	修 出来俊彦	魚骨型路網における幹線道の勾配制限緩和について
1991	卒 竹口嘉太郎	ステレオプロッターによる航空写真測定の解析に関する基礎的研究-樹幹の大きさ及び樹高の時系列変化の推定の可能性について-
1992	卒 長谷川 尚	ステレオプロッターによる航空写真解析-材積推定の可能性について-
1992	卒 野本順子	乗車型作業機械がシートからオペレーターに及ぼす全身振動についての試算と労働基準との照査
1993	卒 赤羽 元	悪条件下における施業転換の可能性について-土井林学振興会名古屋団地を例にして-
1993	卒 宮崎裕之	林道の表面流について
1993	修 吉村哲彦	森林路網計画における山地崩壊危険度の判定法に関する研究
1994	卒 叶谷文秀	大腸菌相同組換えRecBC経路における相同配列の向きの組換え頻度に対する効果について
1994	卒 山崎 一	間伐のための選木エキスパートシステムの考案-長伐期優良材生産をサポートするシステムの確立を目指して-
1994	修 長谷川尚	写真を用いたオモテスギ人工林の地位判定に関する研究
京都府立大学農学部林学科 林学第3講座		
1989	卒 浅井圭一	層状構造をもつ木材の音速について
1989	卒 安藤和彦	元口浸せき法による材の染色 - 染色程度におよぼす染料溶液の2,3の性質
1989	卒 池田一洋	レプリカ法による木材の横断面膨潤異方性の検討 - 早・晩材の相互作用の影響
1989	卒 高屋一人司	木材の音速と温度, 含水率ならびに弾性係数の関係
1989	卒 水無瀬孝男	各種液体により膨潤した木材の力学的性質
1989	卒 山田英之	溶媒置換過程及びその後の木材の寸法変化
1990	卒 池本輝男	木材の打撃による弾性波の伝播速度と弾性率の関係について
1990	卒 石井幹也	レゾール型フェノール樹脂
1990	卒 川本朝彦	木材の弾性率及び音速と含水率の関係について
1990	卒 木村嘉秀	直流電圧下におけるスギ樹幹中の含有金属元素と水分移動

表-2 卒業論文・修士論文テーマ一覧(続き)

京府大2

年度分類	氏名	テーマ
1990 卒	高山知香子	木材の横圧縮変形の挙動と圧縮処理木材の材質
1990 卒	三浦昌史	マイクロ波照射処理による木材への薬液注入に関する基礎的研究
1990 卒	宮川修	圧縮処理材の液体浸透
1990 卒	安永正男	溶媒置換過程における木材の寸法変化の機構について
1991 卒	石原哲三	横圧縮処理材の力学的性質
1991 卒	加茂雅康	応力波による木材のヤング係数の推定
1991 卒	河内啓作	木材に対するイメージの評価方法の検討
1991 卒	小林卓司	圧縮処理材の液体浸透
1991 卒	坂元浩文	各種液体蒸気による木材の膨潤と吸着
1991 卒	谷口正剛	木材の溶媒置換におよぼす超音波照射の影響
1991 卒	松岡知志	木材の溶媒置換におよぼす中間溶媒の影響
1991 修	小竹和雄	熱処理による木材の物性変化
1991 修	水無瀬孝男	各種膨潤状態における木材の力学的性質
1992 卒	東裕子	木材パルプ繊維の繊維形態に関する基礎的研究
1992 卒	池内晃	圧縮処理材の液体浸透 - 針・広葉樹材数種の浸透促進効果について
1992 卒	八幡論丘子	熱処理材の物性変化
1992 卒	牧野利彦	弾性波による木材の動的ヤング係数に及ぼす節の影響
1992 卒	丸田隆之	複数の官能基を持つ有機液体による木材の膨潤とその異质性
1992 卒	毛利拓郎	圧縮処理材の力学的性質
1993 卒	片山義崇	モウソウチクの材質特性
1993 卒	金子真一	立木注入法による木材の染色 - 特に染色材の退色について
1993 卒	佐藤光正	木材へのレゾール型フェノール樹脂初期縮合物の吸着処理による材質改良効果
1993 卒	谷川信江	マツクイムシ被害材の材質特性
1993 卒	辻康孝	スギ樹幹中の半径方向の各部位におけるカリウムの吸着性 - 心材成分との関連について
1993 卒	福田彰	横圧縮を与えたスギ材の乾燥特性
1993 卒	松口香織	モウソウチクの静的ならびに動的粘弾性
1993 卒	安井亮一	圧縮処理材の液体浸透
1993 卒	横山操	木材への各種有機液体の吸着性
1994 卒	赤西朋和	抽出処理したモウソウチクの動的粘弾性
1994 卒	田中理	木材への各種レゾールの吸着性と吸着処理による材質改良効果
1994 卒	松田麻里	木材への横圧縮大変形による年輪、細胞の変形様式
1994 卒	松野佐知子	圧縮処理材の材質
1994 卒	三木恵理	抽出処理した竹の収縮率について
1994 卒	守繁和	圧縮処理材の液体浸透 - 年輪傾角と油性溶液の吸液量に及ぼす影響
1994 卒	森里恵	膨潤木材への2成分混合液体からの各成分の吸着性
1994 卒	山田賀久	各種膨潤状態における木材の動的粘弾性
1994 修	池内晃	圧縮処理法による木材の透過性改善の機構
林学第5講座		
1989 卒	伊地知譲一	湿度変化に対するバイオリンおよびギターの音響的特性変化とその低減
1989 卒	亀山典利	化学処理の複合による音響特性並びに寸法安定性の変化について
1989 卒	松岡一郎	バイオリン響板用材の音響特性
1989 卒	片山達也	フェノール樹脂含浸処理パーティクルボードの曲げおよびクリープ性能に及ぼす含水率の影響
1989 卒	佐藤淳子	成長量の異なるヒノキ材の材質について
1989 卒	黒田幸照	フェノール樹脂含浸処理パーティクルボードの製造と材質(その4) - フェノール樹脂の分子量の影響
1989 卒	藤本八郎	気中ホルムアルデヒド量の測定とボードからのホルムアルデヒド放散量に及ぼす温湿度の影響
1989 卒	高田一穂	イソシアネート接着剤を用いたパーティクルボードの製造とその材質
1990 卒	高本洋一郎	ベイスギ材の音響的性質への心材成分の寄与
1990 卒	東義則	音色に関わる音響特性の化学処理によるコントロール
1990 卒	近藤久嗣	細胞壁中での樹脂合成とその硬化に関する基礎的研究
1990 卒	八木亜也子	フェノール樹脂含浸処理木材の寸法安定性 - 分子量と含脂率の影響
1990 卒	藤井重昭	パーティクルボードの材質に及ぼすフェノール樹脂の分子量の影響
1990 卒	塩地龍介	パーティクルボードの動的粘弾性に関する研究
1990 卒	原康之	配向性パーティクルボードの曲げおよびクリープ性能に及ぼす含水率の影響
1990 修	施翔	スチーム処理パーティクルを用いたボードの製造と材質
1991 卒	広瀬昇司	微小試験片の動的粘弾性測定方法の検討
1991 卒	山中達史	同一母樹、同一林地のカラマツ材における材質変動

年度分類	氏名	テーマ
1991 卒	中山真由美	動的粘弾性への心材成分の寄与 - 樹種による差異
1991 卒	桐田真一	低分子樹脂含浸処理材の音響的性質
1991 卒	中島誠	セルロース溶剤による木材接着に関する研究
1991 卒	西垣隆幸	パーティクルの木取りとボードの材質との関係
1991 卒	土手昭二	発砲接着剤を用いたパーティクルボードの製造と材質
1991 修	龜山典利	ホルマール処理木材の誘電特性
1991 修	高田一穂	フェノール樹脂含浸処理による木材及び木質材料の寸法安定化に関する研究
1992 卒	山内秀文	パーティクルボードの性能に及ぼす各種物質的, 化学的処理の影響について
1992 卒	中村幸樹	ポリエチレングリコールとユリア樹脂の混合薬剤の注入処理による木材の寸法安定性
1992 卒	竹田匠	防腐処理廃材を用いたパーティクルボードの製造に関する基礎的研究
1992 卒	永田千麻紀	低分子量メラニン樹脂含浸処理木材の寸法安定性
1992 卒	古田祐三	立木注入法を適用した木質材料製造に関する研究
1992 卒	田中將和	動的粘弾性への心材成分の寄与 - 樹種による差異
1992 卒	岩城克俊	含浸処理を用いた接着剤添加によるパーティクルボードの製造
1993 卒	姜勝哲	ギター響板用ブラジリアンローズウッド材の音響的性質
1993 卒	久保田幸治	糖-リグニン間エステル結合の酵素的開裂反応 - 白色腐朽菌によるLCC分解
1993 卒	竹田陽祐	各種化粧合板に発生する干割れの評価に関する研究
1993 卒	辻亜矢子	木材成分のホルマール化反応 - 糖-リグニン間における架橋結合の証明
1993 卒	中川裕之	スギ一般材からの楽器響板材料の製造その2 - 高比重用響板
1993 卒	中元操	フロログルシン処理による木材の動的粘弾性の変化
1993 卒	西村厚一郎	ポリエチレングリコールとユリア, メラミンホルマリンの混合薬剤の注入処理による木材の寸法安定化について
1993 卒	三村明子	スギ一般材からの楽器響板材量の製造その1 - 低比重用響板
1993 卒	森田晋司	スチーム前処理がパーティクルボードの材質に及ぼす影響
1994 卒	植永昌弘	膨潤状態での木材の熱軟化特性Ⅱ - 熱軟化挙動の異方性
1994 卒	北村真祐	膨潤状態での木材の熱軟化特性Ⅲ - 樹種特性
1994 卒	上野麻実子	もみ殻粉末を原料としたボードに関する研究
1994 卒	吉仲恵美	配向性パーティクルボードに関する研究 - 材質に及ぼす表層パーティクルの長さの影響
1994 卒	梅田由紀恵	スギ一般材を用いた楽器響板用積層複合材の製造
1994 卒	西原美津子	バルサーCFRP複合積層による高性能音響材料の製造
1994 卒	増田克之	ユリアおよびメラミン樹脂による木材の寸法安定化に関する研究
1994 卒	足立和歌子	白色腐朽菌Phanerochaete chrysosporiumによるLCCの分解
1994 卒	中野奈緒子	木材腐朽菌のアセチルエステラーゼについて
1994 卒	吉田祐三	膨潤状態での木材熱軟化挙動
鳥取大学農学部農林総合科学科 演習林		
1990 卒	世戸匠	赤松立木の評価に適する細りの推定, 丸太品等区分及びその単価決定の実際的な方法に関する研究
1991 卒	瀬淵資水	市場価値逆算法の比較研究 - 蒜山演習林内赤松林の場合
1994 卒	宇津木孝文	素材価格の形成に影響する要因の解析に関する研究
1994 卒	野津明洋	旧ソビエト連邦の森林経理と森林環境に関する研究
森林生産学講座(森林計画学)		
1989 卒	吉岡水脈	都市近郊林に関する意向調査 - 箕面国有林の場合
1989 卒	永井哲也	鳥取県における砂丘クロマツ林の林分構成
1989 卒	松本陽介	八頭地域森林計画の実行状況
1989 卒	森本俊郎・植木一孔	鳥取県における林地開発の状況調査
1989 卒	佐田潤爾	伐根による生長解析の基礎研究
1989 卒	土橋裕一	空中写真を利用した間伐調査 - 間伐実施マップの作成
1990 卒	片山勝彦・矢谷陽治	鳥取県における森林・林業に関する意識調査
1990 卒	今嶋太・城内正行	分収育林制度に関する意識調査 - 米子市と日南町の場合について
1990 卒	富本一幸	砂丘のクロマツ林の林分構造について
1990 修	清水孝洋	森林の公益的機能増進施策について - 鳥取県日南町におけるスギ人工林での育林体系
1991 卒	田中純二・竹内衛	針葉樹(スギ, ヒノキ, アカマツ, クロマツ)の相対幹形に関する研究
1991 卒	三重野信	コナラ二次林における順位変動の研究
1991 卒	浦田悦雄	若桜町吉川地区のスギ択伐林の林分構造について
1991 卒	難波慎二・早田和浩	蒜山演習林内におけるコナラの林分構成及び樹高・胸高直径・材積の推移についての研究
1991 卒	瀧謙治	三朝演習林における広葉樹林の林分構造について
1991 卒	溝口聡・和田勝己	地域森林計画の実行調査

表-2 卒業論文・修士論文テーマ一覧(続き)

鳥取大2

年度分類	氏名	テーマ
1991 卒	森下育浩	鳥取県西部地域における林地開発の現状について
1992 卒	白井和樹	カラマツ林における直径等の順位変動
1992 卒	北江研二	樹幹解析の簡略化
1992 卒	間片秀夫	天神川流域における地域森林計画とその実行率について
1992 卒	山本勝範	林業労働者における3K問題等に関する意向調査
1993 卒	磯井綾子	林床種子の動態に及ぼす動物による影響
1993 卒	佐宗等征・新家佳子・米村浩二	コナラ二次林における度数分布及び順位変動に関する研究
1993 卒	清水由紀子	道路植生における緑化の問題点
1993 卒	前川真知子	持続可能な森林施業の方向と課題 -兵庫県上月町 I 林業の事例分析
1993 卒	矢島匡章	林業経営における就労配分の最適化に関する研究
1993 卒	山下博士	GISとデータベースを結合した森林情報の管理 -地理情報システム「GIS Kit」の改造
1993 卒	吉見寛	微細点格子板を利用した間伐調査
1993 修	三重野信	カラマツ人工林の順位変動に関する研究
1994 卒	東保行	国有林における持続的経営に関する研究 -京都貴船国有林の事例分析
1994 卒	金澤勲	森林レクリエーションの展望 -大山におけるスキー利用
1994 卒	佐々木理也子	都市近郊林における森林管理の現状と課題 -高槻市森林保全協定を事例として
1994 卒	鈴木弘継	野生生物と森林管理に関する研究 -兵庫県北部におけるシカ害の分析
1994 卒	砂田香里	流域管理システムと森林計画に関する研究 -千代川流域における地域森林計画からみた分析
1994 卒	中西佳奈恵	千代川流域における複層林施業についての一考察
1994 卒	中村大地	スギ・スギ二段林の林分構造について
1994 卒	西田真康	流域管理システムと森林計画に関する研究 -吉野川流域における地域森林計画からみた分析
1994 卒	光畑里美	倉敷美観地区における緑に対する意識調査
森林生産学講座(造林学)		
1989 卒	清水良泰	二段林に関する基礎的研究 -試験地設定について
1989 卒	坂田勉	スギの不定根形成におけるエチレンの生理作用に関する研究
1989 卒	河本忍	広葉樹の枝打ちと傷口の癒合促進に関する研究
1989 卒	松田章利	乾燥ストレスと樹木の耐性・適応性に関する生理学的研究
1989 卒	徳永裕一	壮齡ケヤキ人工林の林床植生と土壌について
1989 卒	植田弘一	大山のブナ二次林の林分構造について
1989 卒	小西英一	森林における花粉生産量について
1989 卒	佐々木達也	蒜山演習林における野ネズミの生息状況
1989 卒	松井三郎	クヌギの保存木施業に関する研究
1989 修	黒井大	広葉樹林の施業に関する研究
1989 修	韓海栄	広葉樹の育苗と更新技術に関する研究
1990 卒	岩田恭子	ササ類の再生に関する研究
1990 卒	植木寿郎	大山, 蒜山地区のブナ林の結実について
1990 卒	田中仁	大山ブナ二次林の林分構造について -主として空間分布について
1990 卒	田中毅	水欠乏下における樹木の形態的, 生態的变化
1990 卒	長岡孝	ブナ種子を用いた試験管内育苗に関する研究
1990 卒	水野真紀	合成酸性溶液処理が樹木の生長に及ぼす影響
1990 卒	江藤公則	広葉樹稚苗の生長に対する子葉の役割
1990 卒	尾崎真也	三朝演習林の落葉広葉樹二次林の林分構造と主要樹種の生育特性について
1990 卒	水谷嘉孝	スギ林, ヒノキ林の花粉生産量に関する研究
1990 卒	大島隆英	智頭地方のスギ造林地における凍裂の発生状況
1990 修	清水俊二	ヒノキ異常肥大現象に関する研究
1990 修	穂積佳子	組織培養によるブナの幼植物体再生に関する研究
1991 卒	定金美代子	スギ林の花粉生産量に関する研究
1991 卒	是澤哲生	マツクイムシによるアカマツ枯損跡地における植生遷移について
1991 卒	相良真也	ブナの葉形および成長の産地間, 家系間変異について
1991 卒	細江千尋	コナラの母樹間における葉および種子の形態的変異
1991 卒	新免哲則	スギにおけるスギカミキリの被害調査
1991 卒	西信介	ヒノキの肥大成長と樹皮内のIAA濃度に及ぼす枝打の影響
1991 卒	泉浩業	成長調節物質処理によるアテ材形成の人為的調節に関する研究
1991 卒	福田素子	樹木の成長に及ぼす酸性雨の影響に関する基礎的研究
1991 卒	鈴木和美	樹木の乾燥ストレスに関するホルモン生理学的研究
1991 卒	久保田あゆみ	大山及び蒜山のブナ林における稚樹の動態に関する研究
1991 卒	辻宏和	チシマザサの再生産過程に関する研究

年度分類	氏名	テーマ
1991	修 坂田勉	滞水環境下における樹木の不定根形成と内生生長物質
1991	修 松田章利	樹木の乾燥ストレス耐性に関する生態生理学的研究
1992	卒 加藤朋美	アイソザイムによるナラ類の分類と同定
1992	卒 川島万幸	山陰海岸林の生態と防災林再生に関する考察
1992	卒 川元裕	スギ高海拔造林地のスギカミキリ被害について
1992	卒 笹富広一郎	林木の暴風被害に関する研究
1992	卒 色見貴子	山菜の生態と栽培に関する研究
1992	卒 中川幸尚	ナラ類の葉の特性並びに雑種の発現状況に関する研究
1992	卒 西村光二	枝打ちがヒノキの形成層活動と材質に及ぼす影響
1992	卒 宗田典大	菌根菌の人為的接種がクロマツ芽生えの成長と耐乾性に及ぼす影響
1992	卒 梁武鉉	樹木の乾燥ストレス耐性の季節変化
1992	卒 吉井孝樹	日本海側ブナ林の林分構造について
1993	卒 上田裕	カラマツの肥大成長に関する研究
1993	卒 小田麻代	樹木の成長に及ぼす酸性雨の影響に関する研究 - 水耕栽培液のpH及びアルミニウム濃度が樹木苗木の成長に及ぼす影響
1993	卒 越智正英	海岸砂地クロマツ林の天然更新に関する研究
1993	卒 国友淳子	海岸砂防林の林内及びその周辺の生態学的特徴に関する研究
1993	卒 瀬川英作	スギ・ヒノキ造林地における穿孔性害虫の被害について
1993	卒 松岡隆之	樹木の滞水耐性・適応性に関する生態生理学的研究
1993	卒 松本健太郎	ブナの種子豊作年における結実
1993	卒 八木秀有	耐乾性木本植物の葉の組織構造に関する研究
1993	卒 山中啓介	砂丘クロマツ林の稚樹の動態に関する研究
1993	卒 山本武	山陰海岸(長尾鼻・浜坂)に自生するナラ類の変異について
1993	修 鈴木和美	Studies on Physiology of Drought Tolerance in Woody Plants
1994	卒 角谷弘美	スギの生長と材質の品種間差異
1994	卒 加藤まゆみ	沙漠地帯に生育する樹木の乾燥ストレス耐性
1994	卒 川上秀樹	低温帯湿原に分布するハンノキの生態
1994	卒 川崎絵里子	砂地クロマツ林のマツクイムシ被害跡地における天然更新について
1994	卒 坂茂樹	植物の成長に及ぼす光質の影響
1994	卒 酒田聡	コナラの天然下種更新に関する研究
1994	卒 中村剛	蒜山地区におけるナラ類の変異性について
1994	卒 永幡嘉之	兵庫県北部でブナ生立木を加害するカミキリムシについて
1994	卒 西川勲	コナラ・ミズナラ二次林における種子生産について
1994	卒 松尾洋一	砂丘クロマツ林の成長に及ぼす気象要因について
1994	卒 山本吏恵	クヌギ・アベマキにおける葉の形態的変異およびアイソザイム分析
1994	卒 葭矢崇司	大山・扇ノ山におけるブナ二次林の林分構造に関する研究
1994	修 江莎	ニホンギリの生殖に関する形態学的研究
1994	修 宗田典大	クロマツの生育における菌根菌の機能に関する研究
1994	修 梁武鉉	樹木の水分生理特性に関する研究
1994	修 吉井孝樹	砂丘植生の分布と群落構造に関する研究
生存環境科学講座(水土保持学・緑地防災学)		
1989	卒 西村公志	大山弥山沢における土石流発生に関わる降雨・伏流水位の観測
1989	卒 保久丈太郎	草方格の飛砂固定機能について
1989	卒 仲山昭彦	砂丘地での保水剤を利用したクロマツの造林試験
1989	卒 田中秀彦	緑化草の混播による法面侵食量の差異
1989	修 西園勝憲	のり緑化基礎工としてのハニカム・スパイク工に関する実験的研究
1989	修 段克勤	保水材利用による乾燥地の造林に関する基礎的研究
1990	卒 藤井恒一郎	大山一の沢における浅層伏流水位・表流水位および土石流発生
1990	卒 藤本剛	海岸砂丘における飛砂固定および侵食防止への古畳の利用について
1991	卒 小山敢	微小流域での地上流及びパイプフローの観測
1991	卒 小村奈美	古畳を利用した堆砂工の砂丘植栽に与える影響
1991	卒 永田葉子	山地整備の出水に及ぼす影響のタンクモデルによる解析
1991	卒 藤井優	鳥取観光砂丘の植生と砂の特性・地温変化
1992	卒 池田和宣	海岸における飛塩量について
1992	卒 中島剛	森林斜面における飽和帯形成の観測
1992	修 西村公志	焼岳土々堀沢における土石流発生に関する研究 - 特に溪間堆積特性および水の挙動について

表-2 卒業論文・修士論文テーマ一覧(続き)

鳥取大4

年度分類	氏名	テーマ
1993 卒	石川将之	溪流の自然落差と人工落差における水流音の周波数特性
1993 卒	衣川和幸	森林斜面脚部土層における水の挙動について
1993 卒	清永政弘	間伐材を利用した防風柵の効果について
1993 卒	黒木道代	クロボク土壌水・渓流水の降雨時水質挙動
1993 卒	杉山靖	山腹切土面の連続繊維緑化基盤における水収支
1993 卒	中條慎太郎	樹林帯による土石流堆積パターンの変化に関する実験
1993 修	藤井恒一郎	土石流発生警報の発令及び避難指示の的確性向上に関する研究
1994 卒	倉橋路枝	安長土手樹林の今日的意義について
1994 卒	笹山隆	滝川親水公園内床固工が発する水流音の特性について
1994 卒	永井修	床固工附設魚道の機能に関する研究 - 小泉谷川でのイワナを使った実験をもとに
1994 卒	楠城時彦	アラビア湾産 <i>Avicennia marina</i> の成長と環境ストレス耐性に関する研究
1994 卒	西川友章	遮蔽率同一・間隔不同の垣の堆砂機能比較
1994 修	小山敢	火山性堆積河小流域でのパイプ流に関する観測研究
1994 修	李樹青	草本の砂地風食防止効果に関する基礎的研究
1993 修	原真一	樹木の成長と水分及び養分動態に関する研究 (乾地緑化学専攻)
森林生産学講座(森林利用システム学)		
1989 卒	大隅秀紀	チェーンソーの発達と将来の姿
1989 卒	松田佳久	丸太横断排水堰の現地適用試験
1989 卒	永田倫嗣	大山東部林道における景観評価
1990 卒	浦田通彦	山岳林地形と集運材作業との関連について - 蒜山演習林の場合
1990 修	ターウオンウオンロパチョーク	集材トラクタに関する人間工学的研究
1991 卒	安島公平	林道の路盤支持力測定に関する研究 - 新しい衝撃加速度試験機とCBR試験機との性能比較
1991 卒	植松植	現代ログハウス事情 - その概要と現状
1991 卒	諸石純也	蒜山演習林における林道配置計画について
1992 卒	浅原多嘉示	各種林内作業における作業者の生理的負担について - 心拍数を指標として
1992 卒	大槻学	鳥取県下の民有林における林業労働災害の研究
1992 卒	長野以真	中国製高把式チェーンソーの振動特性と騒音特性
1992 卒	安井貴彦	衝撃加速度による盛土の支持力測定について - マサ土の場合
1993 卒	碓氷康二	衝撃加速度試験機による路盤支持力測定について - 赤土において
1993 卒	小倉茂	車両系育林機械の現地適用試験 - 心拍数を指標として
1993 卒	佐々木誠	中学校における木材と森林および林業に関する教育の実態について - 鳥取県東部の中学校における調査事例を踏まえて
1993 卒	瀧本忠夫	作業観点からみた高把式チェーンソーと低把式チェーンソーの比較 - 心拍数を指標として
1993 卒	福浦俊成	作業観点からみた高把式チェーンソーと低把式チェーンソーの比較 - 積分筋電図を指標として
1993 修	周向陽	高性能林業機械による伐出作業のシミュレーション
1994 卒	高寄誠	タワーヤーダー集材における作業遅延に関する考察 - 福井県名田庄村民有林の事例
森林生産学講座(林産科学)		
1989 卒	中村繁彰	スギヒラタケ菌によるスギ樹皮の腐朽について
1989 卒	坂本勝比古	木材及び木質材料接合部の耐久性について
1989 卒	加藤彰彦	中国科 沙地における沙漠化の季節間変化
1989 卒	加藤雅人	中国乾燥地域に生育するヤマハギの組織構造的特徴について
1989 卒	穂積泰行	キトサン処理染色木材の光変色について
1989 卒	中下典昭	低分子キトサンの木材用抗菌材としての利用 - 低分子キトサン処理木材の耐朽性
1989 卒	吉川裕治	低分子キトサンの木材用抗菌材としての利用 - 酸加水分解法によるキトオリゴ糖の調製
1989 卒	長沢健一	低分子キトサンの木材用抗菌材としての利用 - 化学合成によるキトオリゴ糖の調整
1989 修	石原肇	キトサン処理木材の耐久性に関する研究 - 形態学的及び力学的評価
1989 修	熊谷元	木材及び木質材料に対するキトサン処理の防かび効力に関する研究
1990 卒	杉原信幸	木材接着層の衝撃せん断破壊解析
1990 卒	沼田信義	オートクレーブ処理による木材接着層の耐久性評価
1990 卒	西村武彦	広葉樹の生材接着について
1990 卒	棚山茂	油絵具乾燥に及ぼすキャンバス木枠の影響について
1990 卒	中雅直	樹木の生長と分化に及ぼすキトオリゴ糖の影響
1990 卒	飯塚哲雄	キトオリゴ糖の化学合成
1990 卒	中山浩治	合流型合成法によるセロオリゴ糖の合成
1990 修	栗坂越子	接着積層材のオートクレーブ曲げ加工に関する基礎的研究

年度分類	氏名	テーマ
1990 修	モレド・C・Jr	熱帯産材の接着性に及ぼす抽出成分の影響に関する研究
1990 修	淀野大介	木材及び木質材料の衝撃曲げ試験に関する研究
1991 卒	小野耕平	木材のオートクレープ曲げ加工後のもどりについて
1991 卒	佐野郁夫	スギ間伐材を用いた接着積層材の衝撃曲げ強さについて
1991 卒	田宮隆久	木材接着層の衝撃せん断試験に及ぼす諸因子の影響
1991 卒	梶田潔司	接着剤混入法によって製造した防腐合板の接着性と耐朽性
1991 卒	田嶋充	キャンパス木枠抽出成分の油絵具乾燥に及ぼす影響について
1991 卒	谷口紀子	樹木の花の香気成分の利用に関する基礎研究
1991 卒	荒井将博	クヌギ幼苗の生長に及ぼすキトオリゴ糖とセロオリゴ糖の影響
1991 卒	竹内久乃	オリゴ糖による樹木の細胞の伸長のメカニズムに関する一考察
1991 卒	山本忍	樹木細胞の伸長に関わるオリゴ糖の合成
1991 卒	長谷川祐	有機合成法による部分的脱アセチル化キチンの合成
1991 修	加藤雅人	耐乾性樹木の組織構造に関する研究
1991 修	中下典昭	キトサン処理木材の数種の菌類による腐朽形態に関する研究
1991 修	穂積泰行	キトサン塗布 アセチル化木材の諸性質に関する研究
1991 修	吉川裕治	高性能性セルロースの合成に関する基礎研究
1992 卒	荒川純みよ	ヒノキ幼苗の生長に及ぼすキトオリゴ糖の影響
1992 卒	板垣毅	セロオリゴ糖の有機化学合成 - グリコシル化法の改良
1992 卒	渋谷律子	ニュージーランド産ラジアータパイン単板の接着性について
1992 卒	末次一仁	生材接着におけるオートクレープ処理の影響
1992 卒	早瀬真樹	木粉のタンパク質吸着について
1992 卒	米田浩	油絵の具のキャンパス上での乾燥遅延について
1992 卒	岡城才善	木口面と柃目面との接着における衝撃せん断試験値のばらつきについて
1993 卒	池田知枝美	クヌギ冷水抽出成分を添加した培地でのクヌギ培養組織の観察
1993 卒	鈴木さえ子	キシログルカンオリゴ糖モデル化合物の合成
1993 卒	松原徹郎	サトウキビ表皮による接着積層材の製造および曲げ性能について
1993 卒	水野是清	重合法によるキトサンオリゴ糖の合成
1993 卒	宮部和之	木質材料と木材との接着における衝撃せん断試験値の変動について
1993 卒	吉本孝行	油絵具の乾燥に影響を及ぼすベイスギ心材の抽出成分について
1993 修	佐野郁夫	スギ間伐材をコアとした接着積層材の製造とその評価に関する研究
1993 修	長谷川祐	新しい機能性オリゴ糖及び多糖の合成に関する研究
1993 修	山本忍	樹木細胞の伸長に関わるキシログルカンオリゴ糖の合成に関する研究
1994 卒	清水良訓	植物細胞壁多糖・オリゴ糖のエンドウ上胚軸切片に対する伸長活性
1994 卒	百武淳	古紙を用いたボードの製造とその性質
1994 卒	山田修	キリ材の吸湿性および透湿性について
1994 修	末次一仁	高含水率木材の接着に関する研究
森林生産学講座(林政学)		
1989 卒	足立賢一郎・山根尚	鳥取県八頭郡内の制限林について
1989 卒	井本幹彦・紙本雅弘	森林整備と高度利用 - 鳥取県八頭郡の森林レクリエーションの調査事例に基づいて
1989 卒	大野和直・岡田実	若桜町林業史
1989 卒	鍛川寛明	林地開発の実態 - 宅地開発と緑化計画
1989 卒	桑田宏一郎	分収造林の収益性 - 鳥取県造林公社及び森林開発公団について
1989 卒	小林宏志	高等学校における林業教育の実態 - 鳥取県東部の高等学校における調査事例を踏まえて
1989 修	村上正人	地域林業形成における建築業の役割
1990 卒	鈴木直美	我が国の海外林業協力について - 南洋材産地国における林業投融資事業の調査事例に基づいて
1990 卒	谷裕一郎	森林の利用による地域活性化
1990 卒	藤本浩一	湖山池周辺の森林レクリエーションについて
1990 卒	笠岡一良	国産優良材の動向 - 智頭林業の背景・現状をふまえて
1991 卒	堀川孝司	財産区有林のコミュニティ造りにおける役割 - 智頭町の事例にもとづいて
1991 卒	流郷克哉	国産材産地形成の歴史的考察 - 大正期から昭和初期にかけて智頭の事例に基づいて
1992 卒	内田泰宏	多機能的林業経営における中小林家経営の役割 - 1989~1991の事例
1992 卒	田中太一	過疎対策における意識改革の意義
1992 卒	吉田智佳子	森林保全の面から見た日本の林業と木材貿易
1993 卒	岡田健一	森林のリゾート開発と環境保全 - 樹水高原の農村滞在型リゾート開発について

表-2 卒業論文・修士論文テーマ一覧(続き)

鳥取大6・島根大

年度分類	氏名	テーマ
1993 卒	野寄直	発展途上国における森林への社会経済的圧力としての社会経済システム
1993 卒	山口竜馬	環境教育のための水と緑と土などに親しむ森林レクリエーションの提案 - 自然体験「千代川の源流をたどる」にもとづいて
1994 卒	田中龍一郎	森林と人間の関わりに関する歴史的考察 - わが国における社会構造に基づいて
1994 卒	濱田貴司	森林を利用したエコツアーの考察 - 屋久島および海外の事例に基づいて
島根大学 生態環境科学科森林環境講座 エコロジー系		
1989 卒	青木穂高	スギ人工林におけるA0層および鉱質土壌の養分量について
1989 卒	塩田真也	インドネシアの混合フタバガキ林の上層木の養分含有率および含有量について
1989 卒	中元孝司	クヌギ萌芽の生長パターンと地上部・地下部の重量の季節的变化
1989 卒	西村英知	スギ人工林の土壌動物群集の個体数と現存量
1989 卒	安原城	コナラ・ミズナラの当年性実生の生長様式に関する研究
1989 卒	和久田寛	三瓶落葉広葉樹林における幹リター量に関する研究
1989 卒	渡辺敏	ヤブツバキの開花・結実に関する研究
1990 卒	栗原紀美子	小積皆伐跡地における養分還元量
1990 卒	岡田彩子	熱帯多雨林の混合フタバガキ林に出現するマメ科, タカトウダイ科, クスノキ科樹種の養分含有率および養分含有量について
1990 卒	雑賀謙彰	クヌギ萌芽の初期成長とクヌギ林の窒素動態
1990 卒	松田智子	非破壊法での培養による窒素および炭素の無機化量の測定
1990 卒	宮嶋卓也	熱帯多雨林の混合フタバガキ林に出現するカンラン科, パンレイシ科, ボロボロノキ科, タカトウダイ科の樹体養分含有率について
1990 修	小晶靖	クヌギ萌芽の養分動態に関する研究
1991 卒	五十川タ	落葉広葉樹林内での大形リターの供給と林床枯死木の分解速度
1991 卒	稲垣均	非破壊法によるスギ林の炭素の無機化量と窒素の硝化量の測定法に関する研究
1991 卒	小澤寛	混合フタバガキ林の地上部養分量に関する研究
1991 卒	美田弘城	クヌギの成長過程における施肥の効果
1991 卒	山本光一	森林土壌の脱窒作用に関する研究
1991 卒	吉野基宣	集水域における物質収支とその季節変化
1991 修	渡辺敏	中国南部の天然生常緑養生樹林における物質循環に関する研究
1992 卒	荒川真紀	熱帯混合フタバガキ林の地上部養分含有率と含有量について
1992 卒	今井英夫	匹見演習林天然生広葉樹林における微地形と植生について
1992 卒	笠島健	スギ林の伐採が土砂の移動に与える影響の解析
1992 卒	隅本宗聡	マツクイムシ被害跡地における植生の回復状況
1992 卒	中西康二	山地小集水域生態系から流出する溪流水の水質形成と養分流出について
1992 卒	真藤恭子	乾土効果を用いた森林土壌での窒素無機化作用に関する研究
1992 卒	村本あずさ	伐採によって始まるスギ根系の腐朽過程について - 特に強度低下の過程
1992 修	安藤義範	酸性降下物がスギ林土壌の陸生等脚目(チョウセンヒメフナムシ, Ligidium koreanum FLASAROVA)の個体群動態に与える影響に関する研究
1992 修	角南桂子	三瓶演習林のコナラ林土壌におけるササラダニ3種の食生解析に関する研究
1992 修	雑賀謙彰	スギ人工林における細根の動態に関する研究 - 特に生産と分解について
1993 卒	稲葉英昭	中国南部の天然生常緑広葉樹林における養分還元量に関する研究
1993 卒	大谷洋	森林小水域での物質収支とその流出量における溶存物質特性
1993 卒	加藤憲道	マイクロコズムを用いた酸性雨の土壌影響評価
1993 卒	金道友博	マツクイムシ被害跡地の植生回復状況とリターフォール量の変化について
1993 卒	砂田学	異なる林床タイプにおける表層流下物量と降水量との関係
1993 卒	高橋律雄	森林土壌の有機態窒素の異分解性に関する研究
1993 卒	谷口直子	森林斜面における土壌水の挙動
1993 卒	富永明良	スギの間伐・枝打ちに伴うリターフォール, リター分解の変化
1994 卒	芦原誠一	緑化工施工地の侵入木本調査
1994 卒	扇大輔	三瓶演習林内の落葉広葉樹二次林における植生に関する考察
1994 卒	谷口正樹	森林タイプによる土壌の窒素無機化および硝酸化抑制能の違い
1994 卒	生井拓	森林土壌および落葉分解に関与する微生物バイオマスの測定
1994 卒	西澤永恵	森林集水域における溪流流出水の水質決定機構
1994 卒	原勇治	樹幹流が土壌生態系に与える影響についての野外実験
1994 卒	吉村徳彦	中国南部の亜熱帯性常緑広葉樹林における落葉の分解にともなう養分量の変化
1994 卒	米岡典子	里山アカマツ林の物質循環について

年度分類	氏名	テーマ
広島大学総合科学部 自然環境		
1989 卒	足達伸司	山火跡地における人工緑化地の生態学的研究
1989 卒	曾宮和夫	島県加計町の植生
1989 修	和田秀次	ブナ極相林及びその二次林の群集構造
1990 卒 井田秀行 西中国山地の頂上付近におけるブナ林の成立過程		
1990 卒	内藤和明	稀少植物に関する生態学的研究,エヒメアヤメ個体群と生育環境
1990 卒	太田陽子	下蒲刈島における植生景観の変遷とその要因
1990 修	田中真澄	人為的攪乱がアカマツ二次林の群集構造に及ぼす影響
1991 卒 安部哲人 芸北町の湿原に関する生態学的研究		
1991 卒	常盤朝一	種子島のマングローブ林の個体群構造と生育条件
1991 修	足達伸司	森林火災跡地における緑化工の評価
1992 卒 前田亜紀 落陽広葉樹林林床における草本植物の生態		
1992 卒	山崎新太郎	アカマツ林にみられる広葉樹の更新様式
1992 卒	石井正人	はつかいちアルカディア創出事業における森林計画
1992 卒	平川法義	人工構造物が植物群集に及ぼす影響
1992 修	内藤和明	二次植生に生育する稀少植物の生態とその生育環境
1992 修	曾宮和夫	広島県太田川流域の植生景観とその変遷
1992 修	太田陽子	下蒲刈島における植生及び土地利用の動態
1993 卒 池上佳志 環境計画のための景観生態学的研究,瀬戸田町における景観環境計画		
1993 卒	井上雅仁	芦田川水系の河辺植生
1993 修	安部哲人	中間湿原とその環境の維持・復元に関する研究
1994 卒 斉藤あずさ 自然攪乱がブナ林の林床植物に及ぼす影響		
1994 卒	日笠睦	島県立もみのき森林公園の利用と植生変化
1994 卒	濱田文子	溪畔域におけるニセアカシア林の動態,松本市大沢川の事例
1994 卒	中石光彦	アカマツ林とコナラ林における材積と土壌環境
1994 修	前田亜紀	暖温帯落陽広葉樹林における林床草本の存在様式
1994 修	石井正人	新設森林公園の整備計画とその生態学的評価
1994 修	平川法義	ブナ科実生の移植による環境林の創出
愛媛大学 森林資源利用化学		
1989 卒	岡田和久	Yeast処理による機械パルプの色戻り抑制について
1989 卒	川西真二	Yeast菌によるPGWの色戻り抑制および簡便な α -カルボニル基の還元について
1989 卒	丸岡史歩	イチョウ葉中のシアリデース活性物質と樹木の生理活性物質の探索の試み
1990 卒 神谷英伸 菌活性物質を有する樹木の探索		
1990 卒	坪田幸徳	樹木からの抽出物質によるエノキタケの子実体成長促進について
1990 卒	中野明美	機械パルプの色戻りを抑制する木材腐朽菌のスクリーニング
1991 卒 足立幸雄 還元(KBH4処理), アセチル化による機械パルプ(GP,TMP,PGW)の色戻り抑制効果		
1991 卒	小野木利成	バイオリアクターによるカウレンの微生物変換によるジベレリンの生産の試み
1991 卒	村重雅之	樹木抽出による食用キノコの菌糸の発育及び子実体発生の促進作用
1992 修	松尾敦	イチイ科樹木の抽出成分とその有効利用に関する研究
1993 卒 苅谷敬寛 植物細胞カルスを用いたリグナン配糖体の調製の試み		
1994 卒	上垣勇吾	ペクチナーゼによる非木質繊維abaca,kenafの酵素処理
1994 卒	梅木秀徳	Taxus属樹木から得られる抗癌剤, Taxolに関する研究 - 化学的, 生物工学的的方法によるTaxol生産法の基礎調査について
森林経営計画学		
1989 卒	兼本久夫	冠雪荷重によるスギ樹幹の変形と応力
1989 卒	小迫昌史	幹の生長に関する樹冠長の推定
1989 卒	坂本康宏	スギ群状択伐施業作業林下木の樹冠曲線式
1989 卒	美濃羽靖	スギ群状択伐施業作業林下木の樹冠量と幹材積生長量の関係
1989 修	梶原規弘	樹冠占有状態に基づく今須択伐林の直径分布モデル
1989 修	田中正臣	スギ複層林下木の形質と材質
1990 卒 清光伸生 広島県寄木氏択伐林の立木配置		
1990 卒	仲神修司	スギ群状択伐林下木の断面積成長量の垂直配分モデル

表-2 卒業論文・修士論文テーマ一覧(続き)

愛媛大2

年度分類	氏名	テーマ
1990 卒	平岡昭二	スギ群状択伐林下木の樹冠の長さとし
1990 卒	平川啓二	スギ群状択伐林下木の樹冠量と幹材積成長量
1990 卒	森岡裕晶	樹冠構造と下木の成長に基づく択伐林最適直径分布
1991 卒	城戸太郎	広島県八郎スギ天然生林分の立木配置
1992 卒	高橋正義	択伐林の直径分布に関する研究 - 林冠構造と林床付近の光環境に基づく一考察
1992 卒	野崎晋也	岡氏所有多層林の施業と林分構造
1993 卒	伊藤直哉	魚梁瀬スギ天然生林分の林分構造
1993 卒	稲澤るみ	スギ単木択伐作業モデル林の光環境の予測方法
1993 卒	川本和子	単木択伐作業林内スギ立木の樹冠量
1993 卒	瀬脇武浩	群状択伐作業林内ヒノキ更新樹の植栽後12年間の樹高成長
1993 卒	鈴木正彦	樹幹解析円板における齡階面積測定誤差の解析とイメージスキャナを用いた測定システム
1993 卒	吉田巧	スギ択伐作業林中・下層木の各種樹冠量と幹材積成長量の関係
1994 卒	植本誠滋	今須択伐作業林の現状と基準的な直径階別本数分布の試算
1994 卒	工藤真帆	単木択伐作業林における流木配置の規則性について
1994 卒	小島延連	拡大した空中写真による簡易測量方法の検討
1994 卒	村上晶子	単木立木材積測定法の検討 - 望高法
木材材料学		
1989 卒	石川雅之	木材の水抽出液による工具鋼の腐食について
1989 卒	柴田幸治	スギ造林木の樹高方向での組織変化 - 仮道管長の変動とヤング係数の関係について
1989 卒	竹中寛	珪化木の樹種同定
1990 卒	石本好志雄	木材の水抽出液による工具材料の腐食
1990 卒	井戸聖富	熱処理による材質変化
1990 卒	伊吹知江子	スギ材の半径方向における基礎材質の解析
1990 卒	税所博信	第三紀地層から出土した珪化木の組織構造と樹種同定
1991 卒	石本好志雄	木材の水抽出液による工具材料の腐食
1991 卒	村上拓也	低圧爆砕処理による木材の透過性改善
1991 卒	吉本真己	局所的爆砕法によるスギ材の乾燥性改善
1992 卒	入口真行	カナダ北極海諸島Axel Heiberg島から出土する第三紀樹木遺体の2, 3の材質
1992 卒	安村由紀子	スギ黒心材の局所的爆砕処理による材質への影響とその分布
1993 卒	岩本奈美	"カナダ北極海諸島Axel Heiberg島の第三紀樹木遺体の組織構造"
1993 卒	中村清誠	局所的水蒸気爆砕処理による乾燥性向上の材内分布
1993 修	村上拓也	局所的水蒸気爆砕処理による木材の透過性改善
1994 卒	岡内諭	圧縮木材の年輪幅復元に関する研究
1994 卒	岸本さおり	水蒸気爆砕処理の透過性改善効果の含水率依存
1994 卒	長瀬陽二	高周波減圧乾燥における乾燥速度に及ぼす制御因子の意味
1994 卒	守田今日子	水蒸気爆砕処理によるスギの有縁壁孔に与える影響
森林資源論		
1991 卒	岡崎勇	緑化の担い手
1991 卒	垣内正江	日本における都市と緑地
1991 卒	丸橋祐一	「緑化」とは何か
1991 卒	宮崎頭治	日本における「現代の焼畑」
1992 卒	白水康二	現代日本の都市と公園
1993 卒	大角一史	木造船づくり - 双海町下灘の若松造船所の事例
1993 卒	田中良子	愛媛の寺社林
1993 卒	西大輔	中国における林業生産組織その変容と現状 - 四川省の事例
1993 卒	藤田篤子	石鎚国立公園における保護と管理
1993 卒	三浦輝之	神戸市と松山市の街路樹とその政策
1993 卒	山田裕樹	城川町の「村おこし」と市
1993 修	丸橋裕一	日本における戦後緑化の思想と行動
1994 卒	川畑政憲	最近の我が国における住宅様式の変化と木材利用
1994 卒	辻内達也	箱根の森林リゾート開発
1994 卒	西宮鉄二	日本における今日のハーブ利用

年度分類	氏名	テーマ
森林生態学・造林学		
1989 卒	稲田哲治	アカメガシワの葉群動態と光合成特性に関する種生態学的研究
1989 卒	稲葉重喜	モミ・ツガ天然生林におけるモミ個体群の発達過程の復元
1989 卒	児玉健一	モミ・ツガ天然生二次林における散布種子量および種子散布様式
1989 卒	高柳仁美	モミ・ツガ天然生林における落葉・落枝の分解過程
1989 卒	中岡圭一	モミ・ツガ天然生林の落葉、落枝量と落葉の無機成分含有量
1989 卒	中村久美	土壌中の酸素条件を変化させたマングローブ実験群落の根系発達
1989 修	Erizal Mukhtar	Ecological study of water permeability of several tree species in a fir-hemlock forest
1990 卒	阿部達也	モミ・ツガ天然生林における主要樹種の伸長成長と葉群動態
1990 卒	小倉典夫	コナラ、クリ、ヌルデの葉群動態と光合成能力
1990 卒	善行宏	モミ・ツガ天然生林における林木の直径成長の解析 - 年変動と気象要因の関係にあらわれた樹種特性
1990 卒	森川大	モミ・ツガ天然生林における主要樹種の年輪解析による動態復元
1990 卒	米山治子	モミ・ツガ天然生林における常緑広葉樹の光合成能力
1991 卒	松本信二	モミ・ツガ天然性二次林における主要な樹種の樹体内水ポテンシャル
1991 卒	松本美幸	塩分濃度を変えて栽培したマングローブ植物の光合成能力
1992 卒	稲見薫	モミ・ツガ天然性二次林における樹木の成長と樹体内貯蔵物質
1992 卒	柴田育子	in situで測定した光-光合成速度
1992 卒	保正聡子	エノキ樹体内における糖類とデンプンの濃度の日変化
1992 修	岡田昌明	マングローブ植物のカルスインダクションにおける顕微鏡観察
1992 修	マリー・サッタスィナロン	Callus induction and organal culture of mangrove plants
1993 卒	大木雅晶	ヤマモミジ樹体内における糖・デンプンの動態
1993 卒	門脇大輔	塩分濃度を変えて栽培したマングローブ植物の水利用効率
1993 卒	小中学	林内における樹木の光合成能力と水分条件の関係
1993 卒	近藤潤子	モミ・ツガ天然性二次林における樹体内の水の移動
1993 卒	米田令仁	繁殖子切断行為によるBruguiera gymnorhizaの幼植物体形成
1993 修	巖正雄	米野々演習林におけるモミ・ツガ林の植生遷移モデル
1994 卒	市榮智明	Bruguiera gymnorhiza胎生種子の生育にともなう炭水化物代謝
1994 卒	乾澄人	葉一枚における光合成産物の転流の測定方法
1994 卒	上谷浩一	温度の変化が樹木の光合成能力におよぼす影響
1994 卒	川村知子	人間の社会活動が自然生態系におよぼす影響生態倫理的考察
1994 卒	田岡真由美	コナラの樹冠部における蒸散量の測定
1994 修	インオン・サトゥウォンク	Study on callus induction and shoot differentiation of Bruguiera gymnorhiza
1994 修	広見徹	サラワク熱帯雨林に分布するいくつかの樹種の蒸散速度
生態系制御工学		
1991 卒	野沢浩二・矢野将之	新しい型の砂防事業の実態的研究
1992 卒	安藤芳文	衛星データによる地すべり地の推定に関する研究
1992 卒	大石樹	衛星データによる1991年大分県風倒木災害跡地の抽出と災害特性の解析
1992 卒	川嶋康彦	強風災害の数値実験 - 1991年台風19号による大分県における風倒木災害
1992 卒	岡本貴史	非均質土壌中の雨水の流れに関する基礎的研究
1992 卒	横田繁実	リモートセンシングによる森林流域の蒸発散量の推定に関する研究
1992 卒	渡部秀一	新しい型の砂防事業に対する住民意識について
1993 卒	太田俊一郎	雲仙普賢岳の火山活動による眉山の大規模崩壊に関する研究
1993 卒	岡山美音湖	沖縄の海岸林における実態と機能に関する研究
1993 卒	木内桂	表面温度計測による森林の蒸発散量分布推定に関する研究
1993 卒	菅原由紀子	非均質土壌中の雨水の流れに関する基礎的研究
1993 卒	萩野裕章	1991年台風19号による大分県における強風災害 - 谷地形における強風の数値実験
1994 卒	加瀬真理子	昔話にみられる川と人間の関わり
1994 卒	波多野育代	森林の水源かん養機能強化モデル事業の効果について
1994 卒	松浦貴志	表面温度法による森林斜面の蒸発散量の分布に関する研究
1994 卒	真鍋忠義	荒廃溪流における土砂計測システムの開発に関する研究
1994 修	大石樹	GIS(地理情報システム)による土砂災害解析に関する基礎的研究
1994 修	岡本貴史	非均質土壌中の雨水の浸透に関する研究
1994 修	野沢浩二	フィルター分離AR法による森林流域の流出特性の定量化に関する研究
林業生産工学		

表-2 卒業論文・修士論文テーマ一覧(続き)

愛媛大4

年度分類	氏名	テーマ
1989 卒	越智慎吾	林道・作業道等の開発における景観（風致）保持計画に関する基礎的研究 - 林道建設と景観評価に関する研究の現状
1989 卒	久保真利	ランドサットデータによる山地小流域の土地分類手法に関する研究
1989 卒	山田あゆみ	雨水の浸透流出に関する理論解析
1989 卒	若木功	治山・砂防施設に対する住民意識 - 小豆島の事例
1990 卒	神鳥浩明	林野火災における燃焼動態に関する研究 - 山焼きを利用した現地実験
1990 卒	白石友志	林野火災における燃焼動態に関する研究 - Rothermelの燃焼速度式の適用
1990 卒	玉井友貴	ランドサットTMデータによる森林植生とその変化の検出 - 林野火災における燃焼程度と植生回復の評価
1990 卒	西住真則	ペンマン・モンティース法による森林流域の蒸発散量推定に関する研究
1990 修	川添斉	林野火災における樹木の片面燃焼に関する基礎的・応用的研究
1991 卒	浅海誠	林内作業車道に依存する素材生産システムに関する基礎的研究 - 久万町における小型林内作業・車道の現状と問題点
1991 卒	上杉慶史郎	作業者の生理負担からみた林業機械におけるハンドルグリップの最適直径について
1991 卒	上田毅	チェーンソー造材作業における作業者単位動作と心拍数の変動について
1991 卒	梶川憲一	林内作業車道に依存する素材生産システムに関する基礎的研究 - 小型林内作業車の障害乗り越え時の挙動特性と運転者の生理負担
1991 卒	信高浩二	チェーンソー作業者の心拍数変動に関する影響要因
1992 卒	岡本信吾	既設林内作業車道の拡幅による、搬出機械の大型化に関する若干の考察
1993 卒	石松誠	林内作業車の作業環境における排気ガスについて
1993 卒	山下聡	林内作業車道と林道における縦断勾配の変動について
1993 修	梶川憲一	小型林内作業車車輛の作業環境における生理負担と作業障害の評価について
1994 卒	安部隆一郎	林野火災跡地の植生及び浸透能の変化について - 愛媛・香川県境林野火災（1985）, 10年後の経過
1994 卒	石垣久志	小型林内作業車による伐出作業の実態について - 愛媛県久万町を中心としたアンケート調査
1994 卒	中村祥一	小型林内作業車道の路網密度に関する一考察
1994 卒	日名子利光	手持ち林業機械のエンジン排気について
森林政策学		
1989 卒	寺岡平和	銅山川流域における造林・伐出事業の現状
1989 卒	寺田一之	低経済成長期を経た地域林業の実態 - 広島県太田川林業を事例として
1989 卒	矢野高行	林業労働における新たな動きとその展望 - 熊本県小国町における（株）悠木産業を事例に
1989 卒	山路聖治	「戦後造林木」生産をめぐる新たな動き - 愛媛県大洲市を中心事例にして
1990 卒	神垣輝	「リゾート」開発の基本構造とその問題点 - 地域活性化への展望
1990 卒	上林正佳	戦前期南洋材輸入の動向とその意義
1990 卒	黒木洋	わが国林業・木材市場の世界連関 - 環太平洋林業との連関構造を中心として
1990 卒	竹田潤一	紙パルプ産業の動向と原料問題 - 1980年代における構造変化
1990 卒	築山健一	割箸問題の現段階
1990 卒	長田賢	戦後民有林政策の基調 - 林地の集団化, 森林施業の共同化をめぐる
1991 卒	笠松浩樹	森林施業の共同化について - 西条市の団地共同森林施業計画を事例に
1991 卒	黒木洋	瀬戸内における米松製材業の現況
1991 卒	小長賢二	「流域林業」と「活性化」 - 流域管理システムについて
1991 卒	松川英司	林家の動向 - 世界農林業センサス分析
1991 卒	矢野勝己	日本の合板工業の現状と将来の方向性
1992 卒	岩田賢一	原木市売市場における製材業者の原木調達行動と原木価格形成の関係について
1992 卒	武村栄治	森林レクリエーション施設としてのスキー場の分析 - 南国型のスキー場における経営分析
1992 卒	松尾哲也	製材工場の原木調達における原木市売市場の果たす役割について
1993 卒	川畑謙一郎	森林施業における間伐 - 方法論の変遷と現段階
1993 卒	坂井聡	建築用プレカットの現状とその意義
1993 卒	高本潔	大分県南部地域の林業労働力問題
1993 卒	豊後太志	山の神の一考察
1993 卒	溝口司	森林組合の広域合併について - 大分県の事例を中心に
1993 卒	山西昌子	林業事業体の今後の動向について - 森林組合と第3セクター
1994 卒	新開幸司	愛媛県における小径木利用に関する研究 - 緑化木支柱の生産と流通を中心として
1994 卒	高梨裕介	林業基本法及び基本法林政と地域林業
1994 卒	鶴飼哲也	地球環境における「虚・実・現」

表-2 卒業論文・修士論文テーマ一覧(続き)

高知大1

年度分類	氏名	テーマ
高知大学 農学部森林生産学講座 木材化学		
1989 卒	清水政明	和紙蒸煮における靱皮組成成分の挙動
1989 卒	橋本平俊	木材飼料の糖化性に及ぼすリグニン化学構造の影響
1989 卒	山下透	コウゾ靱皮繊維のAMOXおよびカセイソーダによる加圧蒸解法について
1989 修	姜夏泳	高知県産広葉樹材の耐蟻性に関する研究 -特にカゴノキの強力な殺蟻活性について
1989 修	松島七月	ヒノキ材殺蟻活性成分について
1990 卒	木塚裕幸	クスノキの殺蟻活性について
1990 卒	楠田直樹	ヒノキ材殺蟻活性成分に関する研究
1990 卒	塩屋晴規	AMOXおよびNaOHによるコウゾ靱皮繊維の加圧蒸解法について
1990 卒	広田泰秀	Acetobacter xylinumによるバクテリアセルロースの製造に関する研究
1990 卒	森江正博	市販和紙のキャラクターゼーション特に光学的性質についての研究
1990 修	西村高明	バクテリアセルロース製造のための炭素源に関する基礎的研究
1991 卒	杉田隆	ヒノキ材の殺蟻活性成分に関する研究
1991 卒	平野吉男	バクテリアセルロース製造時における菌体分布
1991 卒	和田聡史	培養条件によるバクテリアセルロース膜の生産性の変化
1991 卒	山下実	靱皮繊維のパルプ化における繊維長の影響
1992 卒	池田欣子	ケナフ及び各種農作物の搾汁を用いるバクテリアセルロースの作成
1992 卒	片山秀和	バクテリアセルロース培養における酸素の役割
1992 卒	川勝隆之	バクテリアセルロース基本培地における窒素源に関する研究
1992 卒	小林弘美	ケナフの栽培における施肥に関する研究
1992 卒	野口琢郎	ケナフ靱皮繊維のソーダ法パルプ化に関する研究
1992 卒	狭間稔	ヒノキ材の殺蟻活性成分に関する研究
1992 卒	吉松由美子	製紙用の早生植物資源としてのケナフに関する研究
1992 卒	佐藤直樹	ケナフ靱皮繊維の生態系保全型カリウム蒸解法に関する研究
1992 修	森江正博	生態系保全型パルプ化法としてのカリウム蒸解
1992 修	廣田泰秀	バクテリアセルロースの製造における培地成分の役割
1993 卒	鈴木浩司	バクテリアセルロース製造時におけるリグニンの影響
1993 卒	西村和洋	ケナフ栽培に関する研究
1993 修	平野吉男	スギ・ヒノキ・ケナフを用いたバクテリアセルロースの製造
1993 修	山下実	ケナフ靱皮繊維のパルプ化について
1994 卒	大塚健治	ヒノキ葉部精油の殺蟻活性に関する研究
1994 卒	久米孝枝	ケナフの栽培と木質部のTMP処理に関する研究
1994 卒	白石晃示	リグニン誘導体添加によるバクテリアセルロースの生産性
1994 卒	橋本健太郎	クスノキ材の殺蟻活性成分に関する研究
1994 卒	福田公二	バクテリアセルロース培養におけるケナフ抽出物添加の影響
1994 卒	福山鉄矢	ケナフ靱皮アルカリ蒸解に及ぼす熱水抽出前処理の効果
1994 卒	柳沢知徳	ケナフ靱皮部のシュウ酸アンモニウム処理に関する研究
1994 修	野口琢郎	ケナフ木質部および靱皮部のアルカリ蒸解におけるアントラキノン類添加の効果について
1994 修	狭間稔	ヒノキ材の殺蟻活性成分について
森林経営学		
1989 卒	伊藤英知	香北町の農林業の構造と地域振興
1989 卒	井上昌則	外材支配体制下における木材産地の再編
1989 卒	佐藤宣明	自然保護の変遷と「石鎚」にみる国有林の保護対策
1989 卒	高木賢二	リゾート開発と山村・地域振興
1989 卒	溝上工	林業生産の組織化について -相生町杉生会を事例として
1989 卒	寺峰英樹	高知県における建材の流通機構
1990 卒	石川裕二	森林と人との共生を求めて
1990 卒	上野和俊	大川村の山村振興と白滝の里開発
1990 卒	川島幹雄	農林複合経営の考察 -高知県物部村における個別経営分析から
1990 卒	富田浩倫	椎茸生産と農林複合経営 -高知県長岡郡本山町南部地域を事例として
1990 卒	蓮池将道	国有林経営の変貌 -高知県馬路村魚梁瀬宮林署を事例として
1990 卒	村上克和	苦境に立つ山村とその振興について -西日本一の過疎山村別子山村を事例として
1990 卒	橋本一孝	高知県における建築業者の分析
1991 卒	恩田英子	東南アジアにおける我が国資本による開発輸入に関する研究
1991 卒	河津紀次	リゾート開発・ゴルフ場開発と諸問題

表-2 卒業論文・修士論文テーマ一覧(続き)

高知大2

年度分類	氏名	テーマ
1991 卒	木村昌生	アメリカ西海岸の木材産業の危機とその背景
1991 卒	白髪和広	インドネシアの合板工業の研究
1991 卒	中川浩	カナダの森林・林産業に関する研究 -BC州の森林資源構成の変化と木材工業の再編
1991 卒	成瀬敬三	我が国における南洋材貿易と合板産業の変貌
1992 卒	井垣誠	梶原町林業の展開に関する研究
1992 卒	工藤剛生	林業の活性化, および山村振興についての実態と考察 -高知県土佐町を事例として
1992 卒	河野高士	山村における産業振興について -高知県仁淀村を事例として
1992 卒	児玉篤宗	馬路村の経済と国有林について
1992 卒	山下昌一	アグロフォレストリーの歴史と諸形態
1992 卒	吉川幸春	西土佐村における山村振興の取り組み
1992 卒	荒木宏之	物部村の林業の変遷と山村振興について
1993 卒	一木洋	高知県中央地域における住宅産業の動向と, それに影響を及ぼす一因子である宅地開発から見た県下の住宅産業分野の展望について
1993 卒	鈴木加寿子	我が国の森林・林業分野における国際協力の意義と問題点
1993 卒	長尾多栄子	山村集落の変貌と住民生活 -物部村を事例として
1993 卒	西谷礼子	高知県における林業構造改善事業の成果と課題
1993 卒	森山直樹	高知県の林業労働力の再生問題について
1993 卒	山下栄一	木炭の需要開発と生産構造の変化について -高知県の吉良川地域と四万十川上流域を例として
1993 修	恩田英子	三桧・楮の生産構造に関する研究
1994 卒	岩佐宜泰	高知県林業公社の現状と問題点
1994 卒	北添恵子	農山村における女性グループ活動と地域活性化
1994 卒	久保絵美	林業における代セクターの役割 - (株) SONIAを事例として
1994 卒	栗栖祐子	山村と都市の交流事業の展開過程 - 梶原町を事例として
1994 卒	田井信也	製材流通からみる国産材時代
1994 卒	長野真紀	地域振興策としての産直住宅 -土佐産商を事例として
1994 卒	溝口貴幸	製材工場の展開と製材要素材の地域的集中の動向
1994 卒	横田泰成	早明浦ダムの漏水問題と都市住民の意識調査 -平成6年・夏の異常渇水を事例として
1994 卒	財田洋幸	高知県連系統共販の現状と問題点
1994 修	李天送	中国華北平原地域における農用林業の展開過程に関する研究
1994 修	Saha Narayan	Studies on Forest Industries in Bangladesh -A Case Study on Pulp and Paper Industry
森林計測学		
1989 卒	荒尾正剛	演習林成長量試験地におけるヒノキ林分の特性と各要因の相関関係
1989 卒	倉田洋志	天然生二次林を改良した森林レクリエーションエリアの資源特性と機能評価 -月見山こどもの森, 横浪こどもの森, 雨喜ヶ峰森林公園の比較
1989 卒	斎藤友泰	森林レクリエーションエリアの改善方向と, 利用側面からの機能評価
1989 卒	佐藤英治	ヒノキ二段林の上層木肥大成長の考察 -間伐の直径成長への影響について
1989 卒	中城秀樹	大規模林業経営の経営行動の特性
1989 卒	藤原良太	森林レクリエーションの需給関係の推移過程とレクリエーションの整備のあり方について
1989 卒	山崎洋	農家林家の林業経営行動 -幡多地域を事例として
1990 卒	鷺岡義晴	林業経営の行動特性の計量分析 -特性値の構造及び内部環境要因の影響
1990 卒	三好一樹	高知大学演習林におけるシステム収穫表の基礎研究 -パソコンによる資源表の表示と収穫予想の一事例
1990 卒	山鹿芳照	農家林家における経営行動のラグモデルによる分析
1991 卒	榎並健一	施業計画のためのシステム収穫表 -高知大学演習林をモデルとした収穫予測
1991 卒	中村みどり	高知県における人口移動の特性
1991 卒	松尾真一郎	ラグモデルによる林業生産活動の分析
1991 卒	宮川修	スギ林分における丸太量推定のための相対幹曲線の利用 -施業のちがいによる相対幹曲線への影響
1992 卒	磯川真輝	相対幹曲線式に基づく木頭スギ細り表の作成について
1992 卒	杉浦弘子	徳島県三好地域における林業事業体組織と労働者就労実態に関する研究
1992 卒	福家正志	SD法景観評価試験による森林景観の評価
1992 卒	黒田哲郎	森林レクリエーションの需要と供給の関係について -低質レクリエーションエリアの需要の限界
1993 卒	石田泰隆	フィリピンにおける森林開発および社会林業の展開
1993 卒	今給黎裕貴	四国内におけるスギ人工林の生長解析
1993 卒	岡林章一	演習林ヒノキ生長量試験地の生長解析
1993 卒	林珠代	森林レクリエーション行動の構造分析
1993 卒	松英恵吾	コンピュータグラフィックスによる樹形の3次元表現

年度分類	氏名	テーマ
1993 卒	村田典之	樹木間の競争に関する研究
1994 卒	井上昭夫	带状皆伐跡地の光環境と植栽木の成長 - 植栽後7年目のスギ・ヒノキ林の事例
1994 卒	浦宗秀幸	無間伐ヒノキ林における成長解析
1994 卒	上岡多江	野外レクリエーション・エリアの訪問行動特性 - グリーンピア土佐横波・竜の来訪者行動分析を中心にして
1994 卒	北山恵	自然レクリエーションエリア訪問行動における地域性・階層性について
1994 卒	直井孝信	施業施業体系と林業技術の形成, 発展過程の歴史的背景 木頭林業地及び久万林業地の事例
1994 卒	日置明希	ヒノキ素材価格の決定要因解析
1994 卒	溝口靖	農家林家の経営行動類型 - 木頭地方の事例
1994 卒	伊藤洋次	都市の「みどり」のオープンスペースとしての街区公園の機能 - 高知市の場合
1994 修	黒田哲郎	レクリエーションエリアの利用をめぐる競合についての研究
造林学		
1989 卒	榎木勉	なぜマツクイムシの大きさは違うだろうか?
1989 卒	塩見隆司	带状伐採地における日射環境の表し方について
1989 卒	山口雄司	樹木の生長および, 生理活性の樹冠部位による変異
1989 卒	尾形幸彦	樹木の肥大生長について
1989 卒	加藤正親	高林齢のスギ林の現存量と過去の成長過程
1990 卒	鈴木宏朗	高齢スギ人工林の現存量と成長経過
1990 卒	曾野知雄	田園風景での『花のあるまちづくり』に関する一考察 - 田野町および貯木場跡地をケース・スタディとして
1990 卒	中西睦	マツの肥大成長の特性について
1990 卒	難波武博	マツ枯損木から羽化した穿孔虫類
1990 卒	平尾典隆	やなせ千本山保護林の過去20年間の植生の動態
1990 卒	深田英久	樹幹流と, それが土壌PHに与える影響
1990 卒	船木扶美	生育環境が違う樹木の光-光合成曲線の季節的变化
1990 卒	本藤幹雄	マツ枯損木内における穿孔虫類の羽化脱出について
1990 卒	御手洗陽子	生物共存公園づくりに関する基礎的研究 - 安田町ホタルの里公園をケース・スタディとして
1990 卒	西原寿明	樹木の中を流れる水は環境の影響をどのように受けているのだろうか?
1990 修	上田正文	樹液の流れかたの季節による違い
1990 修	田中謙二	水ストレスをうけた樹木の葉の水分特性
1990 修	Dennis J. Tobias	環境ストレス下における樹木の成長に関する生理生態学的研究1 - 樹冠部位の新梢の伸長成長期における新梢の葉緑素と光合成の変化
1991 卒	伊藤敦基	林内における酸性雨の成分変化
1991 卒	小野田勝	樹幹流が土壌PHに及ぼす影響
1991 卒	小嶋康裕	数種の常緑広葉樹及び落葉広葉樹の光合成特性
1991 卒	近藤順子	室戸岬の海岸周辺における植物相と植生
1991 卒	西村知記	高知県におけるクスアノキゾウムシの発生経過と被害実態
1991 卒	乃一広志	苗木の形質条件(比重, 地際直径)と植栽後の成長との関係について
1991 卒	原真一	スギの発根と木部圧ポテンシャルと光合成速度の関係
1991 卒	藤本浩平	带状伐採地における日射量の推定
1991 卒	三石幸	広葉樹の種特性に関する基礎的研究
1992 卒	阿部剛俊	「野草による緑化」緑化適応種の選定および選定種と緑化関連事項についての考察
1992 卒	磯和剛	人工造林地におけるシカおよびカモシカ被害調査
1992 卒	門脇美智代	工石山自然休養林におけるフロラと植生
1992 卒	神尾昌延	スギおよび各種広葉樹の挿し木発根と木部圧ポテンシャル, 含水率の関係
1992 卒	種田光伸	樹幹流の土壌phと養分含有率に及ぼす影響
1992 卒	原田誠太郎	市街地における児童公園のあり方 - 城東公園をケース・スタディーとして
1992 卒	穂積正裕	魚梁瀬千本山スギ林における土壌phと養分濃度の空間分布
1992 卒	築瀬二郎	広葉樹shootの形態形成過程についての研究
1992 卒	吉田和男	現況の自然植生を活かした自然公園の植栽計画 - 安居溪谷県立自然公園についての事例
1992 修	江崎功二郎	ウバタマコメツキCryptalaus berus (Candeze) の生態に関する研究
1992 修	難波武博	マツクイムシ群集の空間構造について
1993 卒	斎藤浩子	常緑広葉樹における樹幹流のph値と養分特性について
1993 卒	鳥居慎司	高知県室戸市羽根におけるスギノアカネトラカミキリの生息調査
1993 卒	土井伸一郎	公園緑地のデザインが内部の温度環境に及ぼす影響
1993 卒	三島貴志	当年生広葉樹の生長様式について
1993 卒	渡辺友浩	トガサワラ保護林における針葉樹の分布と微地形の関係について
1993 卒	酒井佳子	スギ, ヒノキ, アカマツ林土壌の化学性 - 樹幹位置との関連性
1993 卒	館野剛	高知県香美群野市町「三叉」修景計画

表-2 卒業論文・修士論文テーマ一覧(続き)

高知大4

年度分類	氏名	テーマ
1993 修	小嶋康裕	庇陰下における数種落葉広葉樹の形態形成
1993 修	藤本浩平	アカマツ枯死木樹幹流が土壌に与える影響
1993 修	西村知記	クスアナアキゾウムシの生活史
1994 卒	大輪安信	物部村山林火災における焼け止まり線の植生について
1994 卒	片岡誠	道路上の微気象に及ぼす緑化の影響
1994 卒	久保田典子	帯状伐採地の日射環境と植栽木の成長量について
1994 卒	斎藤章代	ヒノキ科樹木樹脂胴枯病の病原菌と病原性について
1994 卒	笹栗敦子	アカマツの枯損と林内植生の遷移
1994 卒	立川優	スギ・ヒノキの粗放施業林の土壌特性について -隣接する集約施業林と比較して
1994 卒	植村和暢	四国地方(高知県中心)におけるニホンキバチとその共生菌に関する研究
1994 卒	入田慎太郎	ヒノキ単純林における表土流亡に関する研究
1994 卒	渡辺友浩	トガサワラ保護林における微地形と針葉樹5種の分布特性
防災林学		
1989 卒	麻田桂	水系網に及ぼす流域傾斜の比較研究 -高知県下の吉野川, 物部川流域の事例
1989 卒	須恵丈二	水系発達様式の確率過程についての研究 -高知県東部地域の事例
1989 卒	杉山経裕	水系網の発達様式の確立過程についての考察 -高知県中部地域の事例
1989 卒	山口和樹	水系網の発達過程に及ぼす流域傾斜の比較研究 -四万十川流域の事例
1989 卒	徳田賢二	水系網に及ぼす流域傾斜の比較研究 -高知県東部地域の事例
1989 卒	中川由貴男	水系発達様式の確率過程についての研究 -高知県西部地域の事例
1989 卒	正岡正	水系網に及ぼす流域傾斜の比較研究 -高知県中西部の事例
1990 卒	青山峰明	地すべりの移動機構に関する研究 -怒田地すべりににおける降雨と地すべり変位の関係について
1990 卒	安部剛	Tank Modelによる流出過程に関する研究
1990 卒	伊藤岳	人工降雨による斜面崩壊に関する実験的研究
1990 卒	桧垣利行	斜面崩壊に関する実験的研究 -崩壊に至るまでの降雨量と斜面の水収支について
1990 卒	園田太志	谷の分岐に関する基礎的研究
1990 卒	原野安造	水系発達様式の確率過程についての研究 -高知県西部の事例
1991 卒	井村慎也	落石の衝撃力に関する研究
1991 卒	小松剛幸	砂防溪流における土砂の移動形態に関する研究
1991 卒	西森崇夫	人工降雨による斜面崩壊の実験的研究
1991 卒	羽藤雅一	降雨量を用いた土石流の警戒・避難基準に関する考察
1991 卒	松永誠	善徳地すべりの移動機構に関する基礎的研究 -地下水と侵食土砂との関係について
1991 卒	足達哲也	人工降雨による斜面崩壊実験
1992 卒	金泉かおり	崩壊跡地の緑化の推移に関する事例研究
1992 卒	木下伸子	高知県内に発生している地すべりの目録作成
1992 卒	下原甚介	斜面崩壊に関する実験的研究
1992 卒	岳本亨	近自然工法の現況と日本への導入の展望
1992 卒	徳永哲	斜面崩壊に関する研究 -一切取り法面の崩壊を事例として
1992 卒	松本剛	人工降雨による斜面崩壊実験
1993 卒	井倉大介	斜面崩壊に関する実験的研究
1993 卒	上別府郁代	豪雨型斜面崩壊に対する降雨量の影響について -平成5年豪雨による鹿児島県下の土砂災害
1993 卒	古賀雅治	地すべり地形のフラクタル特性 -東北地方の地すべりの地形より
1993 卒	梶田克宣	地すべりの移動に関する研究 -打木地すべりを対象として
1993 卒	中野圭一	都市河川に対する住民の意識調査
1993 卒	矢野強	地すべり調査法の比較研究 -従来の観測システムからみたGPS観測の有用性について
1993 卒	加藤光成	平成5年度の降雨による降雨量を用いた土石流の警戒・避難基準に関する考察
1993 卒	白石勝也	砂防溪流における堆砂勾配の変動特性に関する研究
1993 修	松永誠	模型斜面による斜面崩壊実験
1994 卒	内藤順文	四国の三波川帯における地すべりと大規模崩壊の地質的および地形的特色について
1994 卒	福田裕之	砂防施設における堆砂勾配の変動特性に関する研究
1994 卒	柳崎剛	砂防施設への魚道の設置に関する研究
1994 卒	山下雅子	山火事による森林の荒廃過程に関する研究
1994 卒	上野真吾	植物根系による斜面崩壊抑止機能に関する研究
1994 修	松本剛	高知県下における土砂災害発生危険斜面の予知に関する研究 -地質帯による斜面構造の差に関する考察
林業工学		
1989 卒	市村秀樹	視点の挙動に基づく林道評価に関する研究 -林道の線形と視線の傾向

年度分類	氏名	テーマ
1989 卒	西山真司	軽架線集材におけるけん引抵抗についての基礎的研究
1989 卒	渡辺康太郎	マイコン制御による直登式枝打機の開発 - 鋸断部の試作
1989 卒	牧野慎吾	GPSトランスロケーション法の移動体測位精度 - ブロック I・II 衛星を利用した場合
1989 修	林治克	心拍数による労働の生理的負担の評価法に関する研究
1989 修	山本敏子	林道の切土のり面が景観に及ぼす影響に関する研究
1990 卒	久保衛規	注視点の挙動に基づく山岳林道の構造評価に関する研究
1990 卒	斎藤一郎	GPS測量における電波通路上の樹木による受信障害
1990 卒	下郷太郎	注視点の挙動に基づく森林景観評価に関する基礎研究
1990 卒	恒松衛	非皆伐施業における自走式搬送の集材作業分析
1990 卒	真木賢二	GPSトランスロケーション法による移動体測位に関する基礎的研究 - リアルタイム処理と後処理との比較
1990 卒	山本新	タワーヤードと多工程処理機を用いた作業仕組の導入条件
1990 卒	長井宏文	非皆伐施業を前提とする路網配置計画と評価 - 附属演習林西団地に関して
1990 修	前川国利	GPSの測位精度と森林空間における利用技術に関する研究
1991 卒	武川秀樹	GPS衛星と測点間を遮断する樹木による測位障害
1991 卒	田尻晋吾	集材時に林内で枝払いする機械の切断刃に関する研究
1991 卒	浜田義寛	注視点の挙動による林道幾何構造の評価法 - 注視点の測定法と誤差
1991 卒	平昌聡一郎	山岳林における伐出作業の高性能機械化と林内道路の構造に関する研究
1991 卒	森野由紀恵	林業労働災害の型と起因物に関する研究
1991 卒	増田尚一	全木集材作業における高性能機械の最適配置に関する考察
1991 修	市村秀樹	注視点の挙動に基づく林道構造の評価法に関する基礎的研究
1992 卒	田中憲司	非皆伐施業に適した伐出システムの作業時間分析
1992 卒	田中浩二	車両系機械の林内走行性に関する障害物の分布に関する研究
1992 卒	松井寛和	GPS測位における地形に起因した電波の遮断と測位可能時間について
1992 卒	松田浩祐	インターロック機構に用いられる油圧システムの機械性能
1992 卒	渡辺康文	林業労働災害発現に関する統計的解析
1993 卒	小川英一	待ち合わせ理論による伐出作業システムの検討
1993 卒	坂口健介	車両の林内走行性に関する研究 - 林内地表条件とクローラティブ車両の走行性
1993 卒	瀬尾豊	運転者の生理的反応に基づく林道構造の評価法 - 注視点の挙動と血圧・心拍の変動
1993 卒	藤井一弘	人工衛生配置整備の進捗とポータブル受信機による測定精度の変化
1993 卒	渡辺崇	林業労働性害の発生と原因に関する分析的研究
1994 卒	中前貴司	タワーヤード集材における地形分類評価について
1994 卒	橋本和紀	森林基盤整備計画のための地形・地表区分に関する基礎的研究
1994 卒	松浦真吾	作業路の路面侵食に対する簡易被覆の効果に関する研究
1994 卒	水野大二郎	森林内でのGPSの測位利用の条件と精度
1994 卒	柚村誠二	下刈りロボットの刈払刃の切断性能に関する研究
1994 修	落曉東	運転者の生理的反応に基づく林道幾何構造の評価に関する研究
木材理学		
1989 卒	惣慶徹	集成材の異樹種間接着性能と工芸的評価
1989 卒	友廣哲也	ヤナセスギノッチ材の曲げにおけるアコースティック・エミッション解析
1989 卒	野ヶ瀬佳嗣	ヤナセスギノッチ材のアコースティック・エミッションの原波形解析
1989 卒	山下朋行	ヤナセスギ有節材の曲げにおけるアコースティック・エミッションの特性
1989 卒	武村道明	広葉樹材繊維の横断面寸法に関する研究
1989 卒	森分和彦	高知県嶺北地域(土佐町)産スギ中目材の曲げヤング係数
1989 卒	高橋孝典	高知県産嶺北スギ材の力学的性質に及ぼす節の影響
1990 卒	畔津芳郎	木造軸組工法におけるぬき及び筋かい軸組構造の動的水平及び圧縮負荷に対する強度比較
1990 卒	入谷崇之	木材のAEカイザー効果の時効性
1990 卒	浮穴憲和	木材のAEに及ぼす木理傾角の影響
1990 卒	片平明男	実大スギ柱材の動的的手法によるヤング係数の測定
1990 卒	鈴木康平	集成材防腐ラミナの接着性能と防腐剤の接着層透過性
1990 卒	寺崎博文	集成材の強度に及ぼすミニフィンガージョイントたてつぎの影響
1990 卒	古市晃	通直集成材とわん曲集成材のAE特性
1991 卒	馬詰尚人	集成材の曲げ試験時に於けるアコースティック・エミッション特性
1991 卒	岡賢一郎	ヒノキ材の座屈強度に関する研究
1991 卒	島元憲一	輸入広葉樹材の木繊維寸法に関する研究
1991 卒	西岡吾郎	高知県産スギ及びヒノキ実大柱材の座屈破壊試験

表-2 卒業論文・修士論文テーマ一覧(続き)

高知大6・九大1

年度分類	氏名	テーマ
1991 卒	峠岡克敏	グレーディングラミナを系統的に配置した集成材の曲げ強度性能
1991 卒	村上昌彦	ヒノキ座屈試験時におけるアコースティック・エミッション特性
1992 卒	岩崎広美	日本産主要木材の組織構造と横断面収縮について
1992 卒	野瀬智生	わん曲集成材の促進クリープ試験におけるAE特性
1992 卒	藤原淳	ヒノキ材はりのノッチの存在とAE特性
1992 卒	牧野俊輔	ヒノキ材の曲げ試験におけるはりせいー長さ比とアコースティック・エミッション特性
1993 卒	小路博章	スギ材の心材色と吸湿性能 ーヤナセスギ・アキタスギの吸湿量と膨張率
1993 卒	杉山賢二	スギ材の心材色と吸湿性能 ーヤナセスギ・アキタスギの基準3断面別吸湿量
1993 卒	本間隆太	高知県産スギ材の除湿乾燥における心材色と乾燥特性
1993 卒	村上博光	円孔を持つヒノキ材の曲げ試験におけるAE特性 ー一次元位置評定
1994 卒	濱口隆章	スギの心材と吸湿性能 ーオビスギの基準3断面別吸湿量および含水率変化と膨張率について
1994 卒	古川明里	スギ材の乾燥時間の短縮と浸透性の改良を目的とした前処理技術の開発
1994 卒	横田健	半円ノッチをもつ木材はりのAE特性
1994 卒	弘瀬達史	スギ柱材の座屈強度
九州大学農学部林学科 森林経理学講座		
1989 卒	石川雅文	カラマツの樹冠表面積と幹材積 成長量との関係解析ー九大宮崎地方演習林35年生カラマツの場合ー
1989 卒	蛭原啓文	スギの品種別相対成長
1989 卒	茂田 淳	空中写真判読による林分構造の推定における誤差の評価について
1989 卒	中野裕之	林地生産力情報の森林経営への利用法の検討ー地形図判読による樹高分布推定法の九大柏屋演習林への適用例ー
1989 卒	久留 剣	連進帯状皆伐作業法の森林経営上からの分析
1990 卒	近藤 博	海岸クロマツの成長特性についてー九州大学早良演習林の樹幹解析によるー
1990 卒	溝上展也	アカマツの樹冠形のモデル化ー全枝及びサンプル枝利用の場合の樹冠表面積の比較ー
1990 卒	柳原誠二	空中写真判読における誤差要因の解析
1990 卒	山口健司	スギ家系間における幹形及び相対成長の差異
1990 卒	吉村 信	細胞式皆伐作業法誘導段階における経営的考察
1990 修	寺岡行雄	森林経営のための地位指数推定法ー地形図上で判読可能な地形因子による樹高の推定
1990 修	山本一清	距離従属・単木モデルによるスギのシステム収穫表作成のための基礎的研究ー品種間における幹形形成過程の比較ー
1991 卒	太田和樹	空中写真による天然林の蓄積分布の推定ー細胞式皆伐作業法適用予定林分(宮崎地方演習林)の場合ー
1991 修	崔 載彩	航空写真における誤差要因の分析
1992 卒	國崎貴嗣	ヒノキのシステム収穫表の作成
1992 卒	福永寛之	風害発生と立地及び林分構造との関係解析ー1991年17, 19号台風の森林経営への影響の検討ー
1992 修	溝上展也	樹冠縦断面のフラクタル次元による解析
1993 卒	大谷勇樹	時系列航空写真判読による森林の変化量の推定
1993 卒	岡村篤憲	開空度と林分構造の関係解析
1993 卒	寺本佳代	海岸クロマツの健全度と樹冠形(フラクタル次元)の関係
1993 修	太田和樹	九大宮崎演習林における天然生アカマツ混交林の林分構造の解析
1994 卒	小野崎証	シラカバの系統配置による植栽密度試験
1994 卒	三枝康弘	森林経営への移動作業級システムの適用
1994 卒	村上拓彦	Landsat TMデータを用いた土地被覆分類ー薩摩半島南部における森林の分類ー
1994 修	國崎貴嗣	森林風景およびその計画に関する二, 三の考察
1994 修	福永寛之	風倒木被害の発生メカニズムとその予測手法ー風と地形の相互関連が被害発生に及ぼす影響ー
砂防工学講座		
1989 卒	香月英伸	大河内地すべりについて
1989 卒	蒲原潤一	土壌及び地質基岩による貯留機能の定量的分離・抽出方法の研究
1989 卒	中熊 靖	カコウ岩風化層の地形的分布構成に関する研究
1989 卒	溝口康子	山体地下部における水の動態に関する研究
1990 卒	古賀 大	降下堆積物の特性から土石流発生に至るまでの基礎的研究
1990 卒	中尾倫仁	流域間の地下水移動と地下構造に関する研究
1990 卒	広瀬健一郎	溪流環境において溪流魚保全のための砂防工法技術の確立をめざしてーその基礎研究ー
1990 修	畠田和宏	崩壊の拡大現象に関する研究

年度分類	氏名	テーマ
1990	修 Muhammad Nurdin	Study on Soil Stratification and Critical Condition of Land Use Volcanic Area
1991	卒 境 裕子	河川変動のある時間断面におけるホタルの生活環のこれに関わる河川構成要因について
1991	卒 執行さや香	火山体における排水特性と堆積構造の関係について
1991	卒 谷山健一	荒廃河川における土石流と森林構造の関係
1991	卒 田村 周	段丘面における水害と水利の指標化に基づく土地利用計画
1991	卒 山本 建	植生の影響を考慮した土砂の堆積様式
1991	修 蒲原潤一	火山体解体過程における谷の発達と侵食速度に関する研究
1992	卒 笠井美青	地すべり地を含む流域の地形発達プロセスと土砂生産に関する研究
1992	卒 出口雄大	導流堤が土砂動態および森林構造に及ぼした影響について
1992	卒 福井康弘	阿蘇山における水系網の発達とガリー侵食
1992	卒 松本敦子	上流部河川空間とリターの動態について
1992	修 Sigit Hardwinarto	Suspended sediment load process of volcanic ash deposition at Kurikara and Nishidake rivers in Mt. Aso
1992	修 広瀬健一郎	山地河川の動態がヤマメ (<i>Oncorhynchus masou</i>) の生活環に及ぼす影響について
1993	卒 末松剛介	森林地帯における流量と流送物の関係
1993	卒 中園 章	満砂後のダム群の機能について
1993	卒 松下雄一	埋没樹木を用いた海岸砂丘の後退プロセスの推定について
1993	卒 山口和也	山地河川における流量変化に応答したヤマメの待避空間に関する研究
1993	修 境 裕子	ゲンジボタルの生活環に関する河川空間についての研究
1993	修 執行さや香	火山山麓において火砕物が谷地形の形成過程におよぼす影響について
1993	修 田村 周	河川源流部における河道内での流木の停止条件に関する研究
1994	卒 佐野寿聰	林道切り取り面における破碎構造と斜面変形過程の研究
1994	卒 高尾正樹	雲仙普賢岳・中尾川扇状地における土石流の氾濫予測手法に関する研究
1994	卒 仲光ちづる	夏期の溪流における気温の低下現象の特徴とその形成条件について
1994	修 Kasai Mio	Spatial analysis in geomorphology of river bed with geomorphological potential method
1994	修 山本 建	桜島北部の河川上流部における火山噴出物の固結度の差異によるガリー縦断形状の発達について
造林学講座		
1989	卒 浅野 文	干潟植物群落の生理生態的特性と景観的意義ー有明海東と賀海岸の塩生植物群落ー
1989	卒 朝比奈太郎	ニセアカシアの初期成長および分配特性に及ぼす温度、養分の影響
1989	卒 飯島康夫	ニセアカシア根萌芽の形態および生態学的研究
1989	卒 馬場国彰	茎熱収支法によるヒノキ苗の樹液流速の測定
1989	卒 宮崎宏子	海岸砂地に生育するハマゴウの生態生理学的研究
1989	修 重永英年	非塩生樹木の耐塩性に関する生理学的研究
1990	卒 伊東啓太郎	景観生態学に関する基礎的研究ーマクロレベル, ミクロレベルでの福岡市の緑地評価ー
1990	卒 大林 孝	写真による照度の推定とそれを利用した苗木の生長解析
1990	卒 作田耕太郎	茎熱収支法によるヒノキ成木の樹液流量の測定
1990	卒 津田佐知子	ハマゴウの塩処理に対する反応
1990	卒 出口美和	木本性マメ科植物の組織培養
1991	卒 杉山裕一郎	人工庇陰下のスギ2品種の成長
1991	卒 田口靖博	鶴見岳の斜面混播造林地における植生の動態分析
1991	卒 原崎明子	埋土種子の発芽特性
1991	卒 藤田厚志	クヌギの根域制限による地上部の成長制御
1992	卒 城田徹央	スギ幼齢木の根系への乾物分配ー相対成長関係を用いた解析ー
1992	卒 野口有香	苗木の生育状態に及ぼす根域制限の影響について
1992	卒 原田圭助	暖温帯を構成する広葉樹24種の伸長成長に関する特性
1992	卒 藤野貴子	樹木の気孔開閉速度の種間差
1992	修 伊東啓太郎	暖温帯林の代表的下層構成種アオキの更新特性について
1992	修 作田耕太郎	マツの材線虫病の発現機構の解明ー病徴の進展に伴う根系伸長と根系内部組織の変化ー
1992	修 田代直明	スギ品種の樹冠構造に関する研究
1992	修 出口美和	ハナアカシア (<i>Robinia hispida</i> L.) の組織培養
1992	修 宮崎宏子	海岸砂地に生育するハマゴウ群落の維持機構に関する研究
1992	修 劉 恵國	クスの生産特性に関する研究
1993	卒 近藤栄輔	庇陰処理による広葉樹実生の消長
1993	卒 高橋厚子	都市部での街路緑化樹の葉の生理活性

表-2 卒業論文・修士論文テーマ一覧(続き)

九大3

年度分類	氏名	テーマ
1993 卒	南崎美保	マツノザイセンチュウ抵抗性個体の組織培養
1993 修	小林 元	スギ樹冠における葉内窒素の分布
1993 修	杉山裕一郎	スギ品種の乾物生産および樹型におよぼす光環境の影響
1993 修	原崎明子	埋土種子の発芽特性-先駆性樹種の発生パターンについて-
1994 卒	大橋瑞江	土壌呼吸速度の測定法の検討とスギ人工林における土壌呼吸速度の季節変化
1994 卒	北村幸子	土壌改良材の施与方法の検討に関する研究-緑化用苗木の成長に及ぼす影響-
1994 卒	杉林稔之	スギ幼齢木の樹冠の発達と光環境
1994 卒	中川弘幸	スギ樹冠の構造と機能に及ぼす枝打ちの影響
1994 修	城田徹史	スギの幹形と樹冠構造-パイプモデル理論と相対成長理論に基づいた幹曲線式の導出-
1994 修	高木正博	都市環境が街路樹に与える影響
1994 修	原田圭助	異なる光環境下におけるブナ科11種の当年生実生の初期成長と物質分配
1994 修	藤野貴子	ヒノキ幼木の気孔コンダクタンスと通水特性の季節変動
林政学講座		
1989 卒	田中智枝	都市における緑地保全について-愛宕山東部マンション建設反対運動を事例として
1989 卒	谷口浩一郎	乾燥木材を軸とした国産材産地形成の方向
1989 卒	保木本二郎	小水力エネルギーの利用と山村振興-農協等小水力発電を中心に-
1990 卒	牛島主税	林業労働問題に関する研究
1990 卒	緒方英輝	乾しいたけの消費と流通に関する基礎的研究
1990 卒	榎本一憲	原木市売市場のオープン化に関する研究-大分県日田地方を事例として-
1990 卒	興梠克久	山村における中小農林家の育成に関する一考察-宮崎県高千穂町の場合-
1991 卒	一瀬恵子	シイタケ生産を中心とした複合経営に関する研究
1991 卒	伊藤大治朗	都市の発展と都市林の展開
1991 卒	今井章子	内発型リゾートによる地域振興について-福岡県芦屋町を事例として-
1991 卒	角田 亮	木材加工業の発展条件に関する研究
1991 卒	中山順二	長伐期施業へ向けての林業相続に関する研究
1992 卒	大淵成啓	福岡県におけるタケノコ産地動向と今後の課題
1992 卒	平井紀子	先進林業地域における森林組合の林産・販売事業に関する考察-八女郡星野村を事例として
1992 修	興梠克久	林家経済の分析-「1990年世界農林業センサス」の分析-
1993 卒	浜口洋太郎	国産材需要拡大に向けての森林組合による製材事業
1993 修	岩野美穂	山村における地域経済の振興に関する試論-鯉節ばい乾用広葉樹薪材の生産・利用について-
1994 卒	臼井陽介	台風被害木の供給が原木市場に与えた影響-福岡県森連淳羽共販所の事例から-
1994 卒	豊福絵里子	都市住民参加による森林保全の在り方に関する研究-大分県日田市における森林ボランティア事業を事例として-
1994 卒	古江優子	山間地域における農林複合経営の形成に関する研究-宮崎県諸塚村を事例に-
農林生物物理学講座		
1989 卒	武田和歌子	トウヒにおけるクロロフィルの生成機構に関する研究
1989 卒	西 正人	葉緑体における光化学系「電子伝達阻害部位」の解析
1989 卒	山本晃市	イネ クロロフィルb突然変異株における集光性クロロフィルa/bタンパク質含量とケイ光強度変化に関する研究
1989 卒	岸本康之	蛍リン光の偏光解消から見た膜蛋白質の回転運動に関する理論
1989 卒	山本 繁	脂質膜の流動性におよぼす蛋白質の影響
1989 修	辻 剛志	アンテナクロロフィル蛋白質の結晶状凝集体における励起電子エネルギー移動
1989 修	興志平 尚	トウヒ葉緑体における集光性クロロフィルタンパク質複合体のリン酸化に関する研究
1990 卒	関沢幸代	光による植物葉の耐熱温度の上昇に関する研究
1990 修	田辺稔明	光質変化に対する光合成の適応現象に関する研究
1991 卒	秋永吉男	光合成における量子収率の測定
1991 卒	大場謙三	針葉から高光合成活性を有する葉緑体膜片の調製と酸素発生系の光活性化に関する研究
1991 卒	川上恭一	緑色植物のクロロフィル合成経路に関する研究
1991 卒	迫田正和	光合成の熱失活過程の解析
1991 修	山本晃市	光合成における集光性クロロフィルa/bタンパク質の機能に関する研究
1992 卒	古市真木雄	クロマツ針葉細胞の生理活性に及ぼす酸性物質の影響
1992 修	西本悦子	クロロフィルのアルコール側鎖の還元とその生理的意義について-クロロフィル中間体が光合成機能に与える影響-

Jpn. J. For. Plann. 26 '96

表-2 卒業論文・修士論文テーマ一覧(続き)

九大4・宮崎大1

年度分類	氏名	テーマ
1993 卒	津山孝人	樹木光合成機能に対する低温および高温ストレスの影響
1993 修	河津喜子	針葉樹における熱ショックタンパク質に関する研究
1994 卒	北川恭浩	樹木葉のアンチオキシダント量と低温ストレス耐性についての研究
1994 卒	田浦優理香	トウヒ芽ばえの葉緑体チラコイド膜片の調製と酸素発生系の光活性化
1994 修	片山洋子	紫外線照射に対する植物応答に関する研究
1994 修	古市真木雄	集光性クロロフィルa/b-蛋白質複合体の(LHC「)の結晶化機構の解析
附属演習林		
1994 修	陳元陽	台湾の国家公園制度とその問題点-特に原住民族への影響を中心として-
宮崎大学農学部 森林計画学		
1989 卒	川原誠司	いろいろな植栽密度の下でのコナラ・クヌギ人工林の10年間の成長
1989 卒	小西誠	九州南部における民有広葉樹林の経営の実体と今後の動向
1989 卒	倉田和典	宮崎大学田野演習林ヒノキ林の細り表の作成
1990 卒	小川史和	宮崎県北部の民有林における広葉樹資源と経営管理の動向
1990 卒	奈須領	宮崎大学田野演習林経営情報処理システムの開発 - GISシステム及びデータベースシステムの開発
1990 卒	濱田二郎	宮崎県自然休養林の利用動向と利用者の意識
1990 卒	宮崎幸一	宮崎県北部の民有林における広葉樹資源の経営管理の動向
1990 卒	宮里学	宮崎大学田野演習林ヒノキ高齢造林木の幹形と細り表の作成
1991 卒	鬼村祐子	一ツ瀬川地域における民有広葉樹林の経営動向と所有者の意識
1991 卒	田中礼子	宮崎県北川町におけるシキミ栽培の展開と構造
1991 卒	時崎浩司	宮崎大学田野演習林におけるヒノキの幹形と細り表の作成
1991 卒	藤原光治	常緑広葉樹林の皆伐跡地における更新 - 2年後の状況
1991 卒	松本哲彦	宮崎県自然休養林の利用動向と利用者の意識に関する調査研究
1992 卒	小田三保	ドイツの収穫規整方式の適用 - 1992年度田野演習林森林調査簿による
1992 卒	川崎志保	宮崎県中南部地域における民有広葉樹林の経営管理と所有者の意識
1992 卒	竹吉一就	森林環境に対する住民意識に関する研究 - 大阪府市立岡高等学校生の場合
1992 卒	長津哲也	クヌギ人工林の成長と物質生産に及ぼす施肥の効果
1992 卒	宮坂倫子	コナラ林の種子生産と豊凶性に関する生態学的研究
1993 卒	長野清英	データベース言語を用いた森林計画編成システムの開発
1993 卒	宮田雄一郎	常緑広葉樹林の皆伐跡地における更新の初期動態 - 伐採翌年の状況
1994 卒	南勝一郎	コナラ人工林における稚樹の発生と成長
森林学講座(森林工学)		
1989 卒	浜島雅子	山腹崩壊の復旧に関する研究 - 導入植生の推移を主として
1989 卒	平田昭仁	森林の公益的機能に関する研究 - 水源かん養機能回復・向上に関すること
1989 卒	馬把正美	水資源かん養機能の増進に関する研究について - 地下水増強策について
1989 卒	椎葉猛	桜島における砂防施設評価
1989 卒	鹿井実	火山灰の泥流化に関する研究
1990 卒	吉良直敏	マサエ地帯における林道表面の侵食及び水溜まり発生に関する研究
1990 卒	畑明宏	桜島の土石流について
1990 卒	藤原晃	火山泥流の特性に関する研究
1991 卒	清水光輝	1990年田野演習林に発生した山腹崩壊に関する研究 - 東側地域について
1991 卒	新城基志	1990年田野演習林に発生した山腹崩壊に関する研究 - 西側地域について
1991 卒	外山賢	桜島における砂防ダムの土砂調節機能に関する研究
1991 卒	柳征治郎	火山泥流の特性に関する研究
1991 卒	矢野賢一	山腹崩壊の復旧に関する研究 - 矢立地区について
1991 卒	山下英雄	林道網計画に関する研究 - 宮崎県三股町を対象にして
1991 卒	吉澤泉一	水源かん養機能の増進に関する研究
1992 卒	北原慎一	火砕流の流動について
1992 卒	木本恭輔	火山活動による火山泥流災害発生規模の予測に関する研究
1992 卒	古嶋重幸	水源かん養機能の増進に関する研究 - 模型斜面による実験
1992 卒	杉田清志	雲仙普賢岳における土石流に関する研究
1992 卒	那須久志	山地保全対策
1993 卒	江藤宏晃	水蒸気圧による火砕流

表-2 卒業論文・修士論文テーマ一覧(続き)

宮崎大2

年度分類	氏名	テーマ
1993 卒	高峯光一	雲仙普賢岳における火山泥流の流動・水理特性に関する実験的研究
1993 卒	馬場三佳	ススキ根茎部の発芽に関する研究
1993 卒	廣石芝恵	緑の砂防ゾーン施設計画に関する研究
1993 卒	佐藤宏一	南郷村におけるスギ林の風倒木災害について
1993 卒	黒岩康博	水路モデルにおける火砕流の動態
1993 卒	永井敦	雲仙普賢岳水無川における土石流について
1993 卒	小川聡一郎	林道縦断勾配と路面侵食の関係
森林資源学講座(木材理学)		
1989 卒	刈野芳彰	南九州産スギ材における成長と材質との関係 - 年輪幅と曲げ強さについて
1989 卒	中川和彦	九州産スギ6品種の材質 - 心持小角材の曲げ試験
1989 卒	大富博文	九州産スギ6品種の材質 - 比重, 仮道管長の変動について
1989 卒	谷口勝美	実生スギ精英樹F1の材質 - 比重, 仮道管長の変動について
1989 卒	吉川進	肥培スギ材の施肥量と基礎材質との関係
1990 卒	宇都義人	宮崎県産スギ材の実大材での強度特性 - 主として曲げ, 圧縮試験について
1990 卒	花田孝治	含水率変化における強度特性 - 縦圧縮の強さ
1990 卒	結城英太	精英樹F1の材質 - 容積密度数の変動について
1991 卒	斎藤享一	成長応力からみた木材の変形現象
1991 卒	手束雄樹	打撃振動における木材の非破壊試験
1991 卒	宮浦浩二	材木の肥大成長の速さと成長応力
1991 卒	米田龍二	木材の強度に及ぼす含水率の影響 - 曲げの強さについて
1992 卒	宇沢幸師	未利用広葉樹の組織構造に関する研究
1992 卒	川島尚志	林木の成長応力と木材材質指標とのかかわり
1992 卒	境田剛	成長応力への肥大成長の速さの効果について
1992 卒	田上敏彦	風倒スギ材の材質 - 実大角材の曲げ試験について
1992 卒	松本勉	風倒スギ材の材質 - 打撃振動による非破壊試験
1992 卒	峯公一郎	乾燥による木材の狂いについて
1992 卒	佃賢一	欧米の住宅工法について - 住宅模型の製作を踏まえた考察
1993 卒	濱砂文敏	ヒノキ風倒木の材質
1993 卒	春山勝昭	林木の肥大成長速さと成長応力 - 木材材質指標の影響
1993 卒	山口聡	外国産針葉樹材の材質変動 - 未成熟材と成熟材との差異について
1993 卒	宮島正昭	宮崎産スギ材による合板およびLVLの性能試験
1994 卒	金子政彦	スギ品種の材質特性
1994 卒	島村貴	スギ合板の材質 - 異樹種複合合板について
1994 卒	白井真紀	木材材質への肥大成長速度の影響について
森林資源学講座(木材化学)		
1989 卒	久保めぐみ	木粉培地でのシイタケ子実体に及ぼす電気刺激の効果
1989 卒	増田好男	スギ木粉でのシイタケ栽培(2) - 培養中の菌糸成長阻害物濃度の変化
1989 卒	松尾尚洋	液体培地でのシイタケ実体の発生
1989 卒	中山勇一	玄米酢と木酢酢によるトリコデルマ菌の防除
1989 卒	大山祐二	菌床法による食用きのこの栽培 - 滅菌処理の菌糸成長に及ぼす影響
1989 卒	田口孝男	シイタケの乾燥
1990 卒	居初健史	木粉培地でのシイタケ子実体発生に及ぼす電気刺激の効果 - 原基形成および実体発生に及ぼす影響
1990 卒	稲田聡子	スギ木粉でのシイタケ栽培(3) - ケモールによる菌糸成長阻害
1990 卒	田中貴司	木酢液によるトリコデルマ菌の防除(2)
1990 卒	福川哲	玄米酢によるシイタケ子実体発生の促進
1991 卒	町田誠司	液体培地でのシイタケ子実体形成に及ぼす光の影響(2) - 菌体重量と呼吸活性
1991 卒	杉山英雄	液体培地でのシイタケ子実体形成に及ぼす光の影響(3) - ラッカーゼ活性の変動
1991 卒	永峰智徳	液体培地でのシイタケ子実体形成に及ぼす光の影響(4) - DNAおよびRNA含有量の変動
1991 卒	岡本賢一	木粉培地でのシイタケ子実体の形成 - 青色光の効果
1991 卒	河野賢一	スギ木粉でのシイタケ栽培(4) - プロトプラストの調製
1991 修	松尾尚洋	液体培地でのシイタケ子実体形成に及ぼす酵母抽出物の添加効果
1992 卒	原田忠相	酵母抽出物によるシイタケ子実体の誘導効果
1992 卒	前田貴昭	シイタケ原木の樹皮を透過する光の特性

年度分類	氏名	テーマ
1992 卒	吉住博史	シイタケの原基形成に要する青色光の最小照射光量
1992 卒	日高紀寿	シイタケの青色光受容体 - 受容色素の抽出
1992 修	川崎哲郎	シイタケ子実体形成に及ぼす光の影響 - 核酸代謝の関与
1993 卒	黒木早苗	酵母抽出物の添加によるシイタケ子実体の誘導
1993 卒	日高光輝	スギ木粉を混合した培地によるシイタケの栽培
1993 卒	永吉健作	シイタケ原木を透過する光の特性(2)
1993 卒	深川範子	木粉培地での光照射と子実体形成との関係
1994 卒	谷本隆敏	スギ辺材木粉でのシイタケの発生
1994 卒	堺秀友記	焼酎蒸留廃液によるシイタケの栽培(1) - 溶液栽培
1994 卒	田口洋一郎	焼酎蒸留廃液によるシイタケの栽培(2) - 菌床栽培
1994 卒	田川匡乙	シイタケの無滅菌菌床栽培の試み
1994 修	日高紀寿	シイタケの青色光受容体
1994 修	前田貴昭	シイタケ子実体に及ぼす光の影響
情報経営管理学講座(林政学)		
1989 卒	前田麻千子	森林組合の経営分析と組合員の組合意識研究
1989 卒	村上晃一	首都圏における木材流通構造に関する調査・研究
1989 卒	直野淳	巨樹と日本人の精神文化に関する研究
1990 卒	児玉了一	貿易摩擦下におけるチップ産業の現状と課題
1990 卒	河野淳二	線形計画法による農山村の個別複合経営に関する事例研究
1990 卒	大坪信章	耳川林業地域における労働配分問題と伐採計画
1991 卒	河面恒一郎	農山村振興と都市住民のための森林空間のレクリエーションの利用
1992 卒	種延広敏	福岡・北九州における木材需給と流通機構の解明
1992 卒	渡辺勇一	水分代謝量を労働負担の制約要因とする南九州林業の作業分配計画に関する一考察
1992 卒	西川友樹	北部九州・西中国地方における建築活動の現状と課題
1992 卒	前畑憲雄	プールデータに基づく製材品需給構造の計量的解明
1992 卒	田中幸生	線形計画法による農山村の複合的経営分析
1992 卒	下山正和	主成分分析による宮崎県下の山地崩壊特性の解明
1992 卒	阿部巧	製材用素材における木材需給構造の計量的分析
1992 卒	福井洋史	リゾート地としての宮崎 現状と課題
1992 卒	川崎裕之	佐賀・長崎における市場構造の分析と解明
1992 卒	門隆二	アメリカ北西部太平洋岸地域の環境問題と林業
1992 卒	前田純一	高性能機械導入に伴う伐出システムの合理化に関する研究
1993 卒	河津浩二	合板・チップ需給構造の計量経済分析
1993 卒	松本夏美	過疎地域の現状とその対策(西米良村・西都市・木城)
1993 卒	黒田晃広	線形計画法による労働配分と最適伐採に関する研究
1993 卒	西海貴憲	製材品需給構造の計量経済分析
1994 卒	橋口宏徳	特用林産物需要の計量分析
1994 卒	小八重恵一	特用林産物価格の時系列分析
1994 卒	菅幸生	主成分分析による広瀬川流域における素材製材業の事業特性解析
1994 卒	浜岡晃	クロスセクションデータによる製材品需要の弾性値分析

(1995年12月29日受理)